

と き 令和元年 8 月 2 9 日
午後 6 時 3 0 分から
と ころ 役場 大会議室

第 5 次壮瞥町まちづくり総合計画

第 1 回

壮瞥町町づくり審議会

企画財政課 企画広報係

壮瞥町町づくり審議会委員名簿

氏 名	分野	備 考
土屋 知実	全般	
清水 修	全般	
川南 恵美子	観光	
富田 和也	商業	
高橋 仙行	農業	
柴田 暦章	教育	
松原 宣彦	商工業	
藤澤 憲隆	子育て	
中山 茂樹	建設	
木村 大作	農業	

事務局

企画財政課 企画広報係

会議次第

1. 委嘱状交付
2. 町長あいさつ
3. 審議会委員紹介
4. 審議会長及び副会長の互選について
5. 諮問
6. 諮問にかかわる審議について
 - (1) 現総合計画の取組と評価及び次期総合計画の視点について（別紙１）
 - (2) 策定体制について（別紙２）
 - (3) スケジュールについて（別紙３）
7. 町民アンケート結果について（別冊）
8. まちづくり懇談会について（別紙４）
9. その他
10. 閉 会

第4次総合計画(H22～31)の取組と評価

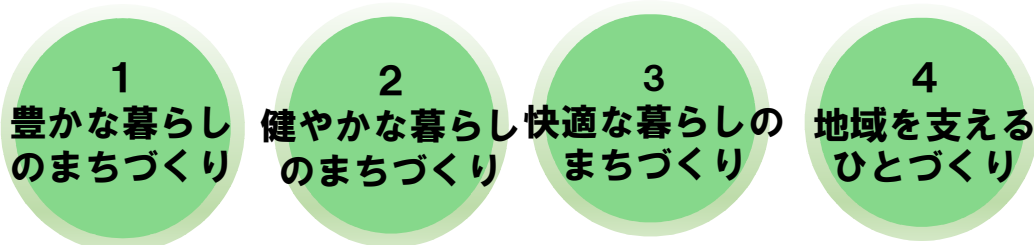
別紙1

将来像

「自然・ひと・まち」が
響き輝くそうべつ

～ 火山のもたらした、めぐみの郷 ～

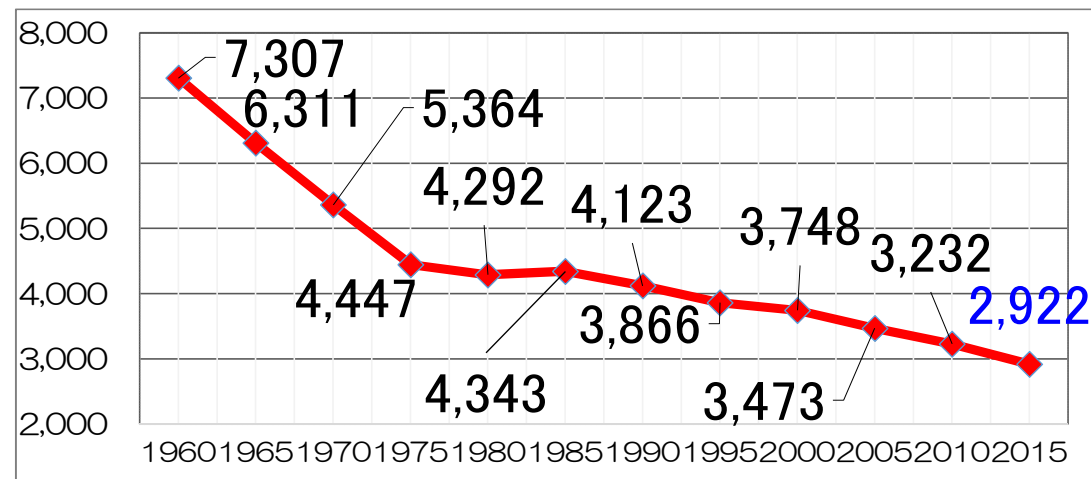
施策の柱



令和2年の国勢調査人口
目標値: 3,000人

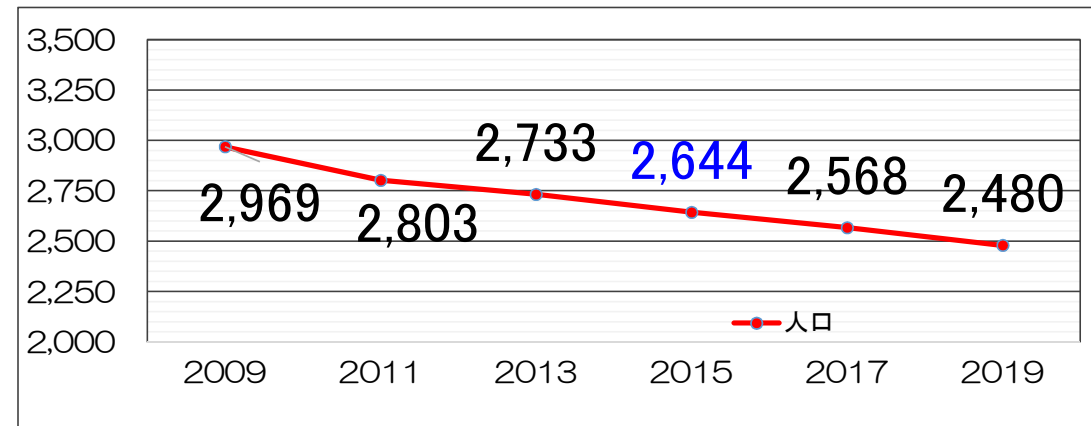
そうべつの資産を最大限に活かした、
魅力あふれる地域の創出

人口の推移（国勢調査）



人口の推移（住基台帳）

※2019年は5月末現在



1 豊かな暮らしのまちづくり

別紙 1

目指す姿

地域の資源と特色を活かした、**地域経済の活性化**

主な 施策	観光	ジオパーク・雪合戦の普及、情報発信強化等
	農業	担い手育成・支援、農業経営基盤強化
	商工業	制度資金の活用促進、起業化支援と促進
	雇用	中小企業の経営基盤強化

評価

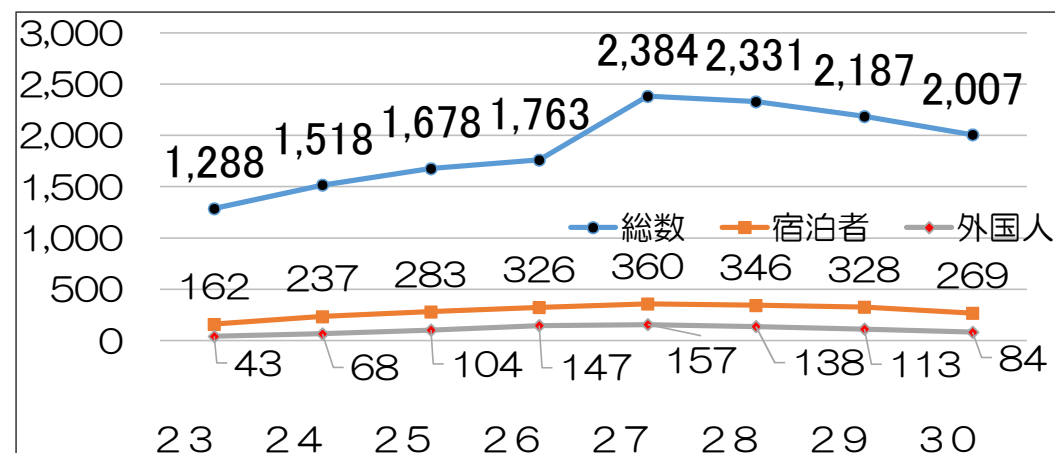
- インバウンド増により 目標 200万人/年を達成
- 農業振興策推進により 目標 15億円を達成
- 起業化促進奨励金を創設し H27～H28まで 2件起業化
- 中小企業経営基盤強化支援により
35件の商工業者の経営安定化に一定の成果

第5次総合計画の視点

- ◎観光再生・基盤整備（誘客活動と情報発信強化）推進
- ◎担い手育成センター機能強化、農商工連携の推進
- ◎農業経営基盤の強化（有利な制度、財源確保）
- ◎新規企業（オフィス）誘致に向けた環境づくりの推進
- ◎中小企業の経営基盤強化と道の駅を核とした販売促進

観光客入込数 目標200万人

（単位：千人）



農業産出額 目標15億円

（単位：百万円）

年度	10	20	26	27	28	29
農業産出額	1,438	1,247	1,340	1,460	1,400	1,510
米	190	121	130	150	130	140
野菜	864	648	680	720	650	730
果樹	227	265	300	340	330	330
畜産	105	168	170	190	230	240
その他	52	45	80	60	60	70

2 健やかな暮らしのまちづくり

別紙 1

目指す姿

健康づくり医療福祉防災、安全・安心して健やかな生活創出

主な 施策	健康づくり	健康づくり推進 体制整備、保育サービス充実
	医療・福祉	医療費助成 等
	防災・生活安全	減災、防災無線デジタル化等

評価

- 特定健診受診率は向上傾向。普及啓発継続
- 乳幼児、障害児保育導入、保育時間延長など充実
- OH25～中学生以下の医療費助成 子育て世代負担軽減
- 広域防災訓練による関係機関との連携を強化
- OR1に防災行政無線デジタル化 体制を整備

第5次総合計画の視点

- ◎各種検診の受診率の向上と生活習慣の改善の推進
- ◎高齢者の社会参加推進と災害時の安全確保の推進
- ◎相談支援体制充実、健康寿命延伸に向けた施策推進
- ◎移住先として選ばれるまち 子育て支援策の充実強化
- ◎災害に強いまち 避難計画策定、自主防災組織率の向上

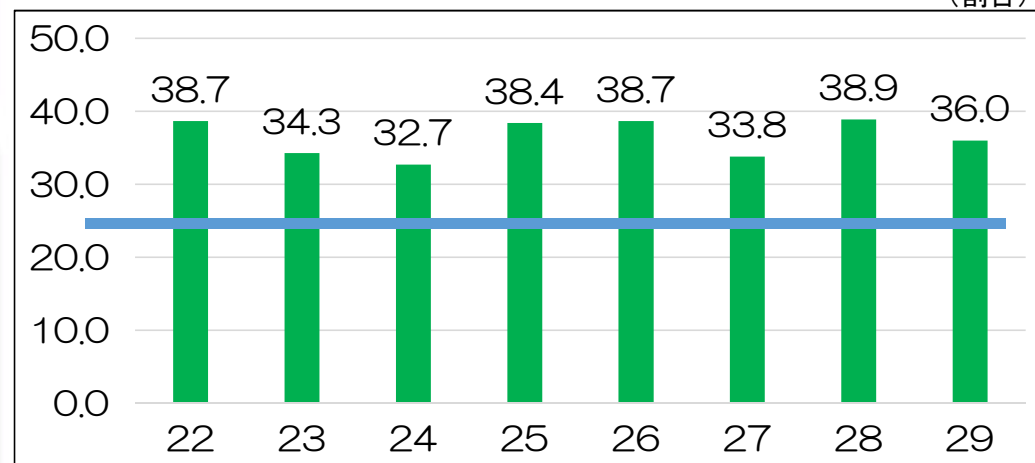
特定健診受診率

(目標値65%)

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30
対象数	613	624	609	617	614	575	549	532	497
受診数	274	266	289	320	315	293	275	261	263
受診率%	44.7	42.6	47.5	51.9	51.3	51.0	50.1	49.1	52.9

メタボリックシンドローム予備軍(目標値23.8%)

(割合)



3 快適な暮らしのまちづくり

別紙 1

目指す姿

住民が充足感を共有できるような、暮らしの満足度向上

主な施策	環境保全	ごみの減量化・資源化の推進 等
	交通基盤	国道・道道の整備促進（要望） バス交通維持 地域内交通の検討等
	生活基盤	街路灯の整備・更新、公営住宅等の建設、建替、長寿命化 等

評価

- ごみ量抑制に向け環境やりサイクル意識を醸成
- 要望により、国道453号・道道（トンネル）の整備促進
- コミタク運行により、移動手段を確保
- 街路灯LED化により、電気料削減と安全な暮らし確保
- 子育て応援住宅 ふれあい団地（久保内）等 住環境整備

第5次総合計画の視点

- ◎ごみ量抑制に向けた取組の継続推進
- ◎既存公共交通の路線維持（補助継続）とあり方検討
- ◎コミタクの運行体制の検討及び利用促進
- ◎公住等の維持管理と整備、民間活力による定住促進の検討
- ◎旧庁舎跡、空き家、空き地等を活用した地域活性化

ごみ量及び委託料の推移

(t)

年度	21	25	27	28	29	30
資源ごみ	215	198	200	197	185	160
生ごみ	238	238	208	193	189	179
一般	1,143	1,216	1,299	1,337	1,330	1,321
合計	1,596	1,652	1,707	1,727	1,704	1,660

(千円)

年度	21	25	27	28	29	30
ごみ回収委託料	28,141	29,862	31,980	32,497	33,741	33,131

コミュニティタクシー利用数及び補助金推移

(利用人数)

年度	26	27	28	29	30
通院便	2,516	2,297	2,053	2,026	2,093
町内便	3,190	3,954	3,504	2,546	2,732
合計	5,706	6,251	5,557	4,572	4,825

(千円)

年度	26	27	28	29	30
補助金	10,077	8,996	10,298	10,167	10,200

4 地域を支える人づくり

目指す姿

あらゆる地域活動を支える、**人的資源の育成と開拓**

主な 施策	生涯学習	学校の適正配置などの教育環境整備
	交流	国際交流、地域間交流の促進 等
	移住定住	移住相談窓口の確立、情報発信 各種移住定住施策の推進 等

評価

- 児童生徒数の激減により、保育所 小・中 統合等実施
- 高校の魅力化により、入学者数改善
- 国際交流の継続により、国際感覚に優れた人材を育成
- HPをリニューアルにより、見やすい内容に改善
- 持ち家住宅取得奨励金の創設により、8世帯16名が移住

第5次総合計画の視点

- ◎保小中一貫教育と高校を核とした地域創生(担い手育成)
- ◎教育施設の再編とスポーツを核とした地域創生
- ◎中学生フィンランド派遣、交流の見直し継続
- ◎移住定住促進に向け空き家の活用等と情報発信強化
- ◎交流人口、関係人口拡大に向けた施策の推進

ホームページのリニューアル

◎ホームページ閲覧数
年間112,000件(H29)

◎フェイスブック
フォロワー数
62,250人(R1.7.1)



移住定住対策

- ①持ち家住宅取得奨励金交付金
持ち家（新築・中古）取得への助成（上限100万円）
→H26からH30まで 18世帯が利用（8世帯16名が移住）
- ②空き家・改修整理補助金
空き家の売却等のため改修に対する助成（上限30万円）
→H26からH30まで 5件利用
- ③民間賃貸住宅建設助成事業助成金
民間アパート等を建設する事業者に助成（上限100万円）
→H26に1件利用

5 財政状況（H21～H29決算）と行政運営

別紙1

(単位：千円)

区分	H21	H23	H25	H27	H29
町税	432,351	395,500	400,483	414,095	412,666
地方交付税	1,694,384	1,784,819	1,933,741	1,915,832	1,759,440
国庫支出金	577,310	252,703	118,318	259,613	269,607
道支出金	370,196	377,826	372,747	440,502	494,450
繰入金	82,819	33,702	49,338	104,575	262,379
町債	728,541	165,739	198,736	449,262	260,223
その他	371,694	454,870	447,295	769,399	507,934
歳入合計 ①	4,257,295	3,465,159	3,520,658	4,353,278	3,966,699
人件費	657,898	696,681	687,977	698,667	680,723
扶助費	111,449	170,321	180,173	212,576	215,612
公債費	501,026	528,464	616,812	555,726	523,269
投資的経費【災害復旧事業費含む】	1,431,808	479,320	491,881	1,107,511	862,550
物件費	495,721	505,261	531,740	581,080	545,990
補助費等	403,198	442,686	424,692	481,032	461,527
繰出金	365,156	387,263	314,206	372,680	318,197
維持補修費	72,036	66,532	59,274	77,324	86,394
その他	101,823	82,403	75,827	129,035	143,953
歳出合計 ②	4,140,115	3,358,931	3,382,582	4,215,631	3,838,215
形式収支 ③＝①－②	117,180	106,228	138,076	137,647	128,484
基金現在高	1,930,708	2,136,912	2,165,907	2,073,621	1,845,012
地方債現在高	5,540,573	5,071,769	4,524,705	4,268,716	3,842,550

基金（貯金）残高

単位：億円

市 町 名	22年度末	29年度末	増 減
壮 瞥 町	21.0	18.5	-2.5
豊 浦 町	41.8	38.9	-2.9
洞 爺 湖 町	19.7	33.8	+14.1
白 老 町	5.7	18.6	+12.9
厚 真 町	33.1	49.2	+16.1
む か わ 町	38.3	54.3	+16.0
安 平 町	30.4	41.6	+11.2
伊 達 市	35.9	57.2	+21.3

壮瞥町は備荒資金積立4.5億円を含む額

◎ 基金減のない経営

徹底した財源確保と事務事業の見直し
第5次行政改革の推進

◎ 親切で信頼される役場

情報公開 機構の見直し 職員研修の充実

第5次総合計画策定の視点

1 豊かな暮らしのまちづくり

- ◎観光再生・基盤整備（誘客活動と情報発信強化）推進
- ◎担い手育成センター機能強化、農商工連携の推進
- ◎農業経営基盤の強化（有利な制度、財源確保）
- ◎新規企業（オフィス）誘致に向けた環境づくりの推進
- ◎中小企業の経営基盤強化と道の駅を核とした販売促進

2 健やかな暮らしのまちづくり

- ◎各種検診の受診率の向上と生活習慣の改善の推進
- ◎高齢者の社会参加推進と災害時の安全確保の推進
- ◎相談支援体制充実、健康寿命延伸に向けた施策推進
- ◎移住先として選ばれるまち 子育て支援策の充実強化
- ◎災害に強いまち 避難計画策定、自主防災組織率の向上

3 快適な暮らしのまちづくり

- ◎ごみ量抑制に向けた取組の継続推進
- ◎既存公共交通の路線維持（補助継続）とあり方検討
- ◎コミタクの運行体制の検討及び利用促進
- ◎公住等の維持管理と整備、民間活力による定住促進の検討
- ◎旧庁舎跡、空き家、空き地等を活用した地域活性化

4 地域を支えるひとづくり

- ◎保小中一貫教育と高校を核とした地域創生（担い手育成）
- ◎教育施設の再編とスポーツを核とした地域創生
- ◎中学生フィンランド派遣、交流の見直し継続
- ◎移住定住促進に向け空き家の活用等と情報発信強化
- ◎交流人口、関係人口拡大に向けた施策の推進

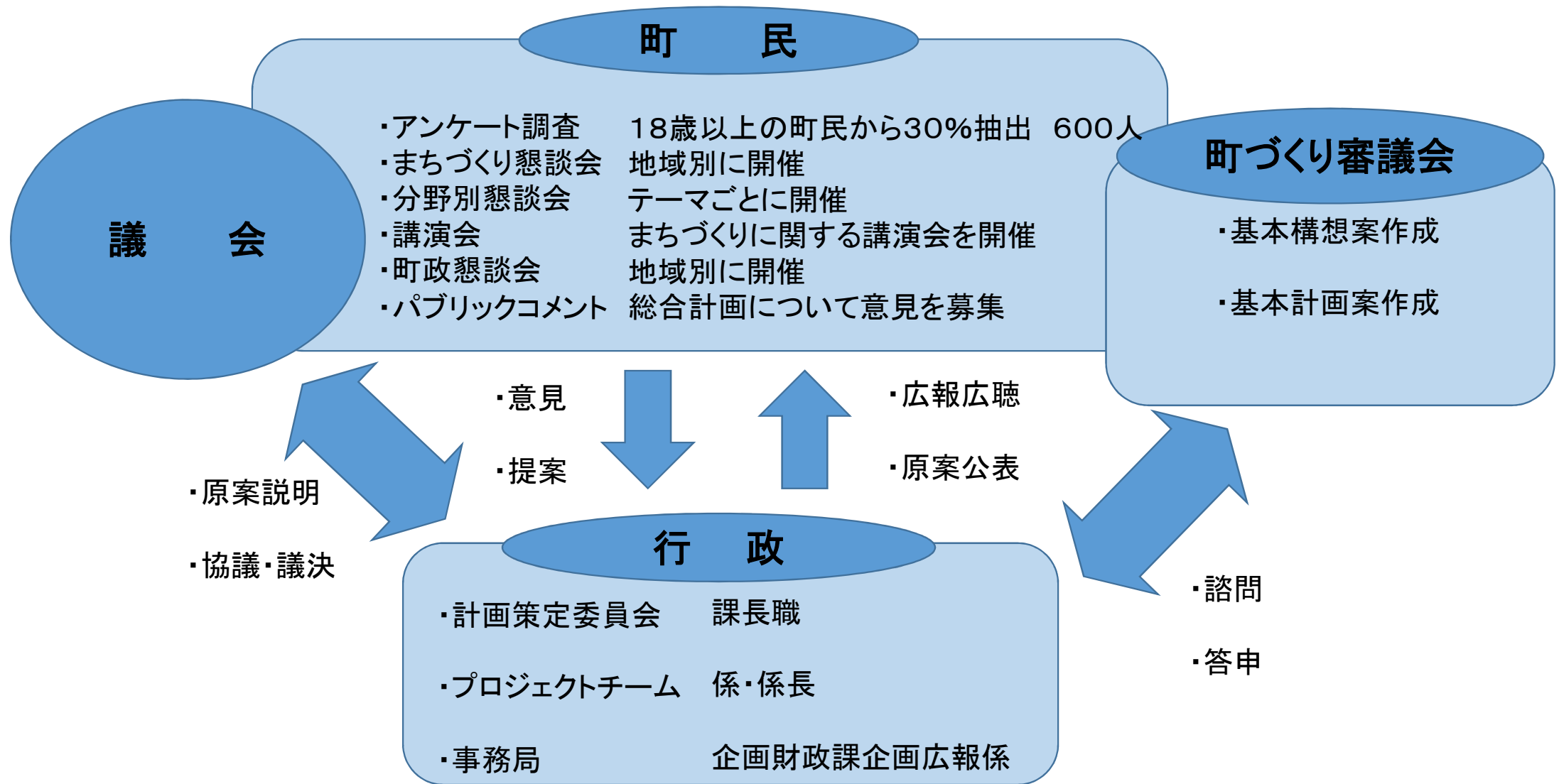
5 財政運営と行政運営

- ◎基金減のない経営
- 徹底した財源確保と事務事業の見直し
- 第5次行政改革の推進

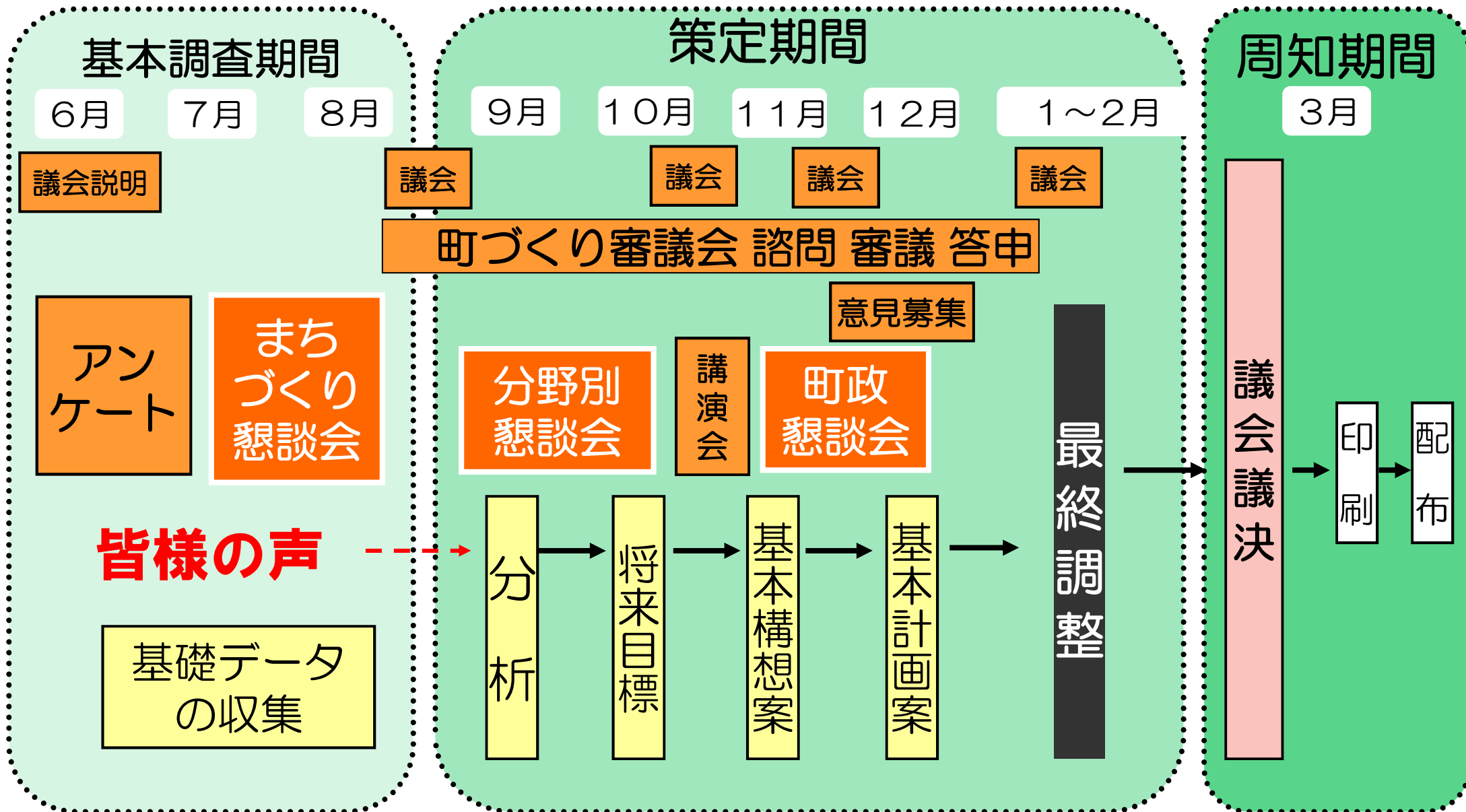
- ◎親切で信頼される役場
- 情報公開 機構の見直し
- 職員研修の充実

策定体制

別紙2



第5次総合計画(R2～R11)策定スケジュール



第5次まちづくり総合計画（令和2年～令和11年）策定に伴う

町民アンケート調査

報 告 書

令和元年8月

壮瞥町 企画財政課 企画広報係

(1) 調査の目的

第5次まちづくり総合計画（令和2年度～令和11年度）の策定にあたり、町民が現在の壮瞥町をどのように認識し、将来のまちづくりに対してどのような将来像や要望を持っているのか等について実態を把握し、計画策定に反映させることを目的として実施した。

(2) 調査方法と回収結果

- ① 調査対象 町内に居住する18歳以上の住民
- ② 標本構成 対象者数 600人（調査対象の約30%） 男：289人 女：311人
- ③ 抽出方法 地域・年齢・性別等のバランスを考慮した上で年代ごと100名を無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送にて配布、回収
- ⑤ 調査時期 発送 令和元年6月14日 回収 令和元年7月3日
- ⑥ 実施者 総務課企画財政係（令和元年8月以降 企画財政課企画広報係）

■地区別・男女別の抽出割合と回収率

地域	男				女				性別不明	全体			
	人口	対象者数	回収数	回収率	人口	対象者数	回収数	回収率		人口	対象者数	回収数	回収率
滝之町	533	140	55	39.3%	640	164	68	41.5%		1173	304	123	40.5%
立香	53	17	3	17.6%	43	12	6	50.0%		96	29	9	31.0%
東湖畔	16	6	2	33.3%	23	8	1	12.5%		39	14	3	21.4%
仲洞爺	41	10	3	30.0%	45	12	4	33.3%		86	22	7	31.8%
壮瞥温泉	85	28	11	39.3%	108	31	12	38.7%		193	59	23	39.0%
洞爺湖温泉	43	18	4	22.2%	45	13	4	30.8%	1	88	31	9	29.0%
昭和新山	3	2	0	0.0%	3	2	1	50.0%		6	4	1	25.0%
久保内	84	23	11	47.8%	77	20	7	35.0%		161	43	18	41.9%
上久保内	18	5	3	60.0%	16	5	2	40.0%		34	10	5	50.0%
南久保内	80	21	7	33.3%	103	24	10	41.7%		183	45	17	37.8%
幸内	25	9	2	22.2%	28	10	3	30.0%		53	19	5	26.3%
弁景	17	7	4	57.1%	17	6	4	66.7%		34	13	8	61.5%
蟠溪	10	3	2	66.7%	13	4	0	0.0%		23	7	2	28.6%
地域不明									2			2	
計	1008	289	107	37.0%	1161	311	122	39.2%	3	2169	600	232	38.7%

※人口は、18歳以上の住民

■世代別の抽出割合と回収率

年齢	人口	対象者数	回収数	回収率
10・20代	189	100	32	32.0%
30代	222	100	33	33.0%
40代	288	100	38	38.0%
50代	309	100	48	48.0%
60代	386	100	43	43.0%
70代以上	775	100	37	37.0%
不明			1	
	2169	600	232	38.7%

※人口は、18歳以上の住民

(3) 結果

1) 回答者属性

① 性別

男女別構成比



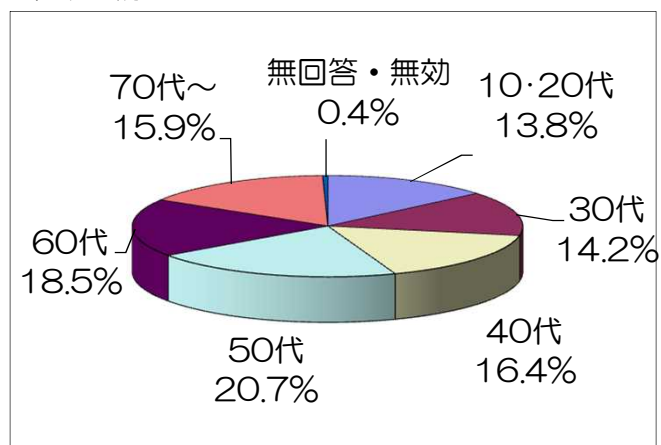
- ・回答者の男女比率は、女性（52.6%）が男性（46.1%）より多かった。

回答者の性別内訳

選択肢	内容	回答数	割合
1	男	107	46.1%
2	女	122	52.6%
	無回答・無効	3	1.3%
	合計	232	100.0%

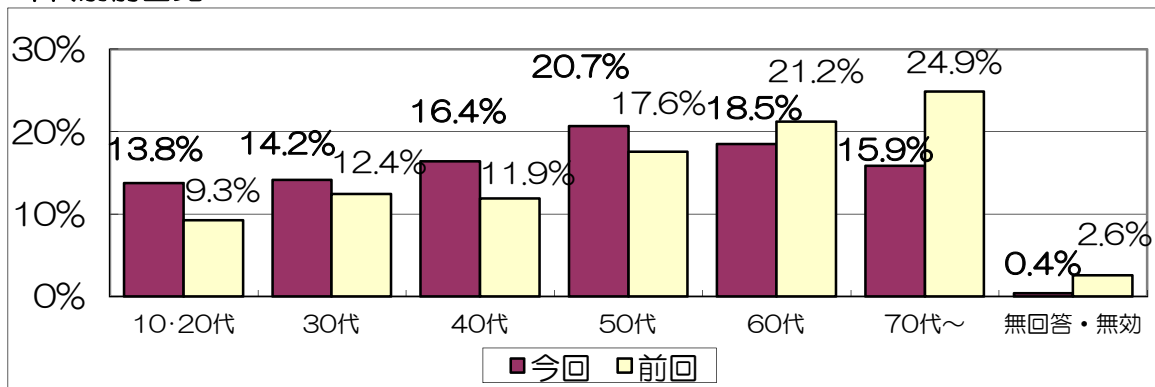
② 年齢

年齢別構成比



- ・回答者の年代別構成比は、「50代」（20.7%）が最も多く、続いて「60代」（18.5%）、「40代」（16.4%）、「70代以上」（15.9%）、「30代」（14.2%）、「10・20代」（13.8%）の順となっている。

年代別前回比



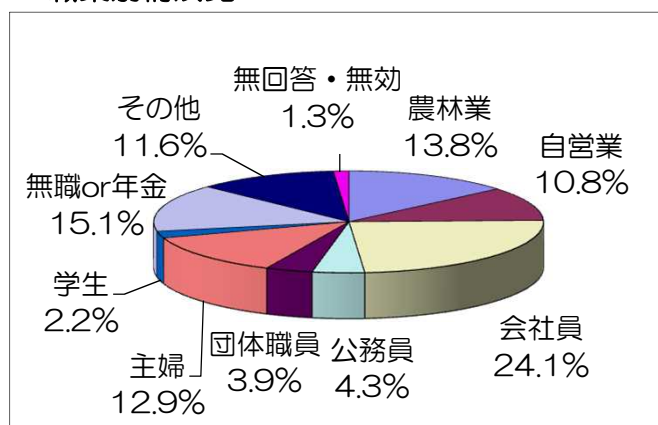
- 今回の年代別構成比は、前回調査（第4次まちづくり総合計画 町民アンケート、平成21年5月実施）とは抽出方法を変更（各年代から均等に100名ずつ抽出）している部分もあるが、10代から50代の回答率が上昇し、まちづくりに関心を持つ方が増えている。

回答者の年代別内訳

選択肢	内容	回答数	割合
1	10・20代	32	13.8%
2	30代	33	14.2%
3	40代	38	16.4%
4	50代	48	20.7%
5	60代	43	18.5%
6	70代～	37	15.9%
	無回答・無効	1	0.4%
合計		232	100.0%

③ 職業

職業別構成比



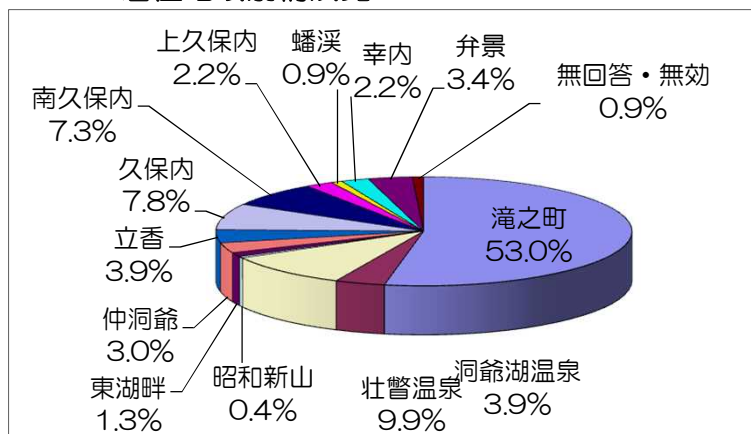
回答者の職業別内訳

選択肢	内容	回答数	割合
1	農林業	32	13.8%
2	自営業	25	10.8%
3	会社員	56	24.1%
4	公務員	10	4.3%
5	団体職員	9	3.9%
6	主婦	30	12.9%
7	学生	5	2.2%
8	無職or年金	35	15.1%
9	その他	27	11.6%
	無回答・無効	3	1.3%
合計		232	100.0%

- 回答者の職業別構成比は、「会社員」（24.1%）が最も多く、次いで「無職（年金生活者含む）」（15.1%）、「農林業」（13.8%）、「主婦」（12.9%）、「その他」（11.6%）、「自営業」（10.8%）、「公務員」（4.3%）、「団体職員」（3.9%）、「学生」（2.2%）の順となっている。

④ 居住地域

居住地域別構成比



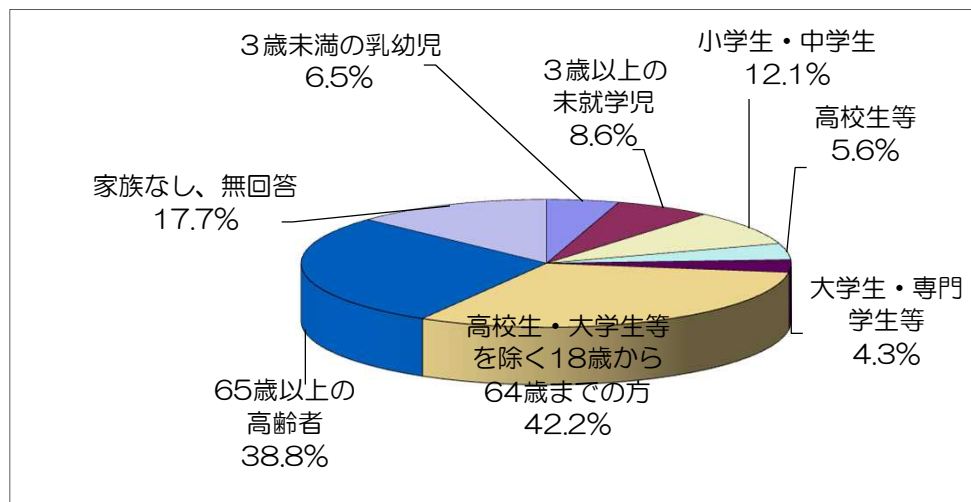
- 回答者の居住地域別構成比は「滝之町」（53.0%）、「壮瞥温泉」（9.9%）、「久保内」（7.8%）、「南久保内」（7.3%）、「立香」（3.9%）、「洞爺湖温泉」（3.9%）、「弁景」（3.4%）、「仲洞爺」（3.0%）、「上久保内」（2.2%）、「幸内」（2.2%）、「東湖畔」（1.3%）、「蟠溪」（0.9%）、「昭和新山」（0.4%）となっている。

回答者の居住地域別内訳

選択肢	地域	回答数	割合
1	滝之町	123	53.0%
2	洞爺湖温泉	9	3.9%
3	壮瞥温泉	23	9.9%
4	昭和新山	1	0.4%
5	東湖畔	3	1.3%
6	仲洞爺	7	3.0%
7	立香	9	3.9%
8	久保内	18	7.8%
9	南久保内	17	7.3%
10	上久保内	5	2.2%
11	蟠溪	2	0.9%
12	幸内	5	2.2%
13	弁景	8	3.4%
	無回答・無効	2	0.9%
	合計	232	100.0%

⑤ 家族構成

家族構成別構成比



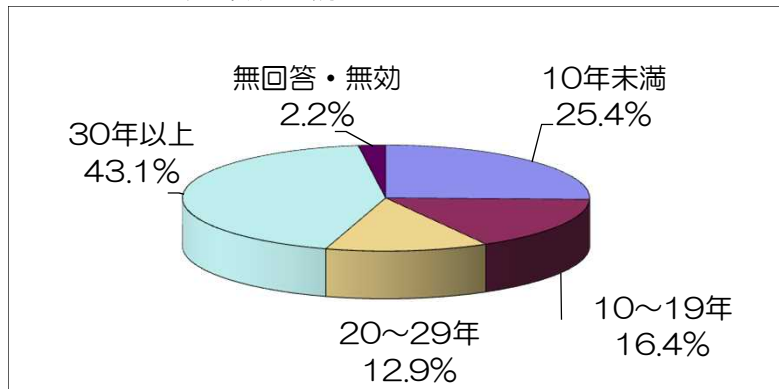
- 回答者の家族構成別構成比は「3歳未満の乳幼児」（6.5%）、「3歳以上の未就学児」（8.6%）、「小学生・中学生」（12.1%）、「高校生等」（5.6%）、「大学生・専門学生等」（4.3%）、「高校生・大学生等を除く18歳から64歳までの方」（42.2%）、「65歳以上の高齢者」（38.8%）、「家族なし・無回答」（17.7%）となっている。

回答者の家族構成別内訳

選択肢	地域	回答数	割合
1	3歳未満の乳幼児	15	6.5%
2	3歳以上の未就学児	20	8.6%
3	小学生・中学生	28	12.1%
4	高校生等	13	5.6%
5	大学生・専門学生等	10	4.3%
6	高校生・大学生等を除く18歳から64歳までの方	98	42.2%
7	65歳以上の高齢者	90	38.8%
	家族なし、無回答	41	17.7%
回答者数		232	

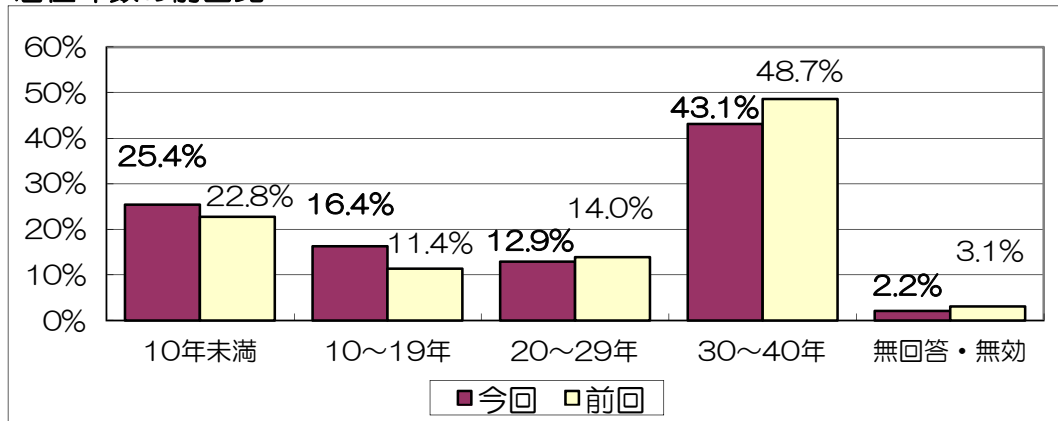
⑥ 壮瞥町の居住年数

居住年数別構成比



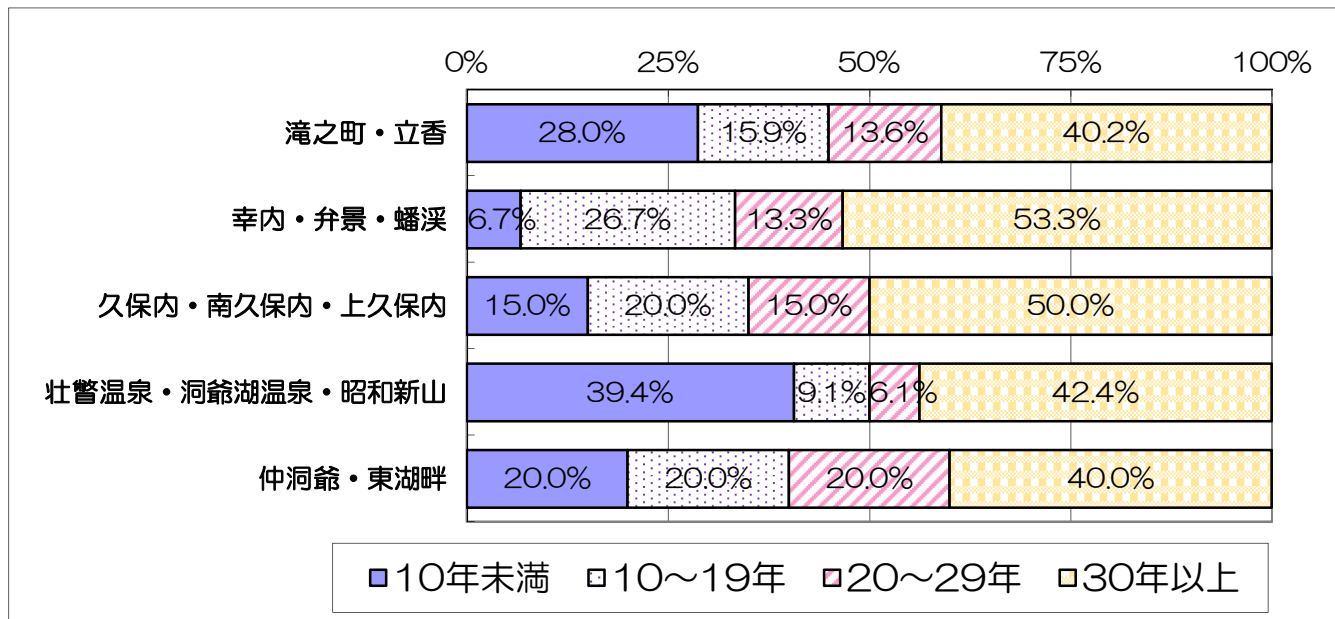
- 回答者の壮瞥町での居住年数の構成比は「30年以上」（43.1%）、「10年未満」（25.4%）、「20～29年」（12.9%）、「10～19年」（16.4%）の順に大きかった。

居住年数の前回比



- 今回の居住年数の構成比は、20～40年の居住年数の長い回答者では減少傾向となっていることに対し、に居住年数の短い回答者は、若干の増加傾向が見られる。

居住年数比の地域別比較



※データ数の少ない地域は近隣地域と合わせた

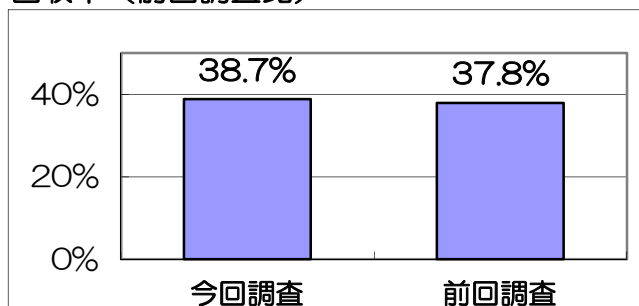
- ・地域別の居住年数（住民）は、「幸内・弁景・蟠溪」、「久保内・南久保内・上久保内」に居住年数の長い層の回答者が多く、壮瞥温泉・洞爺湖温泉・昭和新山では10年未満の回答者が多い傾向にある。

回答者の居住年数別内訳

選択肢	年数	回答数	割合
1	10年未満	59	25.4%
2	10～19年	38	16.4%
3	20～29年	30	12.9%
4	30年以上	100	43.1%
	無回答・無効	5	2.2%
合計		232	100.0%

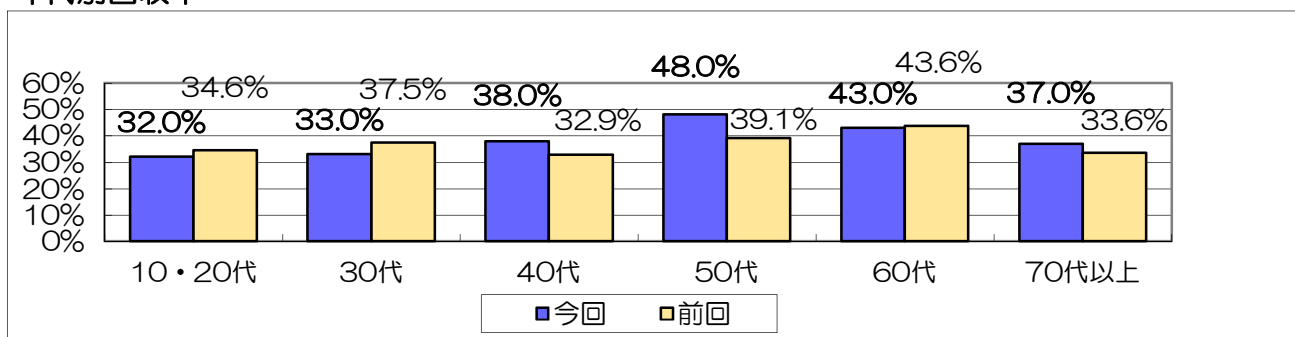
2) 回収率

回収率（前回調査比）



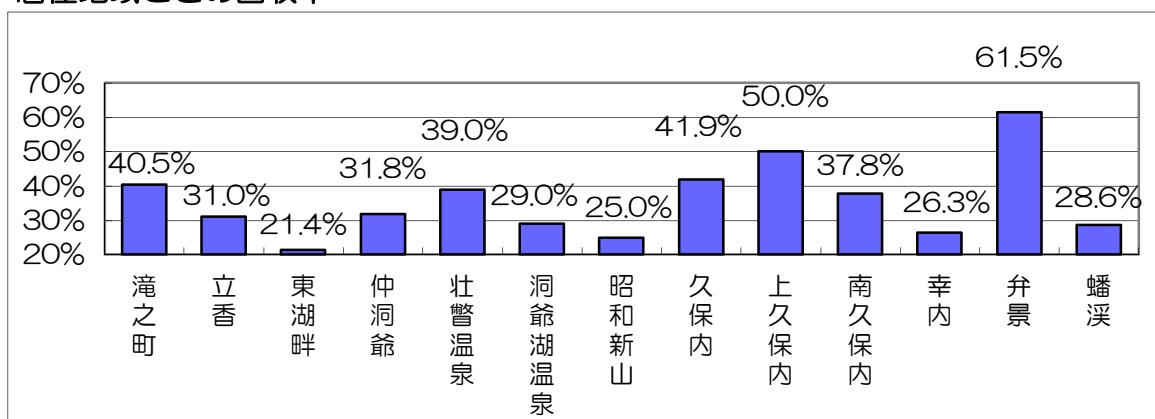
- 今回の回答者数は対象者数の38.7%であり、前回の37.8%と比べて若干増加した。

年代別回収率



- 今回調査では、抽出方法を変更（各年代から均等に100名ずつ抽出）しているため、一概には比較はできないが、40代から50代の回答率が上昇している。

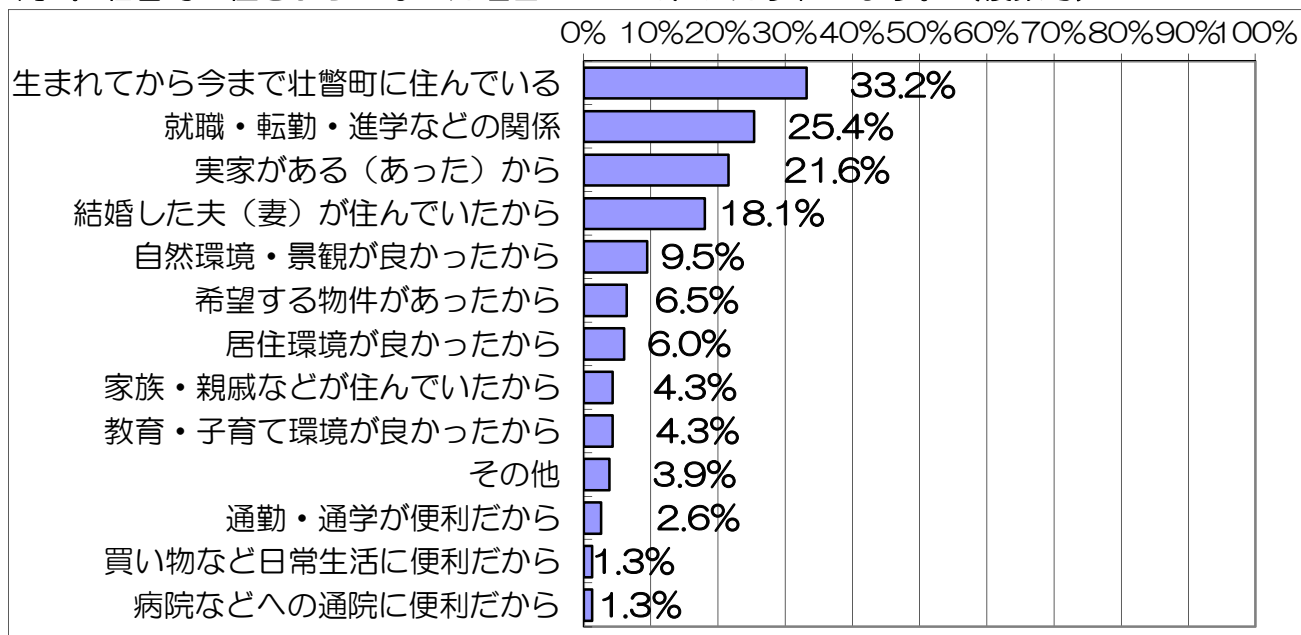
居住地域ごとの回収率



- 今回調査での居住地域ごとの回収率にはかなりのばらつきがあり「弁景」（61.5%）、「上久保内」（50.0%）「久保内」（41.9%）「滝之町」（40.5%）などは比較的高い水準で、20%を下回る地域はなかった。

3) 自分自身のこと

問2. 壮警町に住むようになった理由について、おたずねします。（複数可）



- ・「生まれてから今まで壮警町に住んでいる」が33.2%と高く、次いで「転職・転勤・進学などの関係」が25.4%、「実家がある（あった）から」が21.6%、「結婚した夫（妻）が住んでいたから」が18.1%と続く。

○ポイント

- ・生まれてからずっと住んでいる方や、転職・転勤の関係、結婚等の理由が多い。

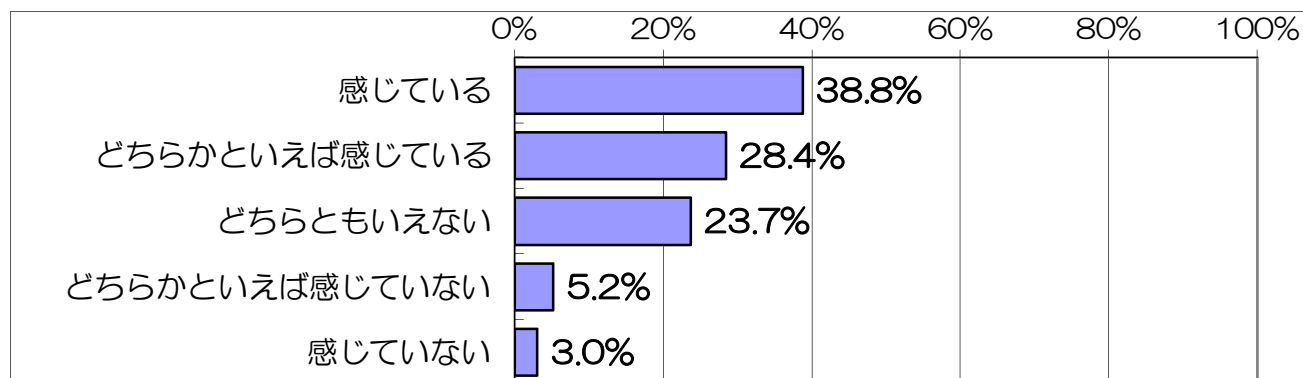
問2 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	生まれてから今まで壮警町に住んでいる	77	33.2%
2	3	就職・転勤・進学などの関係	59	25.4%
3	2	実家がある（あった）から	50	21.6%
4	4	結婚した夫（妻）が住んでいたから	42	18.1%
5	10	自然環境・景観が良かったから	22	9.5%
6	12	希望する物件があったから	15	6.5%
7	9	居住環境が良かったから	14	6.0%
8	5	家族・親戚などが住んでいたから	10	4.3%
9	11	教育・子育て環境が良かったから	10	4.3%
10	13	その他	9	3.9%
11	7	通勤・通学が便利だから	6	2.6%
12	6	買い物など日常生活に便利だから	3	1.3%
13	8	病院などへの通院に便利だから	3	1.3%
		無回答・無効	2	0.9%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・恋人が住んでいるから。	女	40代	無職or年金
2	・夫の転職に伴って。	女	40代	会社員
3	・親の転職。	男	10・20代	学生
4	・知人の紹介。	女	30代	その他
5	・三恵病院へ入院のため。	女	50代	無職or年金
6	・転勤のため居住しているから。	男	50代	公務員

問3. あなたは、壮瞥町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。



- ・「感じている」「どちらかといえば感じている」が67.2%と高く、「どちらともいえない」が23.7%、「どちらかといえば感じていない」「感じていない」が8.2%となっている。

〇ポイント

- ・愛着を感じていると回答した方が約7割を占めている。

問3 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	感じている	90	38.8%
2	2	どちらかといえば感じている	66	28.4%
3	3	どちらともいえない	55	23.7%
4	4	どちらかといえば感じていない	12	5.2%
5	5	感じていない	7	3.0%
		無回答・無効	2	0.9%
合計			232	100%

愛着を感じている理由

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・生まれ育った町だから。（学生時代は特に愛着を感じていなかったが、社会人になり壮瞥で仕事をして、町の行事等に関わらせてもらうことも何度かあった。そういった経験の中で少しずつ愛着がわき今は愛着を感じている。	男	10・20代	農林業
2	・魅力と可能性を感じるから。	男	40代	公務員
3	・気候が良いから。 ・環境が良いから。	女	70代～	無職or年金
4	・生まれてから住んでいるから。	男	10・20代	会社員
5	・生まれてからずっと壮瞥町民だから。	女	30代	会社員
6	・自然と人。	男	60代	自営業
7	・豊かな資源と果物が豊富だから。	女	70代～	会社員
8	・進学で他の市等に住んだが、壮瞥の方が住んでいて愛着を感じた。	男	30代	農林業
9	・自然が豊か。	女	40代	その他
10	・幼い頃から住んでいるので、落ち着く。	女	10・20代	会社員
11	・都会にないものがたくさんある。 ・都会に魅力を感じない。	女	30代	団体職員
12	・ふるさとであり、のどかな町だから。	女	50代	その他
13	・生まれ育った町だから。	男	50代	農林業
14	・自然が好きになったから。落ち着きます。	女	40代	会社員

15	・伸びやかな景観と住む人々。	女	60代	主婦
16	・温泉、環境、安心な生活。	男	60代	無職or年金
17	・小学校4年生まで生活していたので、愛着があり、母が一人で生活をしていたため。	女	60代	その他
18	・生まれ育った町であるとともに、洞爺湖や有珠山、昭和新山が見えて景色も良いことから。	男	50代	会社員
19	・空気が良いから。	女	70代～	農林業
20	・まだ短期間だけど楽しく、自分の地元に似た感じがする。	男	40代	公務員
21	・気候穏やか、人が良く、安心して住める。	男	70代～	会社員
22	・地域でのかわりや子どもを通しての母親同士のつながりができたから。	女	30代	会社員
23	・30年以上住んで思い出がたくさんある。景観が素晴らしいこと。	女	60代	自営業
24	・地域活動や近隣住民との交流により、壮瞥町にコミュニティを感じるため。	男	60代	無職or年金
25	・自然が多いところ。	男	50代	その他
26	・生まれ育ったまち。	女	50代	その他
27	・生まれ育ったまち。これから一生住む町だから。	男	60代	農林業
28	・自然環境がいい。	男	60代	会社員
29	・ふるさとだから。	女	60代	その他
30	・自然が多いから。	男	10・20代	会社員
31	・買物など、日常生活に比較的便利であるのと、洞爺湖など、自然環境の良さがあるから。	男	40代	公務員
32	・生まれ育ったまちであるから。	男	70代～	無職or年金
33	・住みやすい。	女	40代	主婦
34	・生まれてからずっと過ごしているから。	男	30代	農林業
35	・自然の中、静かに生活でき、住み慣れた町。	男	60代	会社員
36	・知り合いが増えたから。	女	30代	主婦
37	・先祖代々壮瞥にお世話になっているため。	男	70代～	無職or年金
38	・昭和新山で働いてたから。夫に会え、子どもに恵まれ、家を持ち幸せです。でも人口が年々少なくなっていくのは寂しいです。若い人がどんどん働ける仕事があればいいのに。	女	70代～	無職or年金
39	・自然豊かで地域のコミュニティも充実している。	男	10・20代	会社員
40	・人口が少ないが地域のつながりがあり、些細なことでも助け合っている。	男	40代	会社員
41	・子どもの頃からの思い出がたくさんある。	男	40代	会社員
42	・子育てしやすい。 ・野菜や果物が美味しい。	女	30代	主婦
43	・生まれ育った町だから 自然も多い。	男	30代	会社員
44	・住む年月がまだ足りないような気もしますが、だんだん感じるようになってきたかなというぐらいには…。	女	40代	会社員
45	・良い町だと感じているから。	男	30代	公務員
46	・自然に囲まれ住みよいところ。	女	50代	農林業
47	・慣れてきたから。 ・壮瞥町内での知り合いも増えてきたから。	女	30代	その他
48	・幼少期から暮らしている。	女	10・20代	公務員
49	・自然豊かな地である。	女	60代	農林業

50	・生まれ育った町だから。家業の手伝いをするため近くに住んでいる。	女	10・20代	会社員
51	・自然環境、景観の良さ、気候等の良さ、農林業と観光。	男	40代	農林業
52	・30年以上住んでいるので。	女	50代	主婦
53	・生まれ育った町であり、自然豊かな町で昭和新山、洞爺湖と景観が素晴らしい町だから。	男	50代	自営業
54	・生まれ育った場所だから。	男	50代	会社員
55	・まわりに知り合いがいて、自然に囲まれている居心地のよい町だから。	男	40代	その他
56	・自然で住みよい。	男	60代	無職or年金
57	・長い間住んでいるから。	女	50代	自営業
58	・自分が生まれ育った町だから。	女	30代	会社員
59	・幼い頃から自然の中でたくさん遊び学び自分達で育てた食材で作って食べる。とてもすごい経験をしたおかげで、安心して学校生活を送れたのだと感謝しています。久保内が大好きです。	女	10・20代	学生
60	・自分の畑を持っているから。	男	50代	農林業
61	・人口は少ない町だが少ないなりに人間関係が非常に良いと思う。	男	70代～	農林業
62	・生まれてから60数年住んでいるから。	女	60代	会社員
63	・生まれたところだから。	男	70代～	無職or年金
64	・家族（夫や夫の両親）が壮警の町を好んでいるので、自分も少しずつ同じ思いを感じるようになった。	女	40代	会社員
65	・自然、食（農産物）が豊か。町の誇るべき資源だと思うから。	女	10・20代	学生
66	・長年壮警町に住んでいるから。	女	50代	自営業
67	・先祖が苦労して拓いた土地。自分も大事にしていきたい。	男	60代	自営業
68	・子どもの頃から今まで70年も住んで愛着があるから。	男	70代～	無職or年金
69	・小さい頃よく遊び慣れ親しんだ土地だから。	男	10・20代	会社員
70	・私自身は生まれ育った土地ではありませんが、子ども達にとっては故郷であり、同じように大切にしたいと思っています。	女	30代	会社員
71	・住みやすい。都会のようなごちゃごちゃしていないところが良い。	女	30代	会社員
72	・居住後に構築された知人、友人との関係。	女	60代	会社員
73	・住み慣れているため。自然等景色が良い。	男	30代	会社員
74	・自然が多い。	女	60代	主婦
75	・この町で生まれ育ち、現在も居住し、仕事もしているため。	男	40代	公務員
76	・元々生まれ育ったところだから。	男	60代	会社員
77	・我が家が有るという生活環境。	男	60代	その他
78	・住み慣れていく中で、多くの方々との交流は増し、自然の豊かさを実感し、第二の故郷的感覚である。	女	50代	自営業
79	・住みやすいため。	女	30代	農林業
80	・家族を持った。（受け入れてくれたことに感謝）	男	70代～	その他
81	・住んでいるところなので、生活している場所なので。	女	30代	会社員
82	・自然環境、景観の美しさ、気候、食べ物、温泉などに恵まれているから。	女	50代	農林業
83	・長く住んでいるので、住みやすいから。 ・地域を知っているから。	女	50代	団体職員
84	・水も美味しいし、温泉もあり、美味しい物もあり、今後、健康で暮らせそうだから。	女	60代	自営業

85	・自然に恵まれている。	女	60代	自営業
86	・自然多く、とくに毎日温泉に入れることがうれしい。	女	70代～	主婦
87	・住みよい町であってほしいから。	女	40代	主婦
88	・昔の壮瞥町が好きです。自然な環境と両隣の関係。ゆったりとした生活。	女	60代	その他
89	・子育ての環境が良いと感じたから。	男	30代	会社員
90	・子育て環境がいいから。 ・自然が豊かで教育にいいから。 ・行政が手厚い（子育て支援が充実している。） ・町の規模が自分にちょうどいいから。	女	10・20代	主婦
91	・自然が美しい。	女	10・20代	その他
92	・とても住みやすく、自然が多い。	女	50代	自営業

どちらとも言えない理由

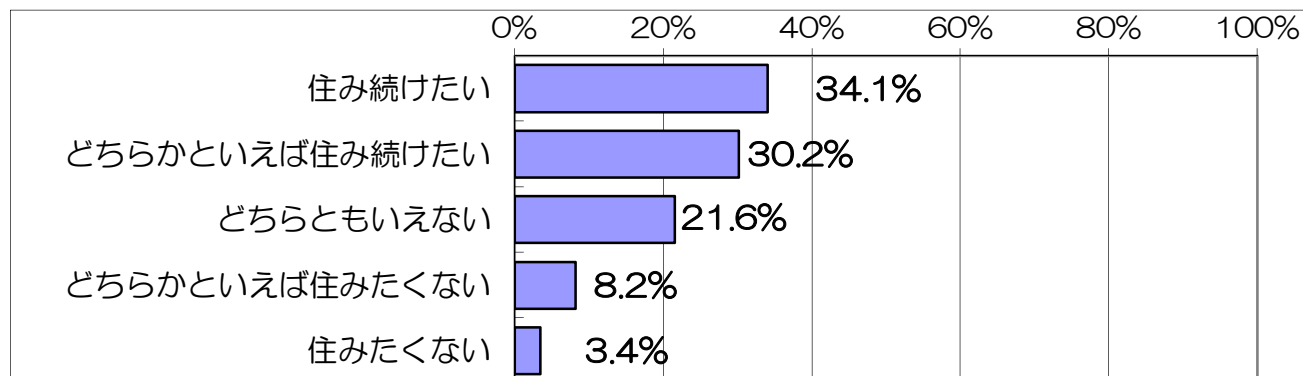
番号	内容	性別	年齢	職業
1	・幼少期は違うところで生活していたから。	男	40代	団体職員
2	・買い物、運動等が不便。	男	50代	農林業
3	・高齢化が進んでおり、その対策が進んでいると感じられない。 ・教師の障がい者への理解があまりないように感じられる。	女	10・20代	その他
4	・居住して間もないため。	男	10・20代	農林業
5	・40年以上釧路で育ったから。	男	50代	会社員
6	・親切が無い。	男	70代～	無職or年金
7	・まだ住み始めて1年半しか経っておらず、数年以内の転勤が決まっているから。	女	10・20代	公務員
8	・住んで間もないため。	女	10・20代	会社員
9	・買物、病院は車がないと。	男	60代	無職or年金
10	・たいした町じゃない。特色がない。	男	40代	会社員
11	・ここしか知らないから。	男	10・20代	学生
12	・交通の不便を感じる。	女	10・20代	学生
13	・来てそんなに経っていないため。	男	10・20代	その他
14	・買物が不便で田舎すぎるからです。	女	40代	会社員
15	・まだ2年ちょっとしか暮らしていないため。子どもがいないのもあり、知り合いが少ない。最初の2年は、町外で働いていたため、日中ほとんど壮瞥にいなかったため、あまり壮瞥の土地勘がない。	女	40代	主婦
16	・実家がないため。	女	30代	その他
17	・結果論としてまだなので…フリーな環境下なので。	女	40代	自営業
18	・引っ越しをしてまだ日が浅いので。	女	60代	無職or年金
19	・生まれ育った町であること。 ・自然環境が良いこと。 ・主要都市への距離が比較的近いこと。 ・ただ買物などが車が無いと不便。	男	50代	自営業
20	・田舎すぎるが、病院から自由に外へ出られないので。	女	50代	無職or年金
21	・生まれたのが壮瞥で、ずっと壮瞥の人たちはすごい仲良くて、結婚した夫が壮瞥で知らない人達ばかりの所に来た私には、入っていくのが大変でした。ママ友もなかなかできず、家から保育所も遠いので、歩きはちょっと足の悪い私には毎日苦です。壮瞥の保育所はなぜ送迎バス運行しないんですか。	女	30代	主婦
22	・将来のことを考えると。	女	60代	無職or年金

23	・老後を考えると心配。買物や病院等、移動のためには、車が必要だ と思うけど、運転等も気になる。	女	50代	主婦
24	・生まれ育った町ではないから。	男	50代	会社員
25	・だんだん人が少なくなっているから。	男	70代～	無職or年金
26	・魅力がない、活力がない。	男	60代	団体職員

愛着を感じていない理由

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・当方の自治体は、外様には非常に冷たいところです。	男	40代	自営業
2	・壮瞥町で働いていなく、ただ住んでいるという感覚のため。	女	40代	無職or年金
3	・居住して短期間のため。	女	10・20代	会社員
4	・住んで間もないため。	女	30代	その他
5	・不便。	男	70代～	その他
6	・買物が不便で田舎すぎるからです。	女	40代	会社員
7	・居住年数もあまりたっていないため、愛着まではいってません。	女	30代	主婦
8	・まちについてよく知らないため。	女	10・20代	会社員
9	・つまらない町だから。	男	30代	自営業
10	・壮瞥町に来てまだ半年も経っていないから。	女	40代	主婦
11	・不便、不公平（仕事がない。交通の便が悪い。一部の人間だけが裕 福。土建屋さんとか。	女	40代	主婦
12	・居住地域と住民に愛着を感じているが、壮瞥町には愛着を感じられ ない。	男	70代～	無職or年金
13	・住み始めてから日が浅いため。	女	10・20代	農林業

問4. 定住意向についておたずねします。あなたは今後も壮瞥町に住み続けたいと思いますか。



- ・「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」が64.3%と高く、「どちらともいえない」が21.6%、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」が11.6%となっている。

○ポイント

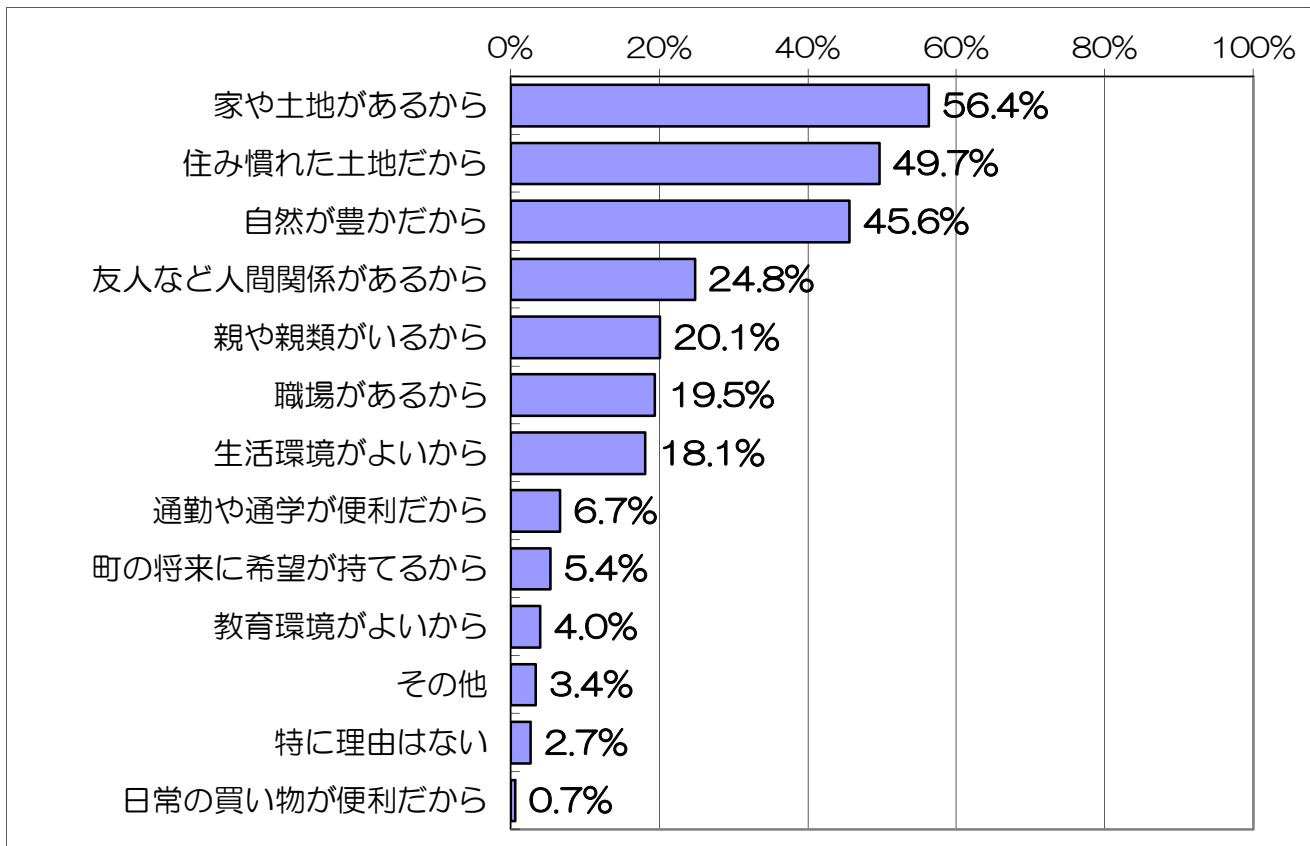
- ・住み続けたい、どちらかといえば住み続けたいが約6割強を占めている。

問4 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	住み続けたい	79	34.1%
2	2	どちらかといえば住み続けたい	70	30.2%
3	3	どちらともいえない	50	21.6%
4	4	どちらかといえば住みたくない	19	8.2%
5	5	住みたくない	8	3.4%
		無回答・無効	6	2.6%
合計			232	100%

問5. 住み続けたい理由は何ですか。
(3つまで選択可)

※ 問4のうち、住み続けたいと回答した人数149名



- ・「家や土地があるから」(56.4%)が最も多く、次いで「住み慣れた土地だから」(49.7%)、「自然が豊かだから」(45.6%)、「友人など人間関係があるから」(24.8%)と続く。

○ポイント

- ・持ち家や土地を持っている方の定住意向が特に強い。
- ・住み慣れた土地だから、自然豊かだからと回答した人も多い。

問5 回答結果内訳

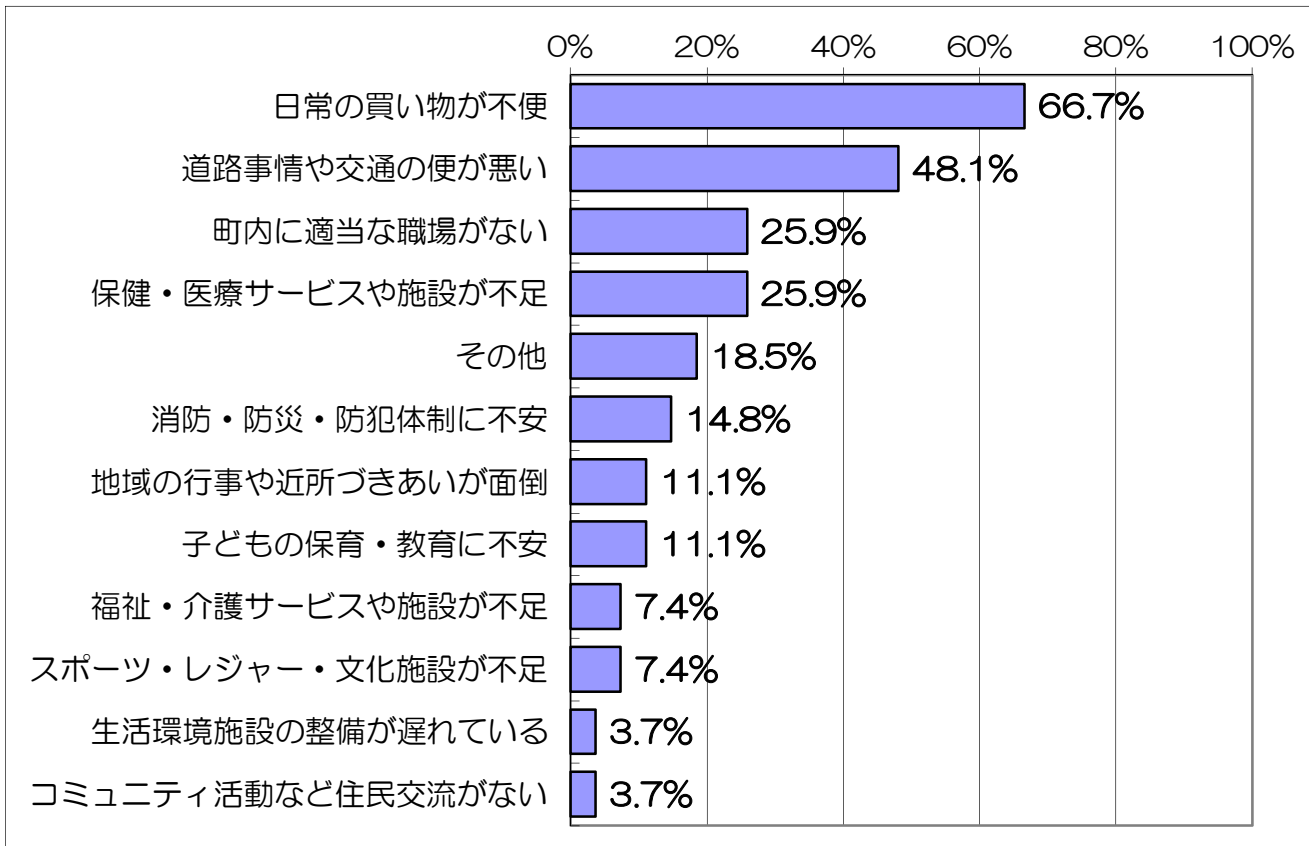
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	2	家や土地があるから	84	56.4%
2	1	住み慣れた土地だから	74	49.7%
3	5	自然が豊かだから	68	45.6%
4	4	友人など人間関係があるから	37	24.8%
5	3	親や親類がいるから	30	20.1%
6	10	職場があるから	29	19.5%
7	9	生活環境がよいから	27	18.1%
8	7	通勤や通学が便利だから	10	6.7%
9	11	町の将来に希望が持てるから	8	5.4%
10	6	教育環境がよいから	6	4.0%
11	13	その他	5	3.4%
12	12	特に理由はない	4	2.7%
13	8	日常の買い物が便利だから	1	0.7%
		無効、無回答	1	0.7%
回答数の内、住み続けたいと回答した人数			149	

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・自分の生まれ育った町で、そこで仕事をしていくと決めたから。	男	10・20代	農林業
2	・子どもの病院代が無料だから。	女	30代	会社員
3	・ただし、有珠山噴火への心配はある。	女	40代	自営業
4	・静かだから。	女	40代	無職or年金
5	・夫がいるため。	女	10・20代	会社員
6	・町職員の方々の窓口対応が優しく丁寧で安心感が大きいです。	男	70代～	無職or年金
7	・中学校卒業まで医療費がかからないから。	女	30代	主婦

問6. 住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで選択可)

※ 問4のうち、住みたくないと回答した人数27名



- ・「日常の買い物が不便」と感じている方が66.7%と高く、次いで「道路事情や交通の便が悪い」（48.1%）、「町内に適当な職場がない」（25.9%）、「保健・医療サービスや施設が不足」（25.9%）と続く。

○ポイント

- ・日常の買い物が不便と道路事情や交通の便が悪いと感じている人が多い。

問6 回答結果内訳

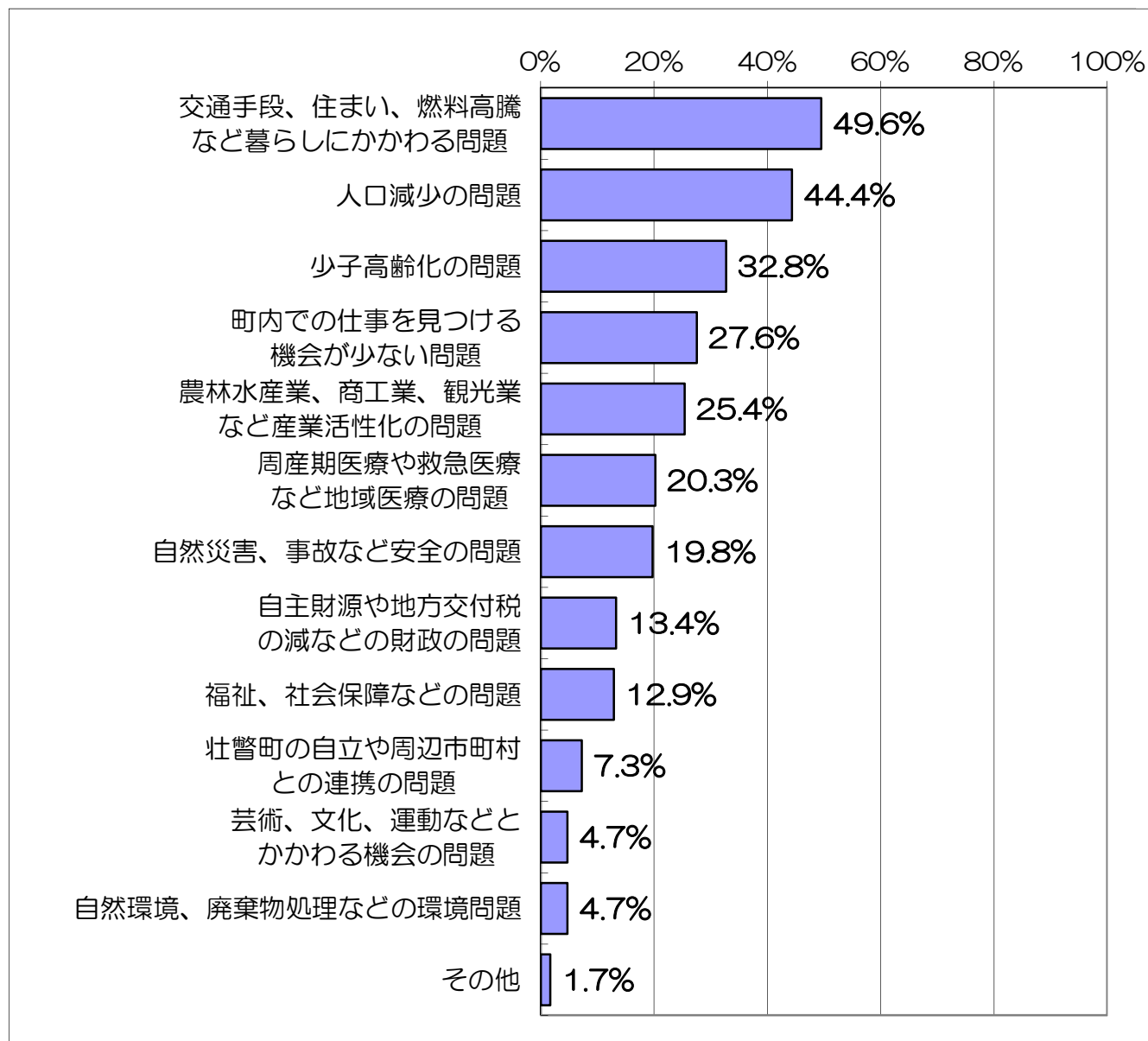
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	日常の買い物が不便	18	66.7%
2	2	道路事情や交通の便が悪い	13	48.1%
3	5	町内に適当な職場がない	7	25.9%
4	6	保健・医療サービスや施設が不足	7	25.9%
5	12	その他	5	18.5%
6	8	消防・防災・防犯体制に不安	4	14.8%
7	3	地域の行事や近所づきあいが面倒	3	11.1%
8	4	子どもの保育・教育に不安	3	11.1%
9	7	福祉・介護サービスや施設が不足	2	7.4%
10	9	スポーツ・レジャー・文化施設が不足	2	7.4%
11	10	生活環境施設の整備が遅れている	1	3.7%
12	11	コミュニティ活動など住民交流がない	1	3.7%
		無回答・無効	0	0.0%
回答数の内、住みたくなないと回答した人数			27	

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・病院がない。	男	60代	無職or年金
2	・実家に戻るため。	男	50代	会社員
3	・農薬などがたくさんまかれているため。	女	30代	主婦
4	・自宅のある市に定住したいから。	男	50代	公務員

4) 課題と対策

問7. あなたは、現在の壮警町の課題や将来的な不安は何だと思いますか。
(3つまで選択可)



- ・「交通手段、住まい、燃料高騰など暮らしにかかわる問題」が49.6%と高く、次いで「人口減少の問題」（44.4%）、「少子高齢化の問題」（32.8%）、「町内での仕事を見つける機会が少ない問題」（27.6%）と続く。

○ポイント

- ・生活基盤に係る問題が課題という声が多かった。

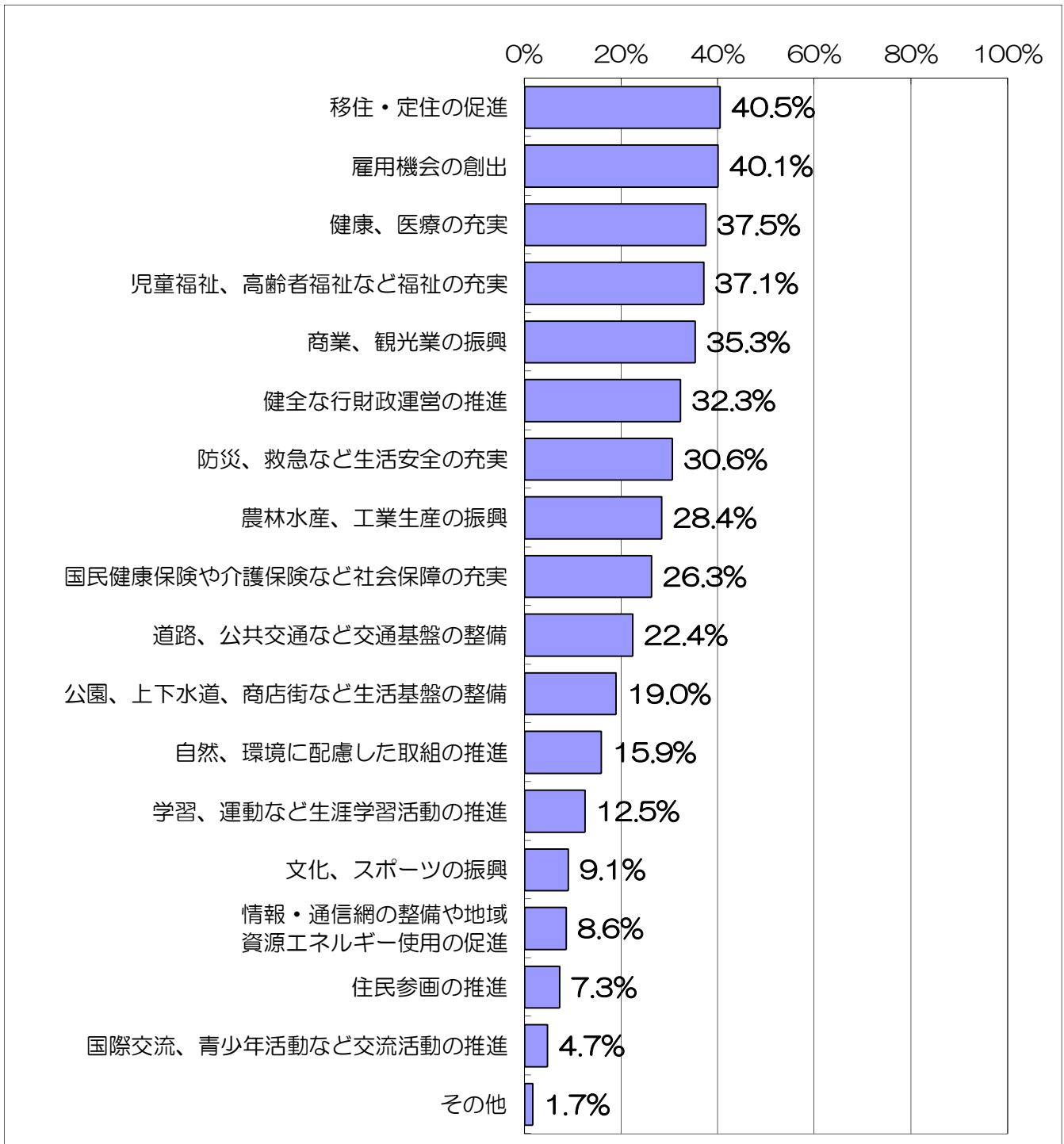
問7 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	交通手段、住まい、燃料高騰など暮らしにかかわる問題	115	49.6%
2	10	人口減少の問題	103	44.4%
3	9	少子高齢化の問題	76	32.8%
4	2	町内での仕事を見つける機会が少ない問題	64	27.6%
5	6	農林水産業、商工業、観光業など産業活性化の問題	59	25.4%
6	7	周産期医療や救急医療など地域医療の問題	47	20.3%
7	5	自然災害、事故など安全の問題	46	19.8%
8	12	自主財源や地方交付税の減などの財政の問題	31	13.4%
9	8	福祉、社会保障などの問題	30	12.9%
10	11	壮瞥町の自立や周辺市町村との連携の問題	17	7.3%
11	3	芸術、文化、運動などにかかわる機会の問題	11	4.7%
12	4	自然環境、廃棄物処理などの環境問題	11	4.7%
13	13	その他	4	1.7%
		無効、無回答	12	5.2%
回答者数			232	

「その他」の特記事項等

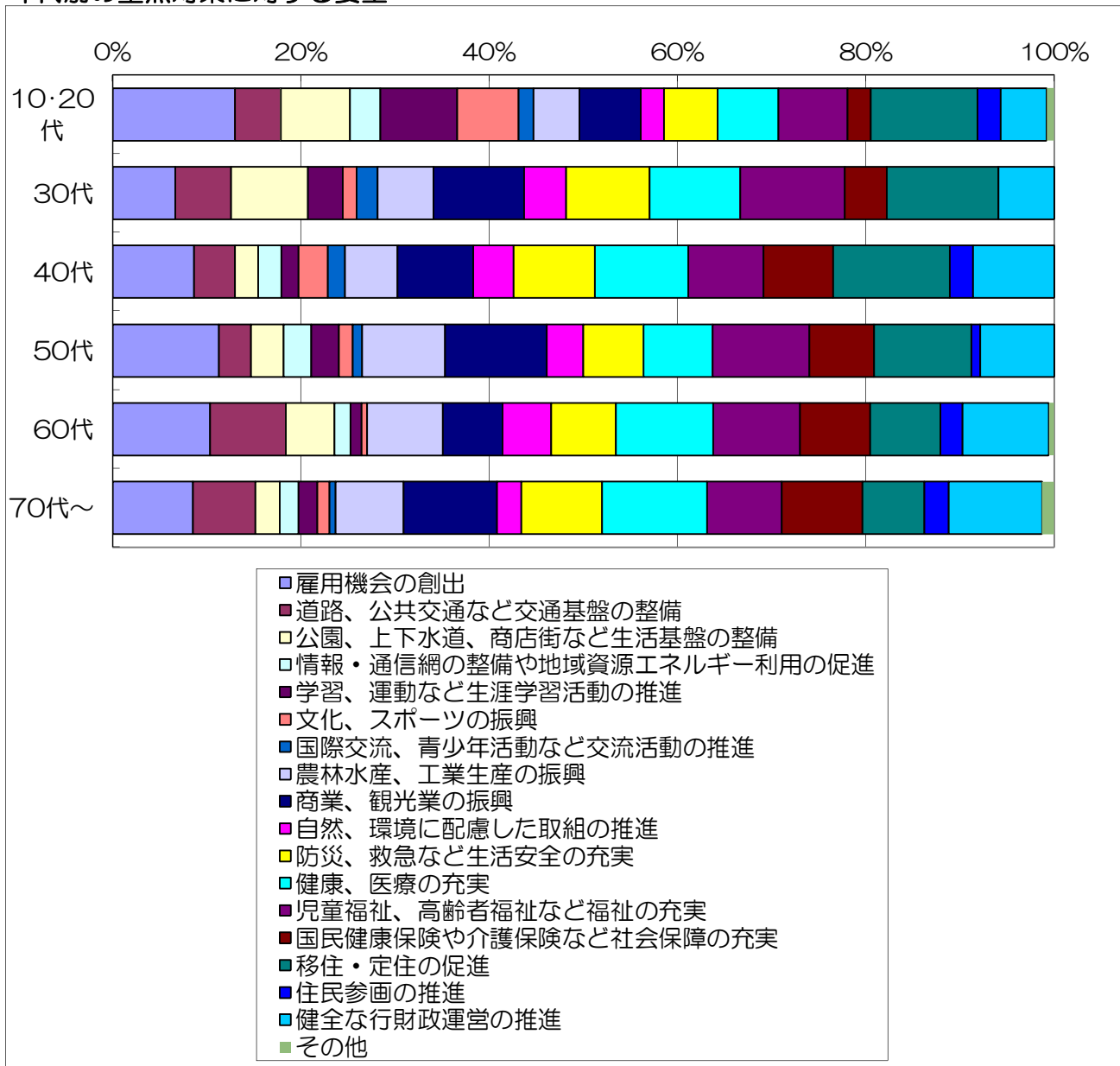
番号	内容	性別	年齢	職業
1	・治安については非常に悪いと思っています。特に障がい者の方が普通に歩いていること。小さな子ども等には危険ではないでしょうか。近年は特に外国人の方の廃品回収等の訪問などが増えている。	男	40代	自営業
2	・買物が不便。	女	60代	その他
3	・自治会の運営のあり方。	女	50代	自営業
4	・壮瞥町に限らず胆振で受診したいと思える病院がない。	女	30代	その他
5	・壮瞥町全体の「理念」が全く感じられない。	男	70代～	無職or年金
6	・宅地がなく（少なく）空家等がうまく活用されていないので、賃貸のままが不安（このままだと定住できないので、町外に引っ越すしかないかなと思っている。	女	10・20代	主婦
7	・町自身を活性化させる計画や努力が目に見えないことが問題。議員や役場職員の活性化が目に見えないのが問題。	男	70代～	無職or年金

問8. あなたは、今後のまちづくりでどのような対策が重点的に必要だと思いますか。
(5つまで選択可)



- ・「移住・定住の促進」（40.5%）と「雇用機会の創出」（40.1%）が高く、
「健康、医療の充実」（37.5%）、
「児童福祉、高齢者福祉など福祉の充実」（37.1%）
「商業、観光業の振興」（35.3%）「健全な行財政運営の推進」（32.3%）
「防災、救急など生活安全の充実」（30.6%）と続く。

年代別の重点対策に対する要望



- ・10代・20代の若い層は、「雇用機会の創出」、
「公園、上下水道、商店街など生活基盤の整備」や「移住・定住の促進」、
「学習、運動など生涯学習活動の推進」、
「文化、スポーツの振興」などが多い傾向がある。
- ・30代～50代の働きざかりの層は、「商業、観光業の振興」、
「防災、救急など生活安全の充実」の声が多い。
- ・60代～70代以上の高齢者層には、「健康、医療の充実」、
「国民健康保険や介護保険など社会保障の充実」、
「健全な行財政運営の推進」が多い結果となった。

地域別の重点対策に対する要望（上位5項目）

	滝之町・立香		壮瞥温泉・洞爺湖温泉・昭和新山		仲洞爺・東湖畔		久保内・南久保内・上久保内		幸内・弁景・蟠溪	
1位	雇用機会の創出	43.8%	移住・定住の促進	45.5%	農林水産、工業生産の振興	62.5%	移住・定住の促進	50.0%	雇用機会の創出	53.3%
2位	健康、医療の充実	42.2%	農林水産、工業生産の振興	36.4%	防災、救急など生活安全の充実	37.5%	健全な行財政運営の推進	50.0%	農林水産、工業生産の振興	46.7%
3位	児童福祉、高齢者福祉など福祉の充実	40.6%	防災、救急など生活安全の充実	36.4%	道路、公共交通など交通基盤の整備	37.5%	雇用機会の創出	40.0%	児童福祉、高齢者福祉など福祉の充実	46.7%
4位	移住・定住の促進	39.1%	児童福祉、高齢者福祉など福祉の充実	36.4%	商業、観光業の振興	37.5%	健康、医療の充実	40.0%	移住・定住の促進	46.7%
5位	防災、救急など生活安全の充実	35.2%	道路、公共交通など交通基盤の整備	33.3%	自然、環境に配慮した取組の推進	37.5%	商業、観光業の振興	35.0%	健全な行財政運営の推進	40.0%

※データ数の少ない地域は近隣地域と合わせた

- ・医療・福祉・社会保障分野の要望は各地域に共通して高い。
- ・滝之町・立香地域や幸内・弁景・蟠溪地域では、「雇用機会の創出」が1位に入っている。
- ・壮瞥温泉・洞爺湖温泉・昭和新山地域や仲洞爺・東湖畔地域など「防災・救急など生活安全の充実」が上位に入っている。
- ・幸内・弁景・蟠溪地域では「農林水産、工業生産の振興」が上位に入っている。
- ・久保内・南久保内・上久保内地域では「移住・定住の促進」、「健全な行財政運営の推進」が上位に入っている。

問8 回答結果内訳

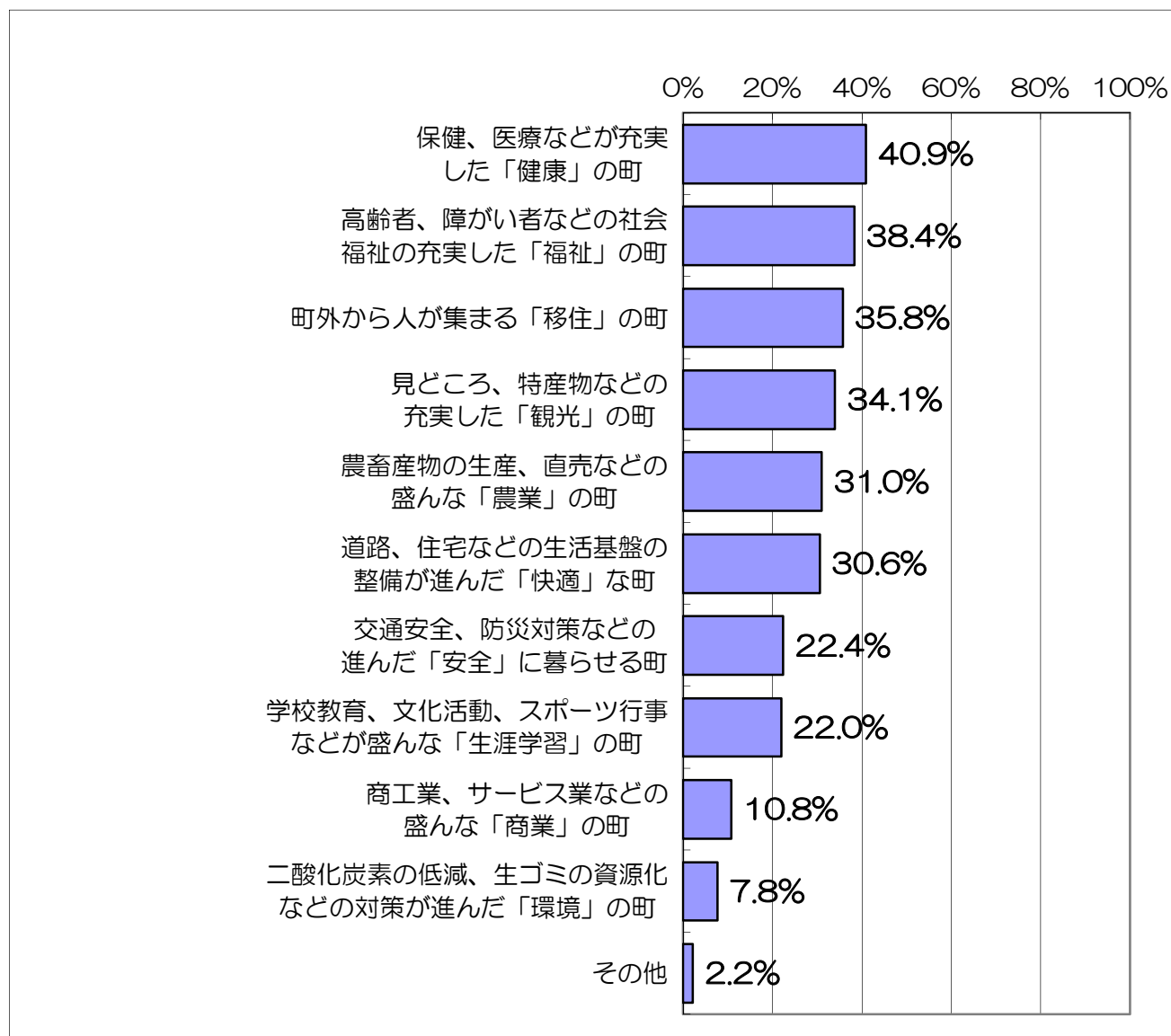
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	15	移住・定住の促進	94	40.5%
2	1	雇用機会の創出	93	40.1%
3	12	健康、医療の充実	87	37.5%
4	13	児童福祉、高齢者福祉など福祉の充実	86	37.1%
5	9	商業、観光業の振興	82	35.3%
6	17	健全な行財政運営の推進	75	32.3%
7	11	防災、救急など生活安全の充実	71	30.6%
8	8	農林水産、工業生産の振興	66	28.4%
9	14	国民健康保険や介護保険など社会保障の充実	61	26.3%
10	2	道路、公共交通など交通基盤の整備	52	22.4%
11	3	公園、上下水道、商店街など生活基盤の整備	44	19.0%
12	10	自然、環境に配慮した取組の推進	37	15.9%
13	5	学習、運動など生涯学習活動の推進	29	12.5%
14	6	文化、スポーツの振興	21	9.1%
15	4	情報・通信網の整備や地域資源エネルギー使用の促進	20	8.6%
16	16	住民参画の推進	17	7.3%
17	7	国際交流、青少年活動など交流活動の推進	11	4.7%
18	18	その他	4	1.7%
		無効、無回答	7	3.0%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・財政難の脱却。	女	10・20代	公務員
2	・役場の公園の遊具が壊れているのに、未だに修理もされていない。 ・滝之町住宅公園が古くなっているため、定期で点検が必要だと思う。 ・壮瞥町内の雇用が少ないと思う。 ・空いている住宅をなぜ困っている高齢者に貸してあげないのか。子どもが多い家庭は2階ではなく、空いている1階の住宅に優遇するといろいろ考えていただきたい。	女	30代	主婦
3	・行政内部の抜本的改革不可欠。	男	70代～	無職or年金
4	・温泉の活用、充実。	男	70代～	無職or年金
5	・人口減少に歯止めをかけるにはどうしたらよいか。	男	60代	団体職員

5) 将来像

問9. あなたは、将来の壮瞥町がどのようなことを望みますか。
(3つまで選択可)



- ・「健康」(40.9%)「福祉」(38.4)の数値が大きく、次いで「移住」(35.8%)、「観光」(34.1%)、「農業」(31.0%)が続いている。

○ポイント

- ・「健康」「福祉」「防災」といった安全・安心、「移住」「定住」といった人口減対策、「農業」「観光」の振興といった基盤強化など対策をとり、成果が望まれている。

問9 回答結果内訳

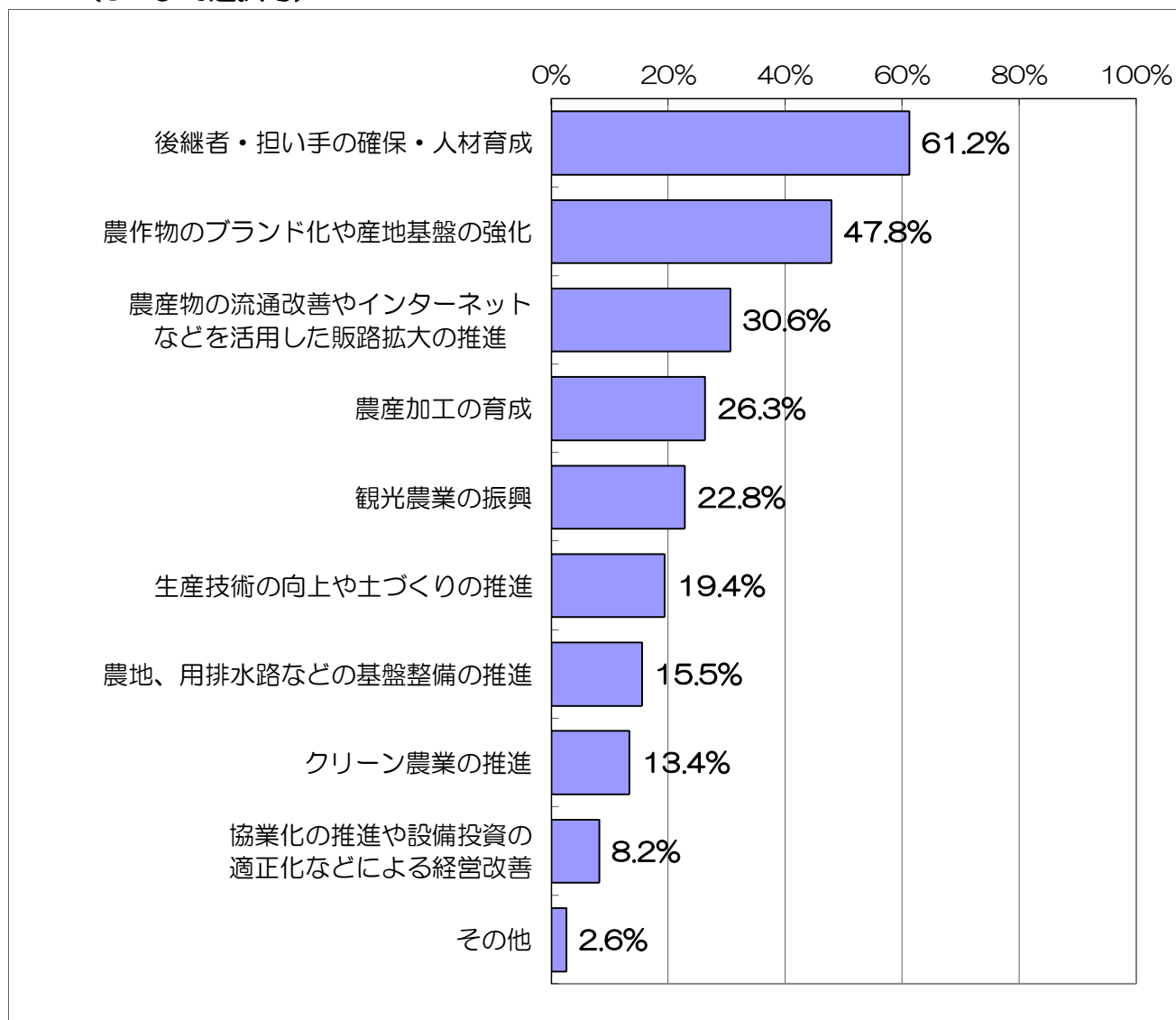
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	4	保健、医療などが充実した「健康」の町	95	40.9%
2	3	高齢者、障がい者などの社会福祉の充実した「福祉」の町	89	38.4%
3	6	町外から人が集まる「移住」の町	83	35.8%
4	9	見どころ、特産物などの充実した「観光」の町	79	34.1%
5	7	農畜産物の生産、直売などの盛んな「農業」の町	72	31.0%
6	1	道路、住宅などの生活基盤の整備が進んだ「快適」な町	71	30.6%
7	2	交通安全、防災対策などの進んだ「安全」に暮らせる町	52	22.4%
8	5	学校教育、文化活動、スポーツ行事などが盛んな「生涯学習」の町	51	22.0%
9	8	商工業、サービス業などの盛んな「商業」の町	25	10.8%
10	10	二酸化炭素の低減、生ゴミの資源化などの対策が進んだ「環境」の町	18	7.8%
11	11	その他	5	2.2%
		無回答・無効	5	2.2%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・住みやすい便利なまち。	女	10・20代	公務員
2	・減農や有機栽培に力を入れる町。	男	10・20代	学生
3	・担い手不足を見越したイベント運営。	男	30代	農林業
4	・ブランド力・ブランド化という訳ではないと思っています。町外、道外の方からも「売り方が下手だね。もったいない」と言われます。道外に旅行に行ったとき、町外にお住まいの方が壮瞥のリンゴのことをその県のリンゴ農家の方に勧めていました。仁木町にお住まいの方が、わざわざスイカを求めに来町されます。とても品質が高く美味しいものがあり、町外の方達にも支持されている農産物ですが。発信の仕方、販売の仕方が弱いと思います。	男	50代	農林業
5	・農業盛んな北海道の中でも、特段な携帯を持つ農業高校の創設。	男	70代～	無職or年金
6	・旅行者が楽しめる町。人に優しい町。お互いを大事にする町。	男	70代～	無職or年金
7	・未耕作、放棄農地の住宅化。	男	60代	団体職員

6) 産業振興

問10. 壮瞥町の農業の振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。
(3つまで選択可)



- ・「後継者・担い手の確保・人材育成」(61.2%)が群を抜いており、「農産物のブランド化や産地基盤の強化」(47.8%)が次ぐ。3位以降は、「農産物の流通改善やインターネットなどを活用した販路拡大の推進」(30.6%)、「農産加工の育成」(26.3%)、「観光農業の振興」(22.8%)、「生産技術の向上や土づくりの推進」(19.4%)、「農地、用排水路などの基盤整備の推進」(15.5%)が続く。

○ポイント

- ・最も求められている施策は、**後継者・担い手確保・人材育成**への対応。
- ・**農産物のブランド化や産地基盤の強化**などに一定数の回答が集まった。

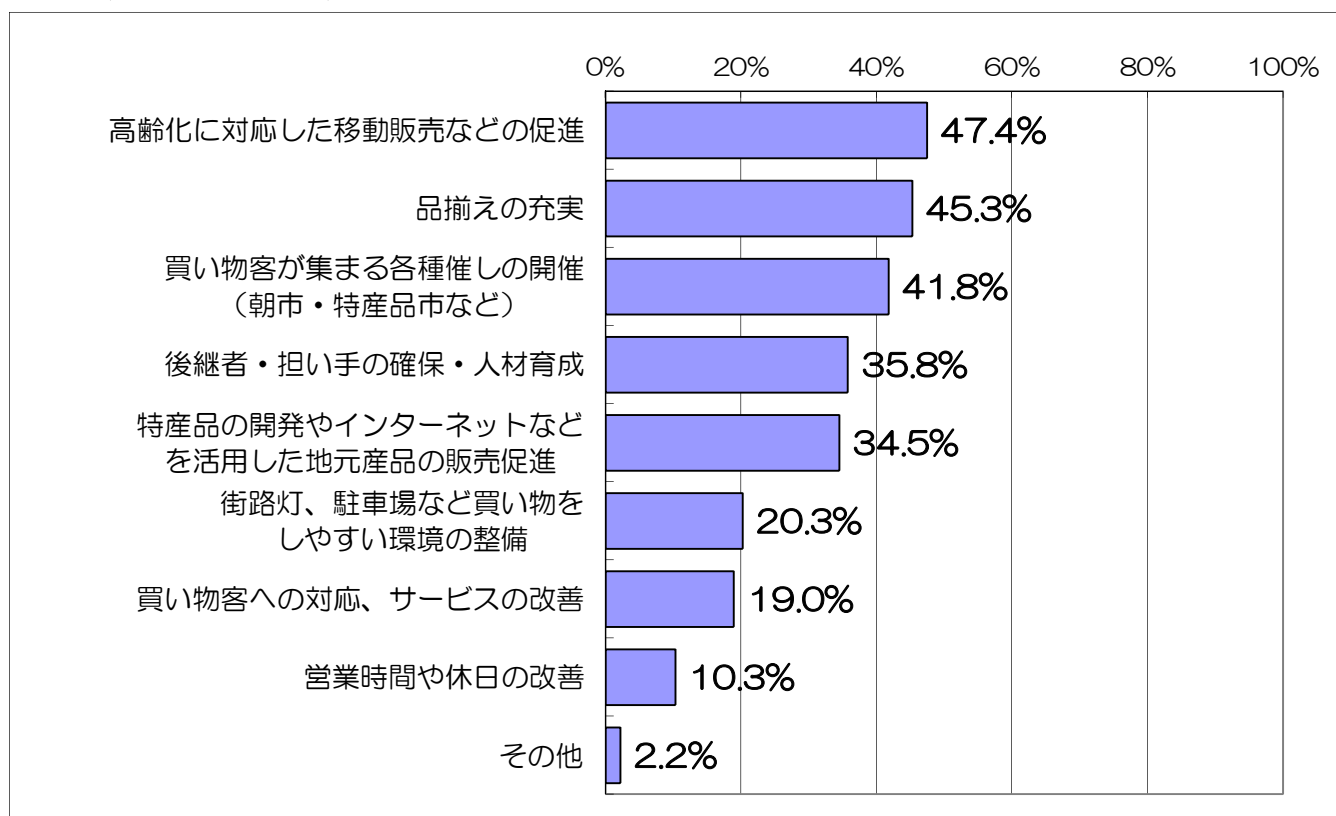
問10 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	9	後継者・担い手の確保・人材育成	142	61.2%
2	4	農作物のブランド化や産地基盤の強化	111	47.8%
3	6	農産物の流通改善やインターネットなどを活用した販路拡大の推進	71	30.6%
4	7	農産加工の育成	61	26.3%
5	8	観光農業の振興	53	22.8%
6	2	生産技術の向上や土づくりの推進	45	19.4%
7	1	農地、用排水路などの基盤整備の推進	36	15.5%
8	5	クリーン農業の推進	31	13.4%
9	3	協業化の推進や設備投資の適正化などによる経営改善	19	8.2%
10	10	その他	6	2.6%
		無回答・無効	18	7.8%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・地域農業の中心となる人物を伸ばす取組。	男	30代	農林業
2	・有機農業など農薬に頼らない農業で、無農薬栽培で安心して食べられる米や果実を作ってブランド化したらいい。	女	30代	主婦
3	・小規模農業ができるように、空いている土地の使用や売買しやすい方法があるといいですね。	女	60代	自営業
4	・農業高校の全寮化と外国実習生の受入れ。 ・地域農業生産者との速やかな交流による未来農業の構築を作り上げる事。	男	70代～	無職or年金
5	・環境にいい、エコな農業へ、健康にいいエコな農業へ。	女	40代	主婦

問11. 壮瞥町の商業の振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。
(3つまで選択可)



- ・「高齢化に対応した移動販売などの促進」(47.4%)、「品揃えの充実」(45.3%)
「買い物客が集まる各種催しの開催(朝市・特産品市など)」(41.8%)を
選択した人が多く、続いて「後継者・担い手の確保・人材育成」(35.8%)、
「特産品の開発やインターネットなどを活用した地元製品の販売促進」(34.5%)
などが選ばれている。

○ポイント

- ・高齢化に対応した移動販売、品揃え・サービスなど現状の改善のほか、催し、
ネット利用など新たな販売手法・業務形態の導入のほか、新商品開発などにも
回答が集まった。

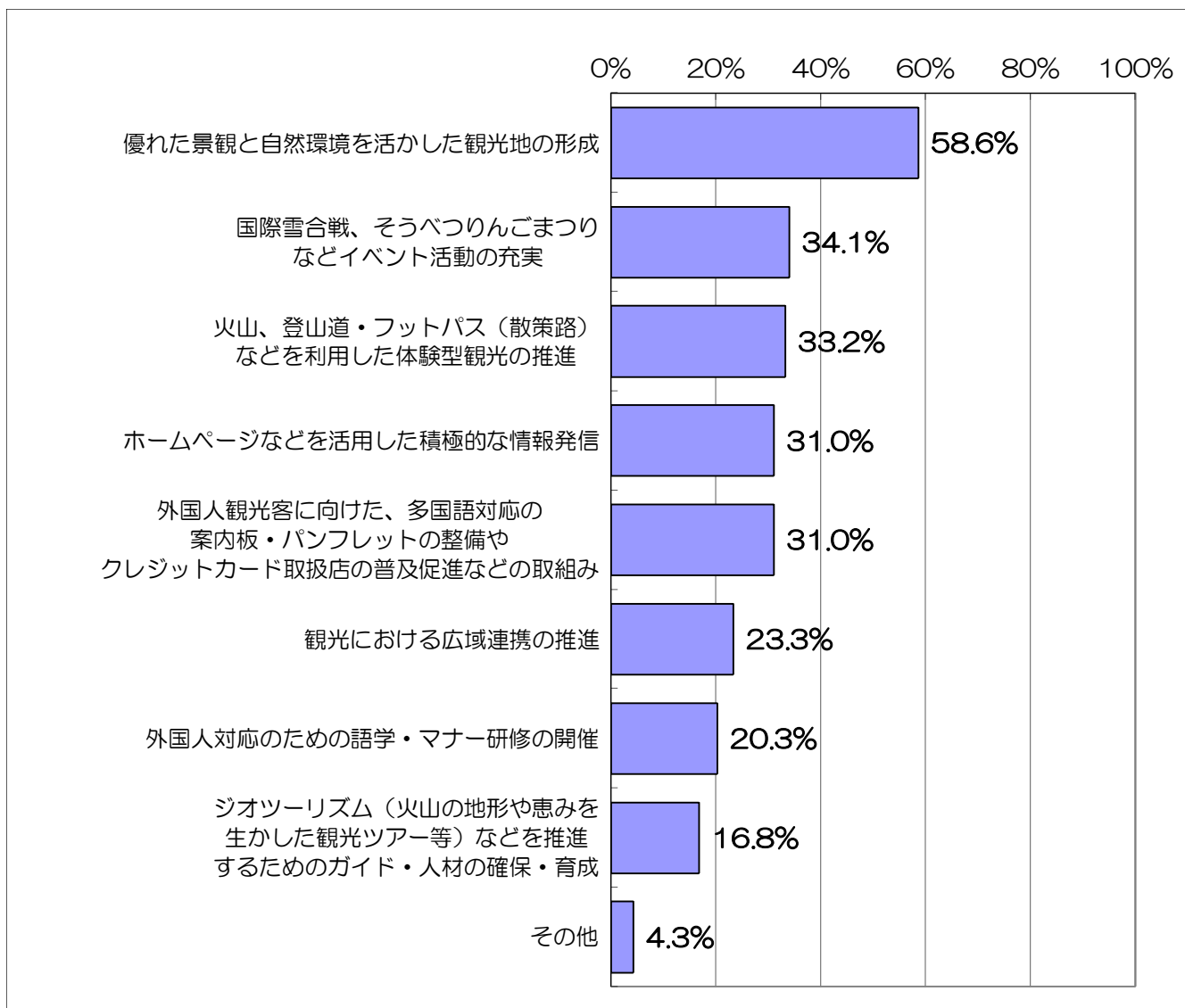
問11 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	4	高齢化に対応した移動販売などの促進	110	47.4%
2	2	品揃えの充実	105	45.3%
3	5	買い物客が集まる各種催しの開催（朝市・特産品市など）	97	41.8%
4	8	後継者・担い手の確保・人材育成	83	35.8%
5	3	特産品の開発やインターネットなどを活用した地元産品の販売促進	80	34.5%
6	1	街路灯、駐車場など買い物をしやすい環境の整備	47	20.3%
7	7	買い物客への対応、サービスの改善	44	19.0%
8	6	営業時間や休日の改善	24	10.3%
	9	その他	5	2.2%
		無回答・無効	10	4.3%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・店が少なすぎる。久保内地区には一つもない。Aコープは品が少なすぎるし、高すぎる。コンビニがあるのが救いです。	男	40代	自営業
2	・道の駅の充実、活用。	男	40代	公務員
3	・せめてツルハか、トライアル、他のコンビニの誘致はしてほしい。最低限。	女	10・20代	公務員
4	・商業の振興とのことだが、我が町にはスーパー等が無く、とても悲しいことだと思う。	男	70代～	農林業
5	・立地的に商業振興は困難と言わざるを得ない。	男	70代～	無職or年金

問12. 壮瞥町の観光の振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。
(3つまで選択可)



- ・「優れた景観と自然環境を活かした観光地の形成」（58.6%）が最も多く、
- 「国際雪合戦、そうべつりんごまつりなどイベント活動の充実」（34.1%）、
- 「火山、登山道、フットパス（散策路）などを利用した体験型観光の推進」（33.2%）
- 「ホームページなどを活用した積極的な情報発信」（31.0%）、
- 「外国人観光客に向けた、外国語対応の案内板・パンフレットの整備やクレジットカード取扱店の普及促進などの取組み」（31.0%）などが続いている。

○ポイント

- ・ 優れた景観と自然環境を活かしたいという意見が最も多かった。
- ・ 体験型観光・イベントなどの充実を求める声も多い。
- ・ インバウンド（外国人観光客）に向けた対応も必要という意見が多かった。

問12 回答結果内訳

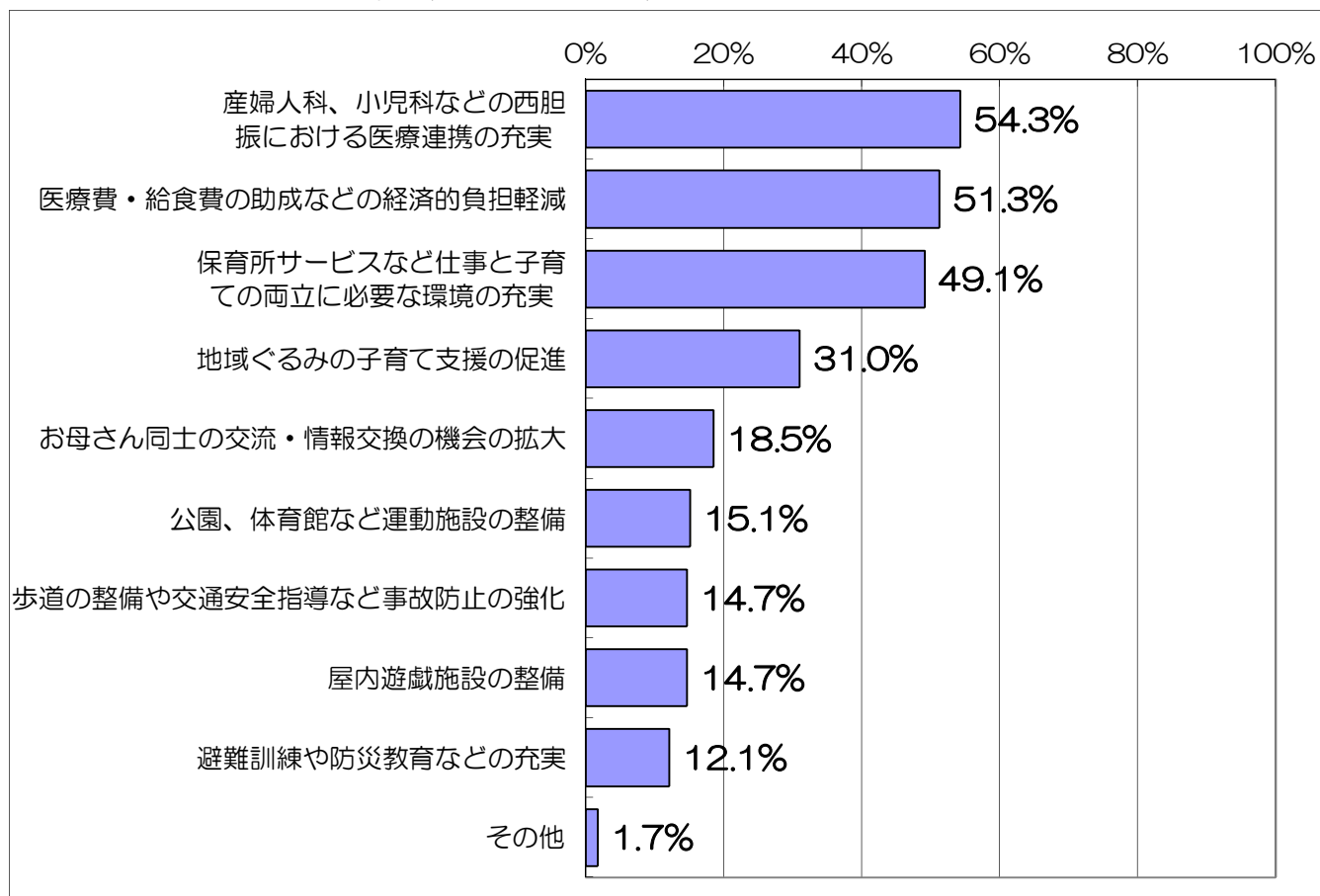
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	優れた景観と自然環境を活かした観光地の形成	136	58.6%
2	2	国際雪合戦、そうべつりんごまつりなどイベント活動の充実	79	34.1%
3	4	火山、登山道・フットパス（散策路）などを利用した体験型観光の推進	77	33.2%
4	6	ホームページなどを活用した積極的な情報発信	72	31.0%
4	7	外国人観光客に向けた、多国語対応の案内板・パンフレットの整備やクレジットカード取扱店の普及促進などの取組み	72	31.0%
6	5	観光における広域連携の推進	54	23.3%
7	8	外国人対応のための語学・マナー研修の開催	47	20.3%
8	3	ジオツーリズム（火山の地形や恵みを生かした観光ツアー等）などを推進するためのガイド・人材の確保・育成	39	16.8%
9	9	その他	10	4.3%
		無回答・無効	20	8.6%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・雪合戦、りんごまつりはマンネリ化していませんか。宿泊施設が少なすぎる。	男	40代	自営業
2	・アクティビティの充実。	男	40代	公務員
3	・観光地駐車場の無料化。	男	60代	無職or年金
4	・外国人向けにせず、そのままの壮瞥で売り込む。 ・外国人向けに外国人は飽きてしまっている。	男	40代	公務員
5	・姉妹都市交流を生かしたフィンランド製品の販売（ムーミンやマリメッコなど）	女	10・20代	公務員
6	・街路灯少ないです。子どもが大きくなり高校だと部活をして帰宅する際、男の子ならまだいいですが、女の子だと心配です。	女	30代	主婦
7	・観光振興は専門的商業者に委ねざるを得ないと思う。	男	70代～	無職or年金
8	・温泉利用の施設などの推進。	男	70代～	無職or年金
9	・昭和新山地区の再編。	男	60代	団体職員

7) 少子高齢化

問13. あなたは、出産や子育てがしやすい環境づくりとして、今後どのような取組が必要だと思いますか。（3つまで選択可）



- ・「産婦人科、小児科などの西胆振における医療連携の充実」（54.3%）がもっとも多く、次いで「医療費・給食費の助成などの経済的負担軽減」（51.3%）となった。
- ・「保育所サービスなど仕事と子育ての両立に必要な環境の充実」（49.1%）、「地域ぐるみの子育て支援の促進」（31.0%）にも一定数の回答が集まった。

○ポイント

- ・地域の医療連携および経済負担軽減に多くの意見が集中した。
- ・保育所サービスの充実や地域ぐるみの支援など
育児のお母さんにとって優しい環境づくりの分野の意見も多かった。

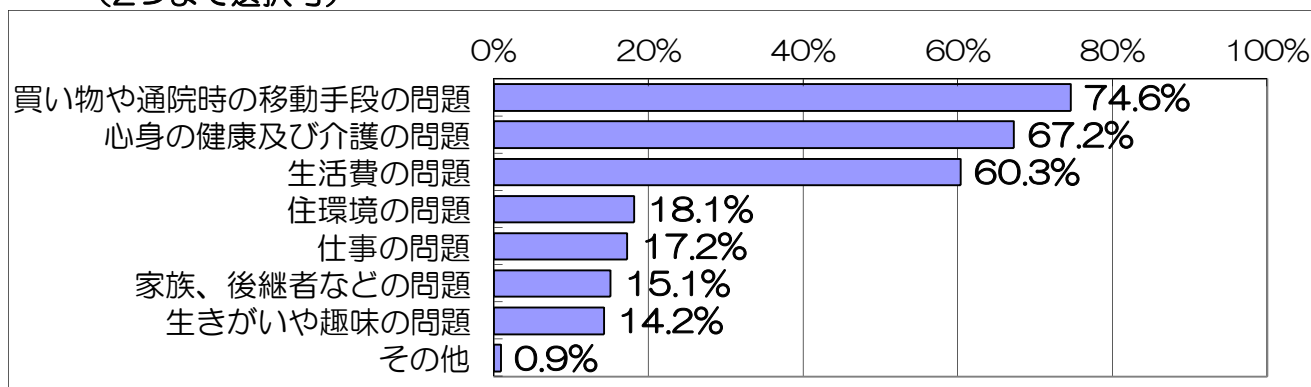
問13 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	産婦人科、小児科などの西胆振における医療連携の充実	126	54.3%
2	2	医療費・給食費の助成などの経済的負担軽減	119	51.3%
3	9	保育所サービスなど仕事と子育ての両立に必要な環境の充実	114	49.1%
4	7	地域ぐるみの子育て支援の促進	72	31.0%
5	8	お母さん同士の交流・情報交換の機会の拡大	43	18.5%
6	6	公園、体育館など運動施設の整備	35	15.1%
7	3	歩道の整備や交通安全指導など事故防止の強化	34	14.7%
8	5	屋内遊戯施設の整備	34	14.7%
9	4	避難訓練や防災教育などの充実	28	12.1%
10	10	その他	4	1.7%
		無回答・無効	13	5.6%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・今年度から保育士不足等の理由から、0歳から2歳児が同じクラスになりました。4月からの状況を見ていると、やはり0歳と2歳ではできることに違いがありすぎて、子ども達に理想の環境だとは思えません。壮瞥町という小さな町、少子化が進んでいる町としては一早くそのような状況を改善してほしいと思いました。	男	10・20代	農林業
2	・教育の質確保。	男	40代	公務員
3	・ファミリーサポートの充実をしてほしい。親が近くにおらず、出産時に上の子の送り迎えや預かりのサポートがほしいときがあった。	女	30代	会社員
4	・公立学校をフィンランドの教育を取り入れた学校にしていけば注目され、子育て世代の移住者も増えると思います。今までの学校教育を変えていく必要があると思います。	女	30代	主婦

問14. あなたは、ご自分の老後を考えたとき、どのようなことを不安に思いますか。
(2つまで選択可)



- ・「買い物や通院時の移動手段の問題」(74.6%)、
「心身の健康及び介護の問題」(67.2%)、「生活費の問題」(60.3%)
に意見が集中し、次いで「住環境の問題」(18.1%)、
「仕事の問題」(17.2%)などが選ばれた。

○ポイント

- ・ 買い物や通院時の移動手段の問題、健康・生活費の問題が町民にとって大きな不安となっている。

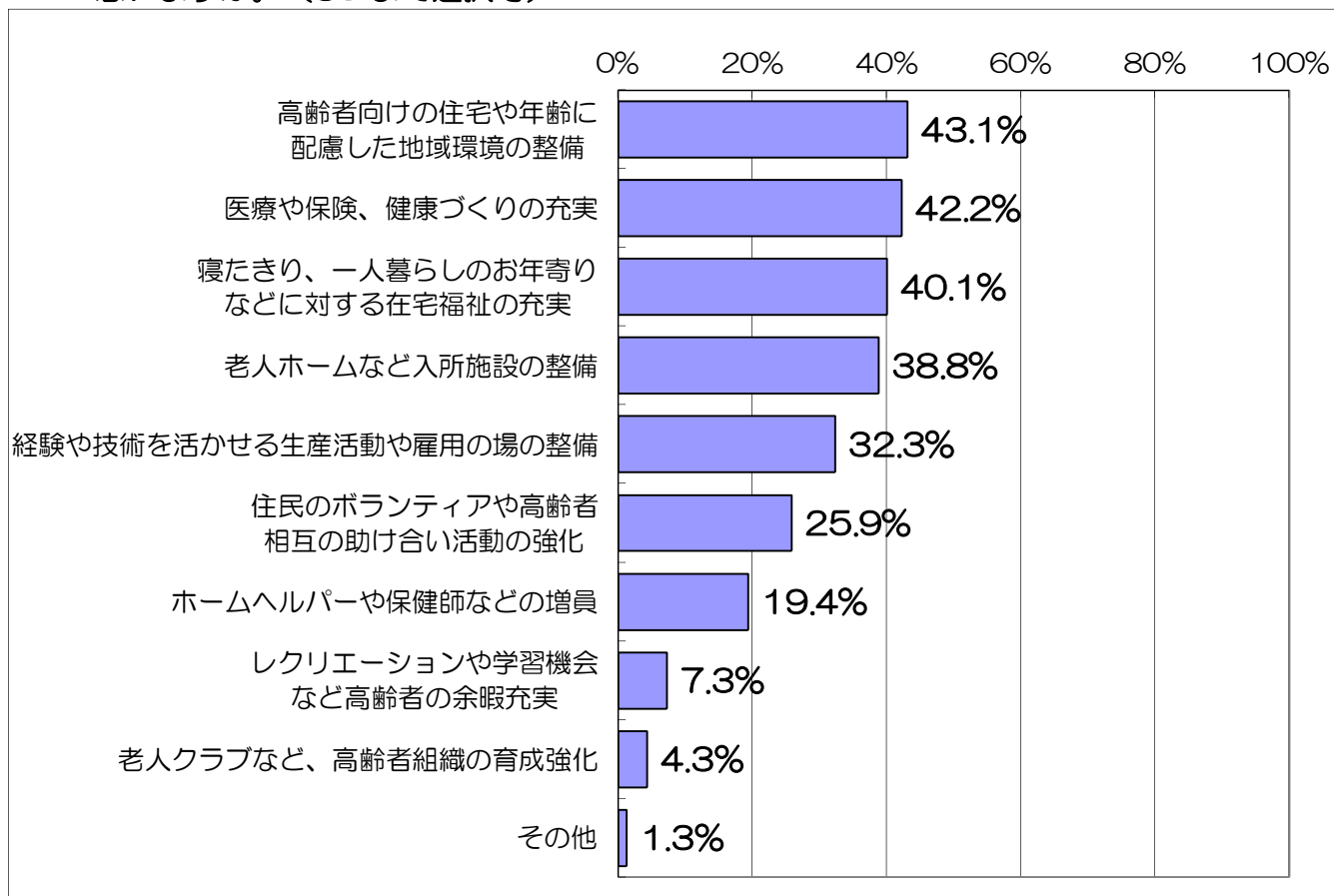
問14 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	6	買い物や通院時の移動手段の問題	173	74.6%
2	1	心身の健康及び介護の問題	156	67.2%
3	3	生活費の問題	140	60.3%
4	7	住環境の問題	42	18.1%
5	2	仕事の問題	40	17.2%
6	5	家族、後継者などの問題	35	15.1%
7	4	生きがいや趣味の問題	33	14.2%
8	8	その他	2	0.9%
		無回答・無効	4	1.7%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・ 墓仕舞い。	男	60代	無職or年金
2	・ 自治会のあり方、係分担のあり方。	女	50代	自営業
3	・ 通院はコミュニティタクシーがあるので、便利です。車がない家庭では買物が大変ですね。	女	30代	主婦
4	・ 地域医療の抜本的方策。	男	70代～	無職or年金

問15. あなたは、将来充実した老後を送るためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。（3つまで選択可）



- ・「高齢者向けの住宅や年齢に配慮した地域環境の整備」（43.1%）と「医療や保険、健康づくりの充実」（42.2%）が最も多く、「寝たきり、一人暮らしのお年寄りなどに対する在宅福祉の充実」（40.1%）、「老人ホームなど入所施設の整備」（38.8%）、「経験や技術を活かせる生産活動や雇用の場の整備」（32.3%）などが続いた。

〇ポイント

- ・福祉・健康・医療・施設などが多い一方で雇用の場の整備などにも一定の意見が集まった。

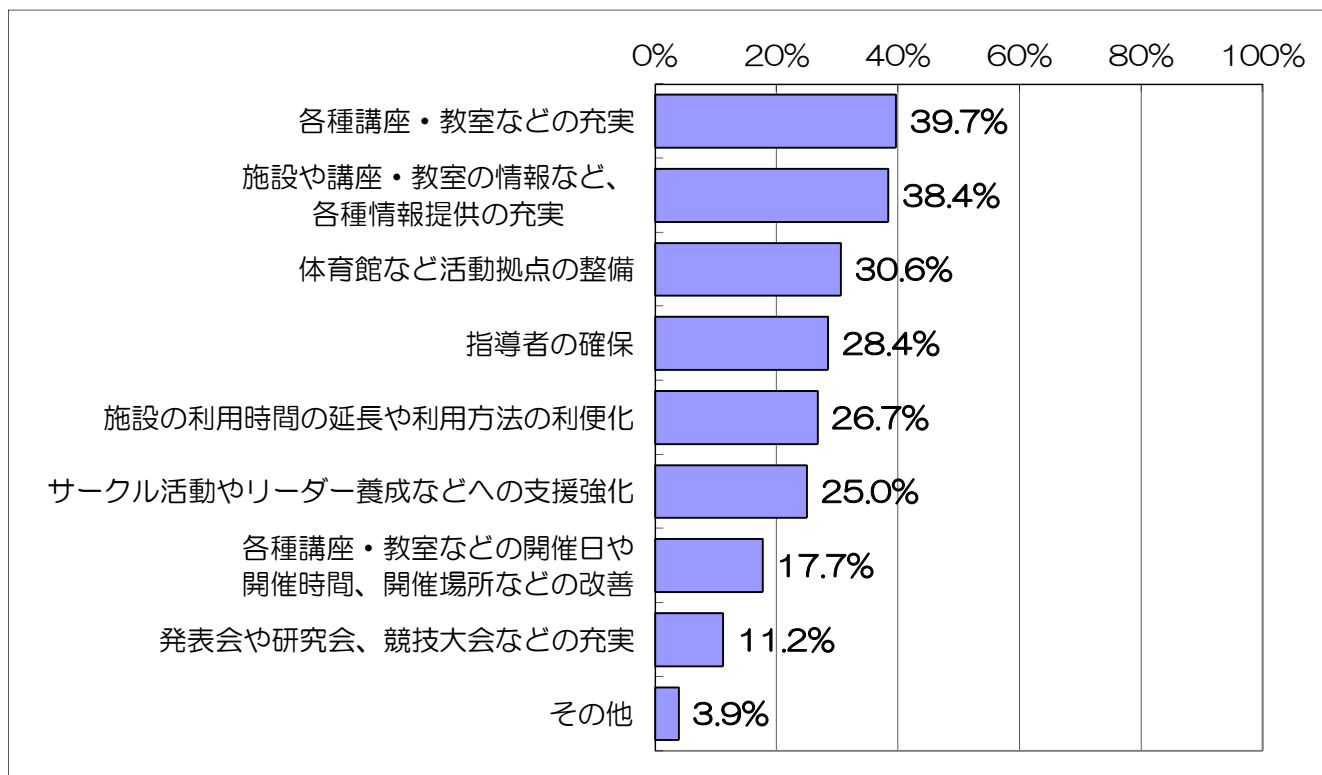
問15 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	3	高齢者向けの住宅や年齢に配慮した地域環境の整備	100	43.1%
2	4	医療や保険、健康づくりの充実	98	42.2%
3	2	寝たきり、一人暮らしのお年寄りなどに対する在宅福祉の充実	93	40.1%
4	1	老人ホームなど入所施設の整備	90	38.8%
5	6	経験や技術を活かせる生産活動や雇用の場の整備	75	32.3%
6	8	住民のボランティアや高齢者相互の助け合い活動の強化	60	25.9%
7	7	ホームヘルパーや保健師などの増員	45	19.4%
8	5	レクリエーションや学習機会など高齢者の余暇充実	17	7.3%
9	9	老人クラブなど、高齢者組織の育成強化	10	4.3%
10	10	その他	3	1.3%
		無回答・無効	13	5.6%
			回答者数	232

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・金。	男	60代	自営業

問16. あなたは、子どもからお年寄りまでが生き生きと暮らせるための、日常的な学習活動や文化・スポーツ活動など「生涯学習活動」を促進するためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。（3つまで選択可）



- ・「各種講座・教室などの充実」（39.7%）「施設や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実」（38.4%）が多く、次いで「体育館など活動拠点の整備」（30.6%）、「指導者の確保」（28.4%）、「施設の利用時間の延長や利用方法の利便化」（26.7%）、が続いた。

〇ポイント

- ・子どもからお年寄りまでが楽しめる各種講座や教室を求める声が多かった。

問16 回答結果内訳

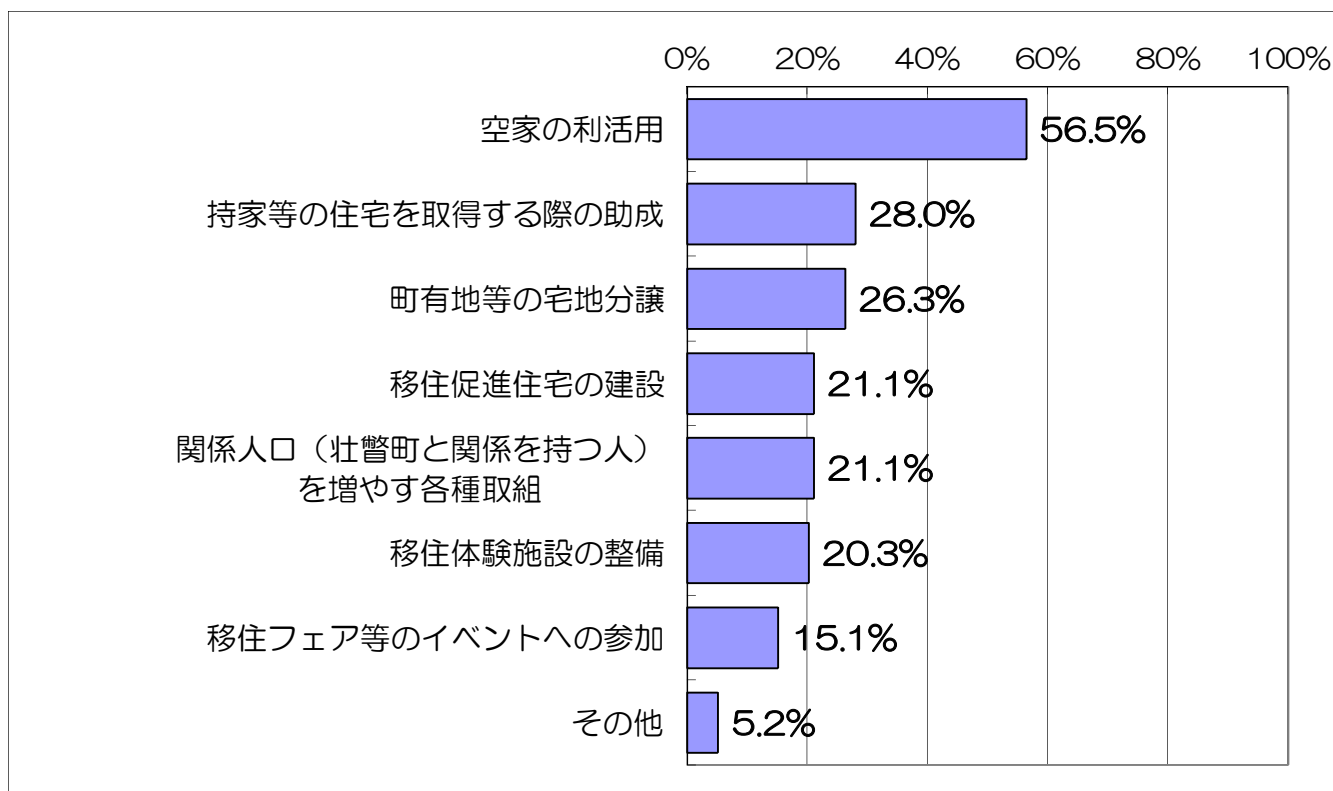
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	3	各種講座・教室などの充実	92	39.7%
2	5	施設や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実	89	38.4%
3	1	体育館など活動拠点の整備	71	30.6%
4	8	指導者の確保	66	28.4%
5	2	施設の利用時間の延長や利用方法の利便化	62	26.7%
6	7	サークル活動やリーダー養成などへの支援強化	58	25.0%
7	4	各種講座・教室などの開催日や開催時間、開催場所などの改善	41	17.7%
8	6	発表会や研究会、競技大会などの充実	26	11.2%
9	9	その他	9	3.9%
		無回答・無効	27	11.6%
回答者数			232	

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・こういうことよりも医療や、福祉のほうが大切だと思う。	男	40代	団体職員
2	・興味がない。	男	40代	自営業
3	・情報館が単に観光のためだけに利用されている。スペースがもったいない。町民に開放して、イベントスペースとして活用できるようにしてほしい。町民のための情報館にもなってほしい。	女	60代	主婦
4	・講座、発表会等に遠方から参加する際の交通手段。	女	10・20代	学生
5	・小・中学生徒と老人達との交流の場を創設してほしい。	男	70代～	無職or年金
6	・山美湖などの町民の利用は無料にしてほしい。	女	10・20代	主婦

8) 移住定住

問17. 壮瞥町に移住してくる人を増やすためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。（2つまで選択可）



- ・「空家の利活用」（56.5%）が6割弱を占めている。
- 次いで、「持家等の住宅を取得する際の助成（28.0%）」、「町有地等の宅地分譲」（26.3%）、「移住促進住宅の建設」（21.1%）、「関係人口を増やす各種取組」（21.1%）が続いた。

〇ポイント

空家の利活用が6割弱という結果になった。

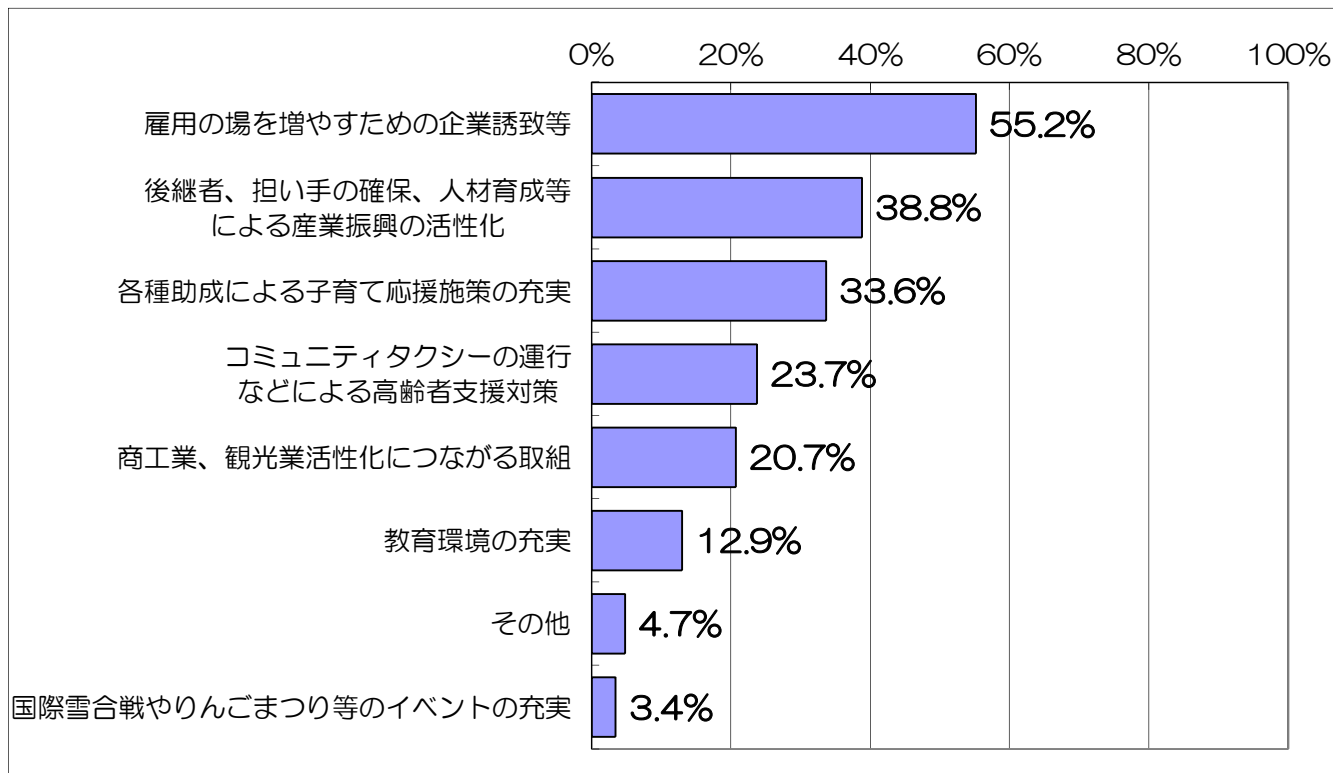
問17 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	空家の利活用	131	56.5%
2	3	持家等の住宅を取得する際の助成	65	28.0%
3	4	町有地等の宅地分譲	61	26.3%
4	6	移住促進住宅の建設	49	21.1%
5	7	関係人口（壮瞥町と関係を持つ人）を増やす各種取組	49	21.1%
6	2	移住体験施設の整備	47	20.3%
7	5	移住フェア等のイベントへの参加	35	15.1%
8	8	その他	12	5.2%
		無回答・無効	11	4.7%
回答者数			232	

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・新しいアパートか家を増やす。	女	30代	会社員
2	・空いている教員住宅は利用できないですか。壮瞥（久保内）に住みたい人がいましたが、断られたようなので。	女	40代	会社員
3	・どこの地でも地元民とうまくやっていけるかの不安とうまくいなくて都市に戻ったとの話がネットをにぎわせている。ご近所付き合いが移住には大きな壁になっているので、その除去が必要だと思う。	男	40代	公務員
4	・地域のお年寄りが子どもとかかわれる機会を作る。たとえば、子どもの学童や預かり所に地域のお年寄りを雇用し、昔の遊びや知識を教える機会をつくるなど。また、子どもの子育てサポート（仕事中の預かりや、学校の迎え、短時間の預かりなど、ファミリーサポートの充実に地域のお年寄りを雇用など）	女	30代	会社員
5	・働く場所。	男	60代	会社員
6	・便利に暮らすために最低限必要な店舗の誘致 「住みやすい」と思ってもらえない状態で移住促進は難しいかもしれない。	女	10・20代	公務員
7	・雇用の創出。	男	30代	公務員
8	・洞爺湖周辺に住みたい方が（町外の方）いますが、限られた情報で決めにくい。住める場所を多く増やして欲しい。	女	50代	自営業
9	・移民の促進。	男	50代	会社員
10	・これからはエコタウン作りを進めていけば。（地熱発電など。移住者も増えると思います。太陽光を利用したり）	女	30代	主婦
11	・住む家の建設も大事ですが、その前に施設に力を入れなければ人は来ません。買物のできる施設、子どものための施設、若い人向けの娯楽施設など今の壮瞥町のどこに魅力を感じろというのですか。	男	30代	自営業
12	・ハードの利用や即席手法では増加しない。他地域と同じ手法では、人集めはできない。壮瞥町の武器は効果を明確に把握して行政理念を創ること。	男	70代～	無職or年金

問18. 壮警町の人口を減らさないためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。（2つまで選択可）



- ・「雇用の場を増やすための企業誘致等」（55.2%）が6割弱を占めている。次いで、「後継者、担い手の確保、人材育成等による産業振興の活性化」（38.8%）、「各種助成による子育て応援施策の充実」（33.6%）、「コミュニティタクシーの運行などによる高齢者支援対策」（23.7%）、「商工業、観光業活性化につながる取組」（20.7%）が続いた。

〇ポイント

雇用の場を増やすための企業誘致等が6割弱という結果になった。

問18 回答結果内訳

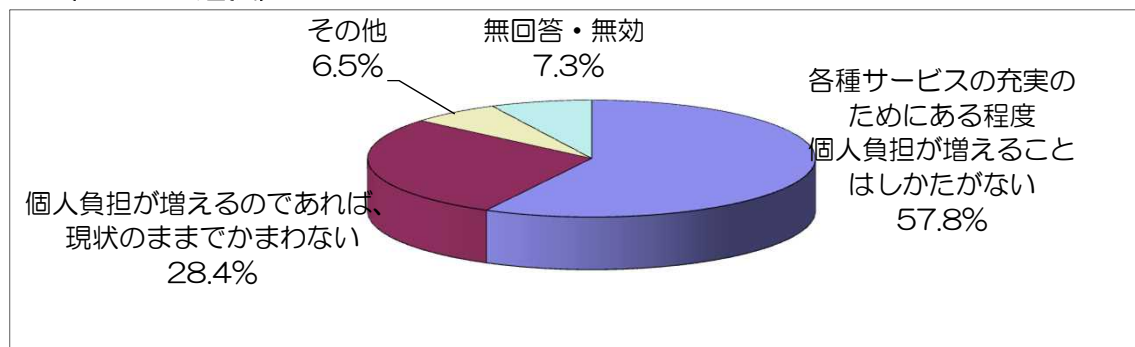
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	5	雇用の場を増やすための企業誘致等	128	55.2%
2	6	後継者、担い手の確保、人材育成等による産業振興の活性化	90	38.8%
3	1	各種助成による子育て応援施策の充実	78	33.6%
4	2	コミュニティタクシーの運行などによる高齢者支援対策	55	23.7%
5	4	商工業、観光業活性化につながる取組	48	20.7%
6	7	教育環境の充実	30	12.9%
7	8	その他	11	4.7%
8	3	国際雪合戦やりんごまつり等のイベントの充実	8	3.4%
		無回答・無効	12	5.2%
回答者数			232	

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・若年層世帯を増やしていく。	男	30代	公務員
2	・住宅の建設。	女	40代	無職or年金
3	・学校の予算確保。 ・便利な店を増やす	女	10・20代	公務員
4	・現住民に対するケア。	男	40代	会社員
5	・町内で働けること、住みやすい町内であること。	女	50代	自営業
6	・若い人達が住んでくれるような町にしないと人口は減る一方です。 子育て世代や移住者に町が助成金を出すとか子どもを産んだら祝い金を出すなど。 ・自然が豊富な壮瞥に住みたいけど仕事も少ない所も問題です。	女	30代	主婦
7	・住む家の建設も大事ですが、その前に施設に力を入れなければ人は来ません。買物のできる施設、子どものための施設、若い人向けの娯楽施設など今の壮瞥町のどこに魅力を感じろというのですか。	男	30代	自営業
8	・コミュニティタクシーよりコミュバスを出して週1～2回買物へ。	女	40代	自営業
9	・全国的な人口減少は止まることはないので、壮瞥町の人口減は当然と考えることを基本として、今後のまちの発展が現状ある産業（農業中心）の進化を考えることが重要であると思う。	男	70代～	無職or年金
10	・定住しやすい環境づくり。	女	10・20代	主婦
11	・なぜ、土地取得するための質問がないのか。	男	60代	団体職員

9) サービスと負担

問19. 各種公共サービスや、高齢者、障害者を対象とする福祉サービスの充実是一般的に個人負担の増加につながりますが、そのことについてどのように思いますか。
(1つだけ選択)



- ・「各種サービスの充実のためにある程度個人負担が増えることはしかたがない」(57.8%) が半数以上を占めたが、「個人負担が増えるのであれば、現状のままでかまわない」(28.4%) にも多くの意見が集まった。

○ポイント

- ・ 6割弱は負担増に理解を示したが、現負担額維持派も3分の1という結果となった。
- ・ 「その他」として、「負担の増加にならず、サービスの充実を図る方法を模索することが必要」「負担増になるならば説明や周知を徹底してから」「低所得者には特別な措置が必要」などの意見が見られた。

問19 回答結果内訳

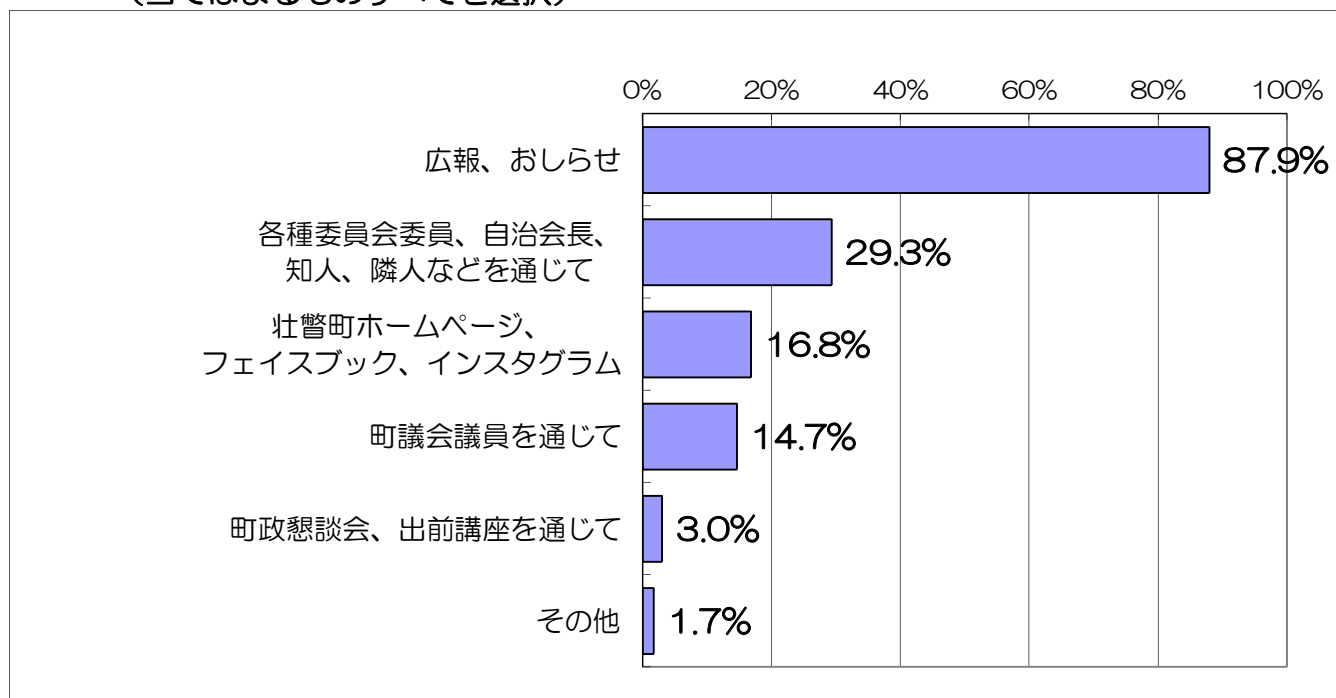
順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	各種サービスの充実のためにある程度個人負担が増えることはしかたがない	134	57.8%
2	2	個人負担が増えるのであれば、現状のままでかまわない	66	28.4%
3	3	その他	15	6.5%
		無回答・無効	17	7.3%
合計			232	100.0%

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・よくわかりません。	女	40代	無職or年金
2	・高所得者や資産家から寄附をつのり、財源とする。	男	50代	会社員
3	・個人負担が増えるのは仕方ないと思うけど、年金等が少ない人等、生活が困窮する人に対しては、特別な措置をとってほしい。	女	40代	主婦
4	・サービスの充実が個人負担の増加が伴うのであれば、そこにはアイデアも知恵もない。創意工夫したシステムづくりが必要。	男	60代	無職or年金
5	・収入に応じた対策を願う。一律である必要を感じない。	女	30代	その他
6	・1に概ね賛成だが必要以上の負担は反対。	女	30代	その他
7	・個人負担がこれ以上増えることは困るので町で何か考えてほしい。	女	50代	その他
8	・個人の希望や家族にもよるかと思います。できることの内容により公共サービスが負担増になるのは判断になると思います。	女	40代	自営業
9	・金銭をかけないサービスは何かないのでしょうか。	男	50代	自営業
10	・高齢者になれば、収入は少なくなるのに良い福祉サービスを受けるには、負担が増すって…ほかに方法は無いんですかね。	女	50代	主婦
11	・公共サービスは「税の公平」と同様に公平でなければならない。過剰なサービスは行政の財源の減少となり、サービスに対する個人の負担はこれまた平等でなければならない。	男	70代～	無職or年金
12	・個人負担増加について、内訳など含めた情報の開示、報告・周知がきちんと行われるのであれば、個人負担が増加しても構わない。	女	10・20代	農林業
13	・設問がおかしい。役所がどうするのか。この二つの間でサービスを決定するのはおかしい。	男	70代～	無職or年金
14	・お金に余裕があれば出してもいいけど、年金だけでは不安。	女	50代	自営業

10) 協働のまちづくり

問20. あなたは町政の情報をどのような方法で知ることが多いですか。
(当てはまるものすべてを選択)



- ・「広報・おしらせ」(87.9%)が圧倒的に多く、
- 「各種委員会委員、自治会長、知人、隣人などを通じて」(29.3%)、
- 「ホームページ、フェイスブック、インスタグラム」(16.8%)が続いた。

〇ポイント

- ・ 広報・おしらせはよく認知・活用されている。
- ・ 議員、町政懇談会などは、10%前後と低い結果となった。

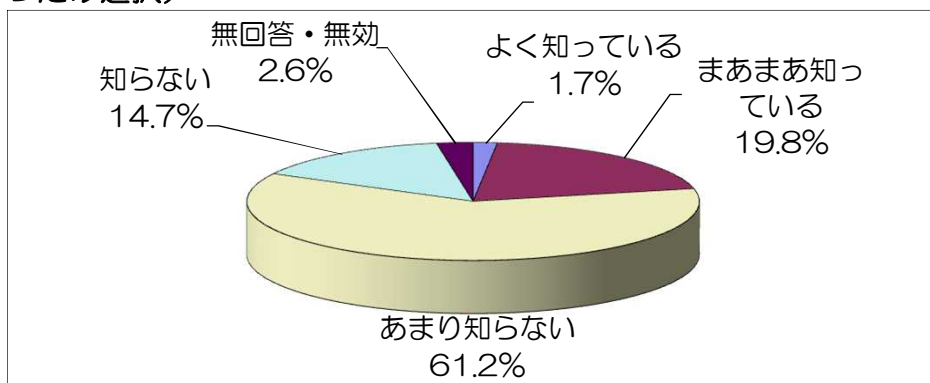
問20 回答結果内訳

順位	選択肢	内容	回答数	割合
1	1	広報、おしらせ	204	87.9%
2	4	各種委員会委員、自治会長、知人、隣人などを通じて	68	29.3%
3	2	壮瞥町ホームページ、フェイスブック、インスタグラム	39	16.8%
4	3	町議会議員を通じて	34	14.7%
5	5	町政懇談会、出前講座を通じて	7	3.0%
6	6	その他	4	1.7%
		無回答・無効	9	3.9%
回答者数			232	

「その他」の特記事項等

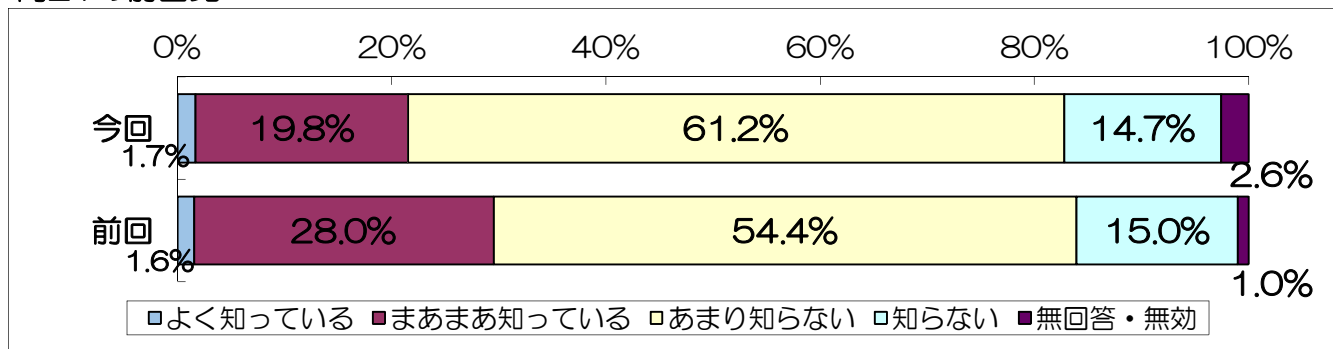
番号	内容	性別	年齢	職業
1	・どれでもなく逆にどれが誠実ですか。	女	40代	自営業
2	・壮瞥町のHPですが、リアルタイムでの情報が欲しいのに、過去の情報になっており、良くありません。災害時などはリアルタイムでの発信と何らかの方法でお願いします。	男	50代	農林業
3	・議員個人の議会活動だより	女	40代	主婦
4	・新聞	女	40代	主婦

問21. あなたは壮瞥町の財政事情や事業の内容などについてどれだけご存知ですか。
(1つだけ選択)



- ・「あまり知らない」(61.2%)が最も多く、次に「まあまあ知っている」(19.8%)が続いた。
- ・「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計は21.5%で、「あまり知らない」「知らない」の合計の75.9%を大きく下回る結果となった。

問21の前回比



- ・今回調査と前回調査の比較では、「よく知っている」「まあまあ知っている」の合計値(今回:21.5%、前回:29.6%)と、「あまり知らない」「知らない」の合計値(今回:75.9%、前回:69.4%)を比べると、前回より、「あまり知らない」「知らない」の割合が増えた。

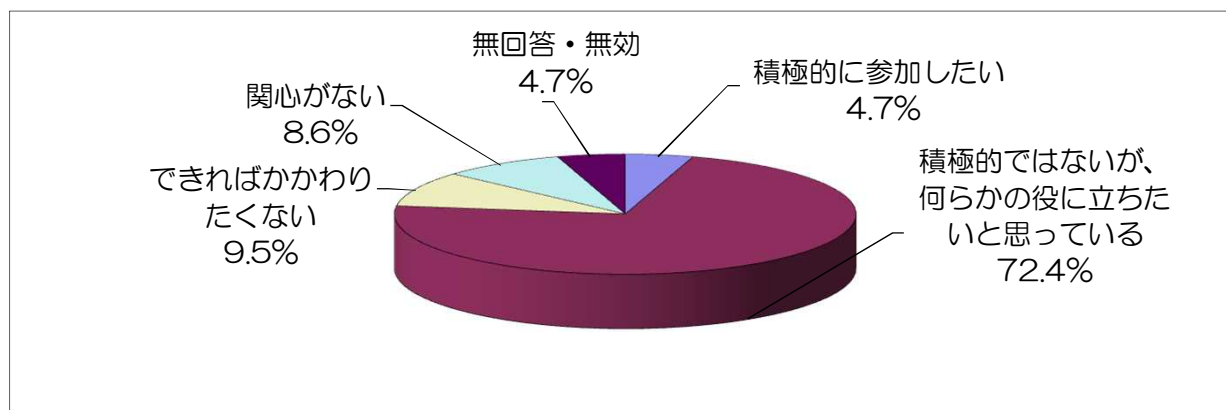
○ポイント

- ・ **8割近く**の住民が「あまり知らない」「知らない」と答えている。(前回調査7割)

問21 回答結果内訳

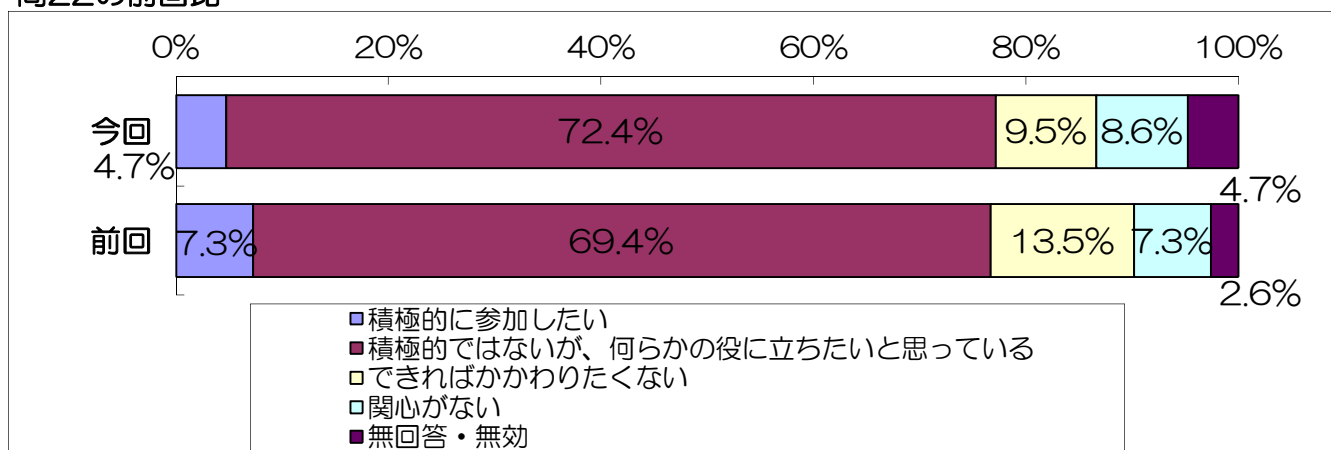
選択肢	内容	今回	割合	前回	割合
1	よく知っている	4	1.7%	3	1.6%
2	まあまあ知っている	46	19.8%	54	28.0%
3	あまり知らない	142	61.2%	105	54.4%
4	知らない	34	14.7%	29	15.0%
	無回答・無効	6	2.6%	2	1.0%
合計		232	100.0%	193	100.0%

問22. あなたは町政への住民参画についてどのように思いますか。（1つだけ選択）



- ・「積極的ではないが、何らかの役に立ちたいと思っている」（72.4%）が最も多く、次に「できればかかわりたくない」（9.5%）が続いた。
- ・「積極的に参加したい」と「積極的ではないが、何らかの役に立ちたいと思っている」の合計は、77.1%で「できればかかわりたくない」と「関心がない」の合計の18.1%を大きく上回った。

問22の前回比



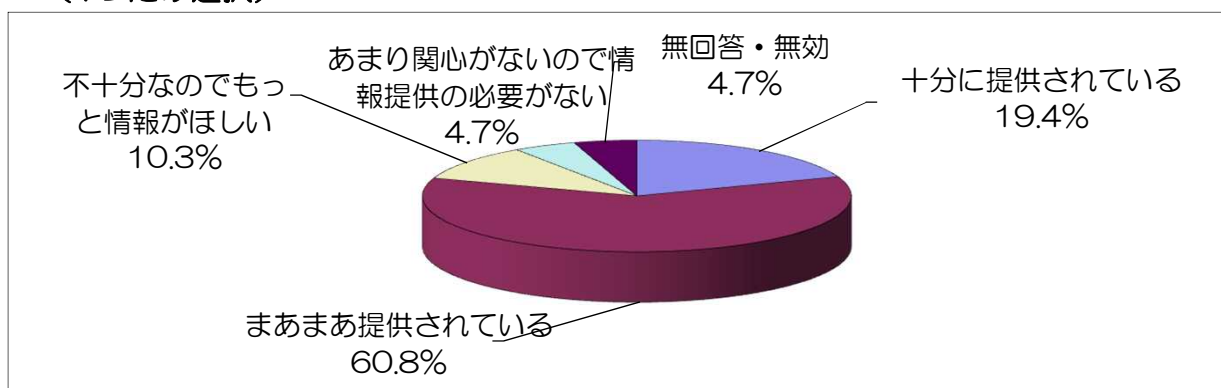
- ・「積極的に参加したい」と「積極的ではないが、何らかの役に立ちたいと思っている」の合計値では、今回の結果（77.1%）が前回（76.7%）を若干上回る結果となった。

○ポイント

- ・大半の町民が「積極的に参加したい」「積極的ではないが、何らかの役に立ちたい」と考えており、前回調査に比べて「できればかかわりたくない」、「関心がない」は減っている。

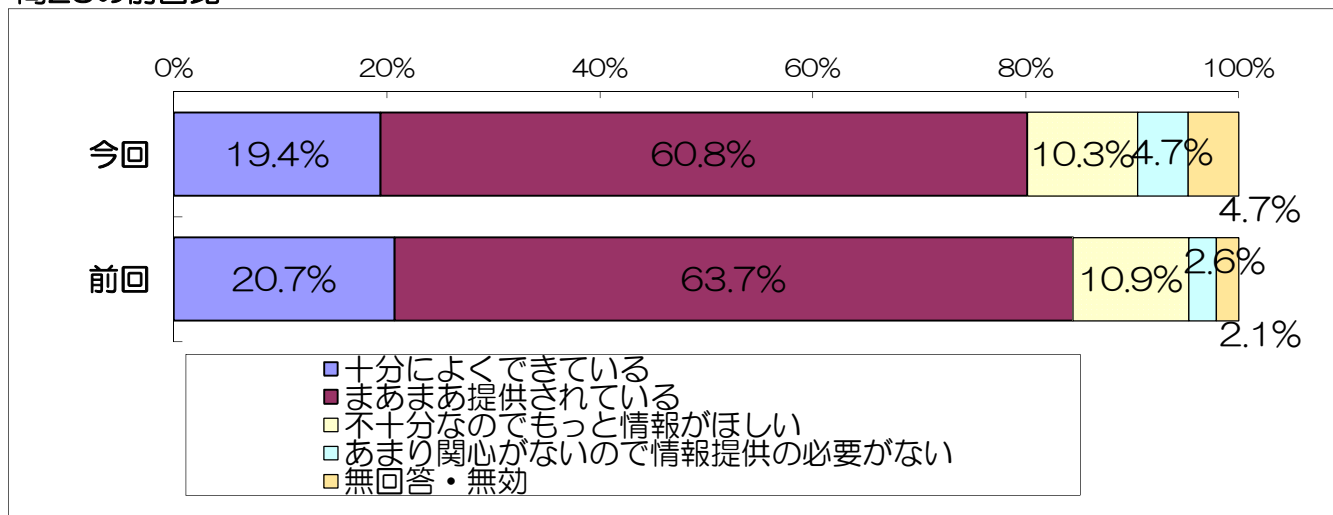
選択肢	内容	今回	割合	前回	割合
1	積極的に参加したい	11	4.7%	14	7.3%
2	積極的ではないが、何らかの役に立ちたいと思っている	168	72.4%	134	69.4%
3	できればかかわりたくない	22	9.5%	26	13.5%
4	関心がない	20	8.6%	14	7.3%
	無回答・無効	11	4.7%	5	2.6%
	合計	232	100.0%	193	100.0%

問23. あなたは壮警町の広報誌その他の情報提供についてどのように思いますか。
(1つだけ選択)



- ・「まあまあ提供されている」(60.8%)が最も多く、次に「十分に提供されている」(19.4%)が続いた。
- ・「十分に提供されている」と「まあまあ提供されている」の合計は80.2%で、「不十分なのでもっと情報がほしい」と「あまり関心がないので情報提供の必要がない」の合計の15.0%を大きく上回った。

問23の前回比



- ・「十分によくできている」と「まあまあ提供されている」の合計値では、今回の結果(80.2%)が前回の結果(84.4%)を若干下回った。

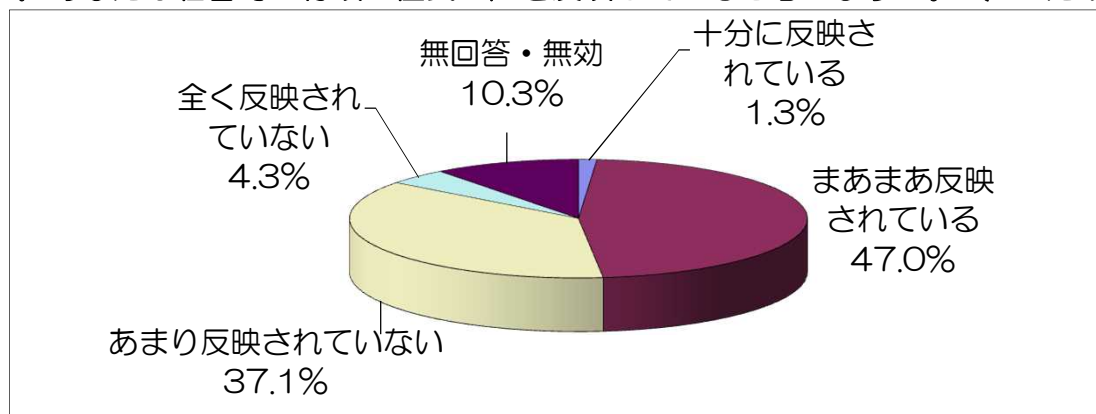
問23 回答結果内訳

選択肢	内容	今回	割合	前回	割合
1	十分に提供されている	45	19.4%	40	20.7%
2	まあまあ提供されている	141	60.8%	123	63.7%
3	不十分なのでもっと情報がほしい	24	10.3%	21	10.9%
4	あまり関心がないので情報提供の必要がない	11	4.7%	5	2.6%
	無回答・無効	11	4.7%	4	2.1%
合計		232	100.0%	193	100.0%

「その他」の特記事項等

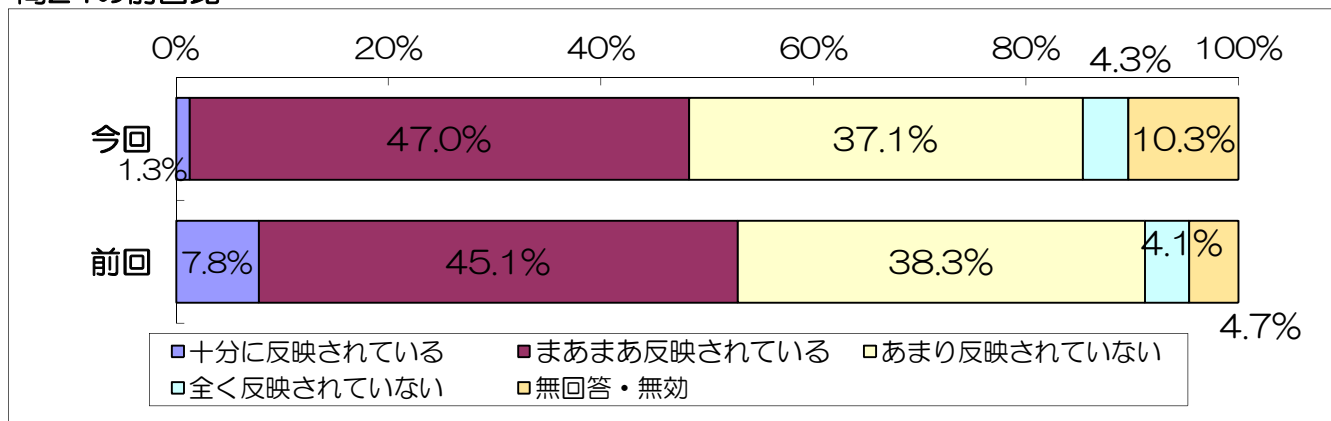
番号	内容	性別	年齢	職業
1	・不必要な広報誌での情報もあり。	男	70代～	無職or年金

問24. あなたは壮瞥町の行政が住民の声を反映していると思いますか。（1つだけ選択）



- ・「まあまあ反映されている」（47.0%）が最も多く、次に「あまり反映されていない」（37.1%）が続いている。
- ・「十分に反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計は48.3%で、「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」の合計の41.4%を上回った。

問24の前回比



- ・今回調査と前回調査の比較では、「十分に反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計値では、今回の結果（48.3%）が前回の（52.9%）を下回った。また、「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」の合計値は今回（41.4%）が前回（42.4%）を下回る結果となった。

〇ポイント

- ・前回調査に比べ、壮瞥町の行政は住民の声を反映していると感じている人が**若干減少**している。

問24 回答結果内訳

選択肢	内容	今回	割合	前回	割合
1	十分に反映されている	3	1.3%	15	7.8%
2	まあまあ反映されている	109	47.0%	87	45.1%
3	あまり反映されていない	86	37.1%	74	38.3%
4	全く反映されていない	10	4.3%	8	4.1%
	無回答・無効	24	10.3%	9	4.7%
	合計	232	100.0%	193	100.0%

「その他」の特記事項等

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・今までは一部の住民の声のみ反映されていたと思います。	男	50代	農林業
2	・どのような声があるのかわからないのにこの設問はおかしい。	男	70代～	無職or年金

11) その他

問25. 第5次壮瞥町まちづくり総合計画の策定にあたって、およそ10年後の壮瞥町の「望ましい姿」・「目指すべき姿」・「進むべき道すじ」・「まちづくり」などについて、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。例えば、まちの魅力、良いところ、守りたいこと、生かしたいこと、特に改善したいこと、新しくこうした方がよいという提案など

番号	内容	性別	年齢	職業
1	・もっと若い人が政治に興味を持ち、積極的に参加できるような、仕組み、雰囲気を作り、壮瞥町をもっと良い町にして欲しい。	男	10・20代	農林業
2	・旧久保内中学校跡地に食品加工工場建設の話が出ていますが、地域住民には何も情報の提供がされておりません。平民の私ももう知っている話ですが、どのように進んでいるのでしょうか。壮瞥町と事業者の間で合意されたあとの話では、住民の意見はないがしろではないでしょうか。町、事業者、地域住民とオープンな情報公開のもと、みんな、納得の上での工場建設でなければならないと思います。住民説明会の開催を望みます。	男	40代	自営業
3	現状を悪化させず、良い所（観光地やイベント、きれいな自然、障がい者、高齢者への福祉の充実、おいしい作物をつくっている農業をやっているみなさん、その他壮瞥町を作ってくださっている方）を守ってもらいたいです。とても良い町だと思います。10年後はきれいな自然が悪化せずおいしいりんごの町のままでいてもらいたいです。	女	10・20代	その他
4	・移住したのはいいけど、将来的な土地の確保が難しい。できれば永住して家を建てたいが土地が少ない。 ・もう少し大きいスーパーがあってもいいと思う。 ・なぜいきなり水道代が高くなったか。自分が移住する前に役場の方から壮瞥町は水道代が安いのがいいですよって言われてきたのに全く意味がない。	男	10・20代	会社員
5	・保育所の預け日数の制限をなくしてほしい。 ・一部の役場の人の対応が悪すぎる。 ・子育ての町の割にいざとなると全然対応してくれない。 ・子どもを遊ばせる場所が少ない。 ・コンビニがもう一つほしい。 ・壮瞥に家を建てたいが土地が少ない。 ・妊婦検診補助されるのはすごくありがたい。 ・保育所側のミスが多い。保護者のせいにされることが多くある。 ・子ども達の通学見守りが少ないため不安。 ・自治会の集まりは不要。	女	10・20代	主婦
6	・小中学校については、校舎の改修案等を聞くことはあるが、高校においては、どのような展望を持っているのか、不明である。高校教育を充実させるには、教育環境、特に校舎の老朽化が問題と考える。現状を維持するのか、若しくは改修するのか等（あと何年使用するのか）の見通しがないままでは、計画的な財政とは言えない。ぜひ、若い世代への投資を考慮いただきたい。	男	40代	公務員

7	・新しい団地やアパートを建てて欲しい。 ・宅配や居酒屋、食事するところ。 ・なにか、お店をやりたいけど物件をどう探せば良いかわからない。物件ありますなど、役所に貼ってあればいい。	女	30代	会社員
8	・人口が少なくなるのは仕方がないが、マイナスをプラスに取り入れて、特色が欲しい。壮瞥の色が欲しい。	男	60代	自営業
9	・人口減はこのまま進んで行くのは確実なので、合併を考えるべき。合併した場合は飲み込まれるのは確実なので、今後、壮瞥に必要なと思われる施設等は先に建設しておくべきだと思います。優先度は下がり、人口の多い方を優先されると思うので。 ・私は老人よりも子どもにもっとお金を使うべきだと思う。確かに今まで壮瞥や国に貢献して来たと思うが、これからの壮瞥を作っていく方に投資していくべきだと思います。町営の塾などいかがでしょうか。	男	30代	農林業
10	・役場職員が町外から通勤している人が多くいると思いますが、どうして役場の職員が町外に住んでいるのを認めているのかが疑問です。役場職員は壮瞥町に愛着がないのに、壮瞥町は良くなならないし、人口も減少し続けると思います。 ・移住がしやすく、外国人をもっと受け入れていけるといいと思います。空家を活用し、企業を誘致して、人口減少に歯止めをしてもらいたい。 ・フィンランド研修を一般公募にしてほしい。 ・もっと住民が参加できるようになればいいかな。	女	40代	その他
11	・田舎に暮らしたいという人は意外と多い。HPを見て移住したくなったと言われたことがある。では生活するのに家は？仕事は？というところでストップしてしまう。マンモス校に入学させるよりも小規模校がいいと壮瞥を選びたい人もいる。でも高校進学となると、とたんに大変。中高生の町外転出はほとんど「通いにくいから」。大人になって戻って来てくれる人（若者）は持ち家の実家がある人。家を建てちゃえば出て行くのはなかなか…。(笑)ということで、これから子どもを産んで…という若者世代の人に生涯プランが見えるといいな。HPはばっちり。それ以外の情報発信も頑張りたいです。	女	30代	団体職員
12	〈良いところ〉 ・自然の美しさ ・ボランティアさんの力が大きい ・星が美しい（展望台をもっとアピールしても良いのでは） ・果物が美味しい。 〈改善してほしいところ〉 ・近隣に大きな病院がない。小さなけがや風邪等なら対応してもらえるが、大きなけがや病気の際は遠くまで行かなければならない。とても不便。特に整形外科。 ・台風や吹雪のときに避難所を設けてくれるが、そもそもそこまで行けない。（車が無い人もいる） ・役場職員に町民への対応が悪い人がいて嫌な気分になる。	女	50代	その他

13	・「〇〇な町」は壮瞥とみんなが（道民以外でも）わかる町になってほしいです。（壮瞥をまだ知らない人、多いと思います。）果物とかの物産でもいいですが、音楽とか、映画とか、なんかのイベントで有名にするとか（雪合戦は有名ですが、昭和新山＝壮瞥で認識されていない） ・関係はないかもしれませんが、久保内中を利用してほしい。今だと雑草だらけで見てて寂しいし、防犯上良くないです。少しでも利用してたほうが、安全だと思います。グラウンドも他にないくらい素晴らしいのにもったいないです。（林間学校とか、体験学習とか、イベント会場にするとか）町外の方が見ても、良い景色には見えません。	女	40代	会社員
14	・現在、公団等への住み替えを希望していますが、空きがない状態です。壮瞥の人口を増やすためにも、充実した住環境整備が必要ではないかと思います。自然いっぱいでもとてもいい町だと思うので、もっと積極的に移住者を呼びこむことはできると思います。 ・エネオス前の急カーブのところにミラーが欲しいです。	女	40代	無職or年金
15	・若い方達、特に女性の方達が自分達の知恵を出し合って、イベント等を興しているのを見て、とても頼もしいです。そういう人たちをぜひサポートしてほしいと思います。	女	60代	主婦
16	・高齢者は確かに弱者であり、支援は必要であるが、どの町も施策が高齢者に偏り過ぎていると感じている。これから将来のことを考えるのであれば、若い人が魅力を感じる町づくりが必要だと思います。高齢者の料金を安くするのであれば、子どもの費用を補助した方が良い。特に、お金持ちの高齢者への金銭的な補助は不要では。	男	50代	会社員
17	・高齢者になり、私も高齢者です。車にも乗れなくなり、買い物にも行けなくなったときのことを考えると、月1回でも買物ツアータクシーがほしいと思います。	女	70代～	農林業
18	・壮瞥町への観光や移住者を増やす取組として、子育て世代をターゲットにしていく屋内遊び場や図書館が充実していると、観光に来る人が増えると思う。屋内での子どもの遊び場がなく、家の中でもってしまふことが多くなる。買物が伊達まで行かなければ欲しいものが手に入らないことが多い。ドラッグストアを壮瞥にも作ってほしい。 ・壮瞥の自然を活用したアスレチック体験や農業体験などを行える場があるといいと思う。そこで、グランピングやキャンプができて遊べるところがあったらいいと思う。	女	30代	会社員
19	・壮瞥ブランドPRを各地域を回って売り込む。 ・町営住宅を増やし、色々パターンを考え町から人が出ていかない政策。 ・壮瞥温泉道路の早期拡張。	男	50代	会社員
20	・前から計画があるが、新たな観光資源として壮瞥滝に魚道（階段）を作って、ヒメマスを洞爺湖に遡上させる。 ・高齢者の移動手段の充実を図る。	男	60代	会社員

21	・外国人観光客が（ツアー団体など）滝之町地区にもっと来るような何かがあれば良い。（果樹園だけではなくて） ・雪合戦ミュージアム的な建物がない（こんなに有名なのに） ・湖のふちをもっと広く整備して、サイクリングロードはどうですか。 ・冬のアイスバーンの道路を通勤するのは危険で怖い。 ・中国語講座や英会話教室を開いてほしい。 ・食堂、レストランがあれば行く。（滝之町に）（役場近くにオープンしましたね。ずっと続けて欲しい。）	女	60代	その他
22	・四季それぞれの果物栽培やジオパークなどの観光資源に恵まれているので、それを有効活用すると、より町の活性化につながると思います。	男	40代	公務員
23	保育所に入れず、仕事ができない状態です。来年には預けられるよう改善をお願いしたいです。	女	30代	主婦
24	・職員の専門研修等が必要 職員の異動期間が早く専門的な知識はかなり不足しています。積極的に仕事に取り組む姿が見えにくい。また、現代は機械処理がほとんどで手書文書は少ないが、字が小学生とされる職員がいる。 ・文字の大きさについて 今はA4サイズ文書が一般的になりましたが、その中の文字（活字）が小さく、A4の余白はあまりにも多すぎる。高齢者には見ただけで、読む気にはなれない。（福祉、教育委員会が多い）	男	70代～	無職or年金
25	○まちの魅力良いところ ・温泉施設が多い→常連客だけではなく観光客にも優しい雰囲気をもっと出す ・特産品が多く、壮警高校でも新商品開発をしている。→高校生が出品する場を増やす。上記2つに加えて海外からの観光客にも魅力を伝えられるようにもっとPRしてもいいかもしれない。 ○改善したい。こうしたほうがいい ・病院が少ない→伊達（下手すれば室蘭）まで行くのが大変+子育て支援がしづらいのでは… ・利便性をもっと上げる→コンビニを増やすなど伊達に頼りすぎない「隣町に行けばいいでしょ」ではない。 ・小中高への予算を削らないで。→小さなマチだからこそ新教材などの研究がしやすい。ICT（電子黒板、タブレット）を普及させてほしい。 ・素敵なまちだと思うので、どうか〇〇市壮警地区にはなってほしくないです。もっともっといいまちになりますように。	女	10・20代	公務員
26	・果物や野菜は美味しいので観光で気軽に食せる機会は続けて欲しいです。	女	10・20代	会社員
27	・役場の対応が悪い。	女	60代	その他
28	・壮警町は貧富の差が激しいので子どもが小中学校に上がったときにいじめにあわないか不安。	男	30代	会社員
29	・医療福祉が充実し、年を取っても安心して安全に暮らしていけるまちになるといいと思います。	女	40代	会社員

30	・学校や働く場所が無ければ住民が増えることはない。 ・久保内小を何かに活用するべき（イベントや体験学習など）	女	30代	その他
31	・梅公園の道路を整備して欲しい。この頃は見物に見られる観光客がたくさんで混雑しているようです。すれ違うのが怖いと聞きます。とても良い場所だと思いますので、今一度見直してください。	女	50代	自営業
32	・子育てについては、とても良い環境でサービスも充実していると思う。 ・今後については、人口減少や高齢化に伴い、いろいろと問題があると思う。「昔からやってるから」「今まではこうだから」などデメリットの多い伝統などはあまり引き継がずにやっていってほしいと思う。（現状でデメリットの伝統はわからないですが、壮瞥町民の中には、「昔ながらのやり方」を変えたくないという人が多い印象があるため。	女	30代	その他
33	・どれだけ移住・定住対策、少子高齢化対策をとっても、人口減少、担い手の減少を完全に止めることはできないということが目に見えているので、そこを見越したまちづくりを今後の10年間のために考えていかなければならないと思います。	男	30代	農林業
34	・保育園の3歳児未満の受入れを増やして欲しいです。	女	30代	会社員
35	・主として人口減少や少子高齢化対策、農林水産業、商工業など、産業活性化と雇用機会の創出、健康や医療福祉の充実と社会保障の充実、防災や救急など生活安全の充実、公共交通の維持改善などを重点的に取り組んで欲しいです。	男	40代	農林業
36	・中学生のフィンランド研修の存続。 ・昭和新山の店舗の充実 ・企業誘致による雇用促進 ・移住による人口増 ・役場の総合的窓口の設置 ・孤食防止のためこども食堂開設 ・夏の新しい壮瞥町のイベント ・壮瞥高校との連携による特産物・イベント	女	50代	主婦
37	・農業と観光の町と言いつつもうまくコラボしていない。壮瞥町にお金をたくさん落としてもらえるよう農業と観光をマッチしていけるような施設が必要。 ・昭和新山地区の整備は早急に進めなくてはならない。今これだけ海外から観光客が来ているのだから、外貨を得らなくてはいけないのではないか。 ・壮瞥町の人口を増やすには、農業後継者を増やすしかないと思います。	男	50代	自営業
38	第5次まちづくり総合計画の内容がわかりません。	女	60代	会社員
39	・町の議員の人数を半分まで減らしてほしい。	男	40代	その他
40	・災害対策	男	40代	団体職員
41	・休校している小学校、使っていない中学校を使用し、人が集まれるような町づくりを目指して欲しい。学校を利用した加工や、お茶を飲みながら絵の展示や本を読んだり過ごせるような場所にする。	女	50代	自営業

42	・行政サービスを提供する町の職員が壮瞥町の住民ではない理由（住めない、住みたくない）が壮瞥町の課題なのではないでしょうか。	男	50代	会社員
43	・進学などで壮瞥を離れた若者が戻ってこられる環境の充実（魅力的な待遇があれば良い） ・空家や空き学校の活用 ・久保内の自然豊かな環境で学校に行けない子どもを受入れ助ける施設があれば良いと思います。	女	10・20代	学生
44	・10年後の壮瞥町の姿、私は非常に心配している。さらに人口が少なくなり、そして子どもの数も少なくなるだろう。この先、壮瞥町というこの自治体を続けていけるのだろうか。 ・農業については、今クリーン農業が進められているが農業者全員が取り組まなくてはならないが、心配するところがある。全員が取り組んでほしい。我が町には、とても良い堆肥があるから、10年後、私は元気でいられるだろうか。残りの人生を農業で生きていきたい。	男	70代～	農林業
45	・特になし。高齢者に優しい町づくりをしてもらいたい。	女	60代	会社員
46	・自分のことは自分で考えて行動すること。	男	70代～	無職or年金
47	・町外の人たちにも壮瞥に住んでみたいと思われるような環境づくりをしていきたいし、して欲しいと思います。 ・「子育てしやすい」「勉強して学ばせたい」と思えるような子どものある家庭の方達にも支援を厚くして欲しいです。また、お年寄りの方達も一人暮らしでも安心して住めるような支援の充実を図って欲しいです。 ・町の中心部は冬の除雪もきれいに行われており、ごみも少なく通る時も気分が良いと思えるよう継続して町内の活動にしていきたいです。「果物の町」「りんごまつり」などもっとアピールして広めて欲しいです。	女	40代	会社員
48	・（町外にすることが多いので、あまり町の現状について、知らないことも多いのですが…）少子高齢化は、やむを得ない課題だと思います。今のまま移住増加に向けた取組に力を入れて、若手（20～40代）が元気に働ける環境、町になれば少子高齢化には変わりはないとしても、活気に満ちたまちになるのではないかと思います。個人的には、働き先が壮瞥町内外に関わらず通勤圏内において、かつ、保育所～中学校で特徴的な教育環境や授業があれば、壮瞥に住むことを考えるきっかけになると思いました。	女	10・20代	学生
49	・昭和新山に十数年以上閉店したままの店が数件あります。かなり朽ち果てていつ倒壊してもおかしくない状況です。早急に解体し、その跡地はビニールハウスに遮光シートをかけて中を日中でも暗くしてLEDライトとパネル写真で昭和新山、洞爺湖周辺の四季折々の景色を演出し、入場料をいただき、グッズ販売などをして設備費や維持費、人件費の一部にしては…（参考：三重県桑名市 なばなの里） ・壮瞥町はいろいろな所の景観が素晴らしいので、（例えば立香方面から見える有珠山、昭和新山、その周辺。梅の時期ではなくても眼下に見下ろす洞爺湖、その向こうのニセコ連邦羊蹄山が見える梅公園など）写真家、映画関係者、プロモーション関係者に何らかの方法で呼びかけてみては。もし、エキストラ等が必要なら町民に協力してもらい、参加するのも活気につながるかもしれないと思うのですが。	女	50代	自営業

50	・自然豊かなすばらしい環境を生かして10年後もこの自然を守り、汚さず自然の力を利用して自然と共存できる町にすれば素晴らしい町になっていけると思います。一人ひとりが意識的にごみを出さないように生活していき、レジ袋をやめるなど、できる所からやっていけばいいと思います。日本初のエコタウンを目指して欲しいです。それができる場所だと思っています。	女	30代	主婦
51	・観光…道の駅の充実。今道の駅にイートインコーナーなどがない。恵庭などの道の駅みたいにいろいろな食べ物が売られていて（店が入っているような）そこで休憩がてらご飯を食べて帰りに野菜などを買って帰るとなると、もっと観光客が増えると思う。地元の友達とかはトイレ休憩する所という感じで認識している。通りすがりのトイレができる所だけではもったいない気がします。 ・住宅…アパートがない。（少ない）壮瞥に住みたいとなってもアパートがないと気軽に住めない。町営住宅だと住んでみようとするときに、抽選があったり。壮瞥町に住所がないと申し込めないのかとかいろいろハードルが高い気がする。それなら伊達市に住もうとかになってしまう。 ・商業…薬局やコンビニの充実。夜に欲しい物などがあっても伊達まで行かないと買えないとなると面倒で仕方なく諦めざるを得ない。そうすると壮瞥では住むのをやめようかななどになってしまう。	女	40代	主婦
52	・コミュニティタクシー、通院だけでなく買物も対応してくれると良い。 ・久保内小学校の活用（住民があつまれる場所にするなど）。 ・温泉 65歳以上だけでなく住民はみんな割引になると良い。 ・安心して水が飲めるように、水道管の整備をしっかりとしてほしい。 ・壮瞥は噴火から逃れられることができないので、「防災対策万全」「住民の意識も高い」町として誇れる安心な町であって欲しい。 ・壮瞥の知名度、道内でも低いと思います。洞爺湖町にも知名度は取られていると思います。果物とても美味しいのに、余市や仁木にイメージが取られています。知名度を高める活動が何か必要だと思います。	女	30代	その他
53	・少子高齢化のこの時代、減少傾向なのに若い人は都会を魅力的に感じて人離れの可能性があり、さらに人が減り人口減少が深刻だと思われ、その対策をしていくのがいいのかなと思いました。	男	10・20代	会社員
54	・若い世代のご意見、多く取り入れ、10年後にはほかの地方から壮瞥町は素晴らしい町であると言われるようになってほしい。 ・町の中ではりんご1個も売っているところない？	女	70代～	無職or年金
55	・広報誌に掲載してもらう際のハードルが高く依頼しづらい（町の推薦がないとダメと言われたことがある）。	女	30代	会社員

56	・先にも書きましたが、今のままで人口を増やそうなどと無理ですよ。この町に魅力はありません。まともな買物をできる場所などセイコーマートしかないでしょう。Aマートは物が高く行く気になりません。もっと実用的なスーパーやドラッグストアなど生活に必要な物をすぐ買える施設の建設が最優先なのではないでしょうか。後は子ども達や若い方々を増やしたいならもっと先を見て若者に需要のある施設に力を入れるべきだと思います。飲食店やカラオケ、自由空間のような総合アミューズメント施設など楽しめる場所がないと若者は来ません。それによって、高齢の方の町になりその方達の補助する政策に力を入れるの繰り返し。もっと先を見ていきましょうよ。	男	10・20代	会社員
57	・買物する店がない。町外に出なければならないので、忙しいときは大変困る。時間が無駄になる。	女	50代	その他
58	・大きな財政源となる地元産業を基盤として、自然、観光、農業を上手に連携させてはどうでしょうか。町には30～40代の若者もたくさんいて新しい発想を持っているのに、提案する場がなくてもったいない。若者の発想、手段は若者を取り込み、町全体に活気が出ます。高齢の方々の経験と若い考えをタイアップして時代に即した魅力ある町にしてほしいです。例えば、ニセコのように若者の雇用も生まれるのでは？ ・別件ですが、広報誌を見て違和感を覚えるところがあります。成人式の写真などで主役の子たちがセンターではないでしょうか。せっかくの喜びの写真がとても堅苦しく古くさく感じますが。	女	60代	会社員
59	・現在、仲洞爺の道路が広がっておりますが、これからは東湖畔から洞爺村経由で洞爺湖を見ながら札幌まで大型バスの走れる道路を一日も早く整備するべきです。新しい観光地を開拓し、除雪作業の能力を上げ、交通事故をなくす道路を造る。壮瞥町は観光の町というなら大いに考えてほしいし行動してほしいものです。	女	60代	主婦
60	・個人の人権が尊重され、しがらみがなく歩み寄れる人々のつながりがあり、もう少し壮瞥町の外部との接触が増えることを望みます。人々が壮瞥外部に出た時に逆にされたことで感謝に思うことは何なのか。それが町の中で、それぞれ歩み寄ってできているのか。もっと時代の中でそれぞれ歩み寄ってできているのか。もっと時代のニーズと壮瞥に合った新しいことに取り入れてみてほしいと思います。みんなが違って、良いことだと受け入れてほしいです。	女	40代	自営業
61	・地域を代表する特産物や名物を造る（壮瞥ならコレ！ってもの） ・梅公園は大変素晴らしい名所ですが、（SNS映えする場所です！）あのあたりの梅をもっと増やすとか、車の乗り入れが不便なので、休日（大変混み合う）時だけでも役場駐車場からシャトルバスを運行するとか工夫が欲しい。 ・富良野のラベンダー、滝川の菜の花畑、滝上や東藻琴の芝桜、北竜や名寄のひまわり畑、恵山のつつじ山など山一面を使って見所を作ったら観光客増につながるかと思う。（なるべくお金をかけずに） ・今後もしばらく続く不況感…しかし、SNSブームもしばらくは続くと思われます。名所・名物など作って、各種SNSやHPを使って町をPRし、壮瞥町に移住したい、行ってみたいと思わせるような活動をしていただきたいと思います。（すばらしい場所なら老若男女、多少ガソリン代が高くても来ます。） ・当方もささやかながら、SNSやインターネットを使って、写真などでPRできたらいいなと思っております。	男	50代	自営業

62	・三恵病院に入院しているが、どこまでここで、信頼を持って医療を受けられるか疑問に思う。 ・三恵病院は病院ではなく、収容所だと思う。精神状態の悪い患者でますます悪くなる。	女	50代	無職or年金
63	・町内のクレーマーに対しての対策をして欲しい。（その方の影響で、気持ちよく生活ができないですし、クレーマーの方の訴えをうのみにされても、さらに気持ちよく生活できません。ときによっては、この町から引っ越したくなる気分です。	男	40代	自営業
64	・一番は下の子が早く保育所には入れればいいなと思う。保育士さん不足でも、来年1年は集団活動に入れるようにしてほしいです。現在5歳なので。 ・車がなくて交通手段が限られている人のために何か対策を考えていただきたい。保育所も送迎バス出すとか。	女	30代	主婦
65	・町中に子ども達が駆け回り、元気な声が聞こえる見える町	男	60代	その他
66	・壮瞥にしかないものを大事にしていくこと。若者が一度町を出ても、再び戻り、永住すること。働く場所があること。活躍する場所があること。まちづくりに参画できること。	男	50代	公務員
67	・町の高齢化は危惧するところだけど、それを生かせるところもあると思う。元気な高齢者が多いのも壮瞥の特徴なので、例えば、以前の高齢者事業団のような元気で時間に余裕があって、なにかしたいと体をもてあましている高齢者が、一人暮らしや寝たきりなどで、不安や身の回りの不便などを日頃から、感じている高齢者をなにかの形で支えていけるようなシステムがあるといいなと思う。これからどんどん進むであろう町の高齢化に向けて、高齢者に対して、生き甲斐や老後の安心した生活を提供してもらえたらなと思う。 ・町にたいして…様々な憶測や噂が町民の間に流れているのも事実。役場や信金さんに行くたび某建設会社の社長さんや関係者の方々が役場のカウンターを超えて、当たり前のように奥へと入っていくのをよく見かけます。お役所なだけに、あのカウンターを一つ越えれば中には、個人情報であふれているのではないのでしょうか。簡単に中に入るのを許しているようですが、私たちの個人情報は守られているのでしょうか。見知った業者さんなら何でも許されるのでしょうか。早急な改善を望みます。町民からの信頼の回復に努めてください。若い職員さん達は一生懸命頑張っていると思います。これからのますますの活躍を期待しています。	女	40代	主婦
68	・運転ができなくなれば、病院、買物すべてが不安なので、住める所ではなくなる。住んでいたいけれど、子どもに近くに来るよう言われるけど、土地もいらなくなり、税金だけ納めてるのもどうかと思う。売れない土地はいらない…。	女	60代	主婦
69	・これ以上住民が少なくならないためにはどうしたら良いのでしょうか。子ども達に帰ってきてもらいたいたいが、働く場所がないです。	女	60代	無職or年金
70	・若者、子ども、未来ある世代は増えていかなければ町としての未来も不安です。若い世代は働ける場を誘致し、未来ある子ども達の教育や福祉を充実させ子育て世帯の定住促進はさらに必要と思います。	女	50代	自営業

71	・町民の意見書が取り上げ、取下げで、町政に反映しない扱いをしているものもあると聞いている。また、それらのことが守秘義務ながら、漏れているとの話も聞こえてくる。平等の扱いを願う。 ・観光客の一過性でなら滞在型、また、移住者も同様に町の魅力等を感じてもらうよう、官民一体で対応して人口増に結びつけるように。 ・これらの人達の住みやすい福祉等に力を入れて空家のお世話、買物のお手伝い等、住む人の身になっての役場であってほしい。	男	70代～	その他
72	・壮瞥町のまちの魅力、良いところは、なんと言っても山、川、湖、田園風景など自然豊かで風光明媚なこと。特に春のさくら、新緑の季節、秋の紅葉の季節はまち全体を彩る。春の梅公園、壮瞥滝の散策路など見所の一つだ。次に気候が穏やかなので、果物をはじめ、他の野菜、米など、農産物が豊富にとれること。おいしい空気と新鮮野菜、果物、そして温泉で長生きできる健康のまちでもあると思う。美しい風景とおいしい食べ物で移住したいと思う人はたくさんいると思うが、移住の際、ネックとなるのが、雇用の問題と噴火の問題だと思う。壮瞥は観光と農業のまちなので、他にはない地場産の農産物を使ったおしゃれなレストランやケアハウスなどの健康増進を目的とした宿泊施設、壮瞥の強みを生かした仕事の場の提供がよいと思う。そういうのを狙った企業誘致を進めるのが必要である。グリーンツーリズムという言葉があるが、壮瞥ではグリーンツーリズムを実感するには、すごく適したところだと思う。都会の人で休みには田舎ですごしたいと思う人が結構いる。風光明媚で温泉、おいしい食べ物がある壮瞥にさっき挙げたもののほかで、もっと農家民宿や農業民泊、体験型の施設がもっとあってよいと思う。私はグリーンツーリズムにとっても関心があるが、壮瞥の人の中で、グリーンツーリズムの推進が一つのキーワードになると思う。次に噴火の問題。せっかく壮瞥に移住したいと思って噴火があるので、躊躇する人が出てくるのではないかなと思われる。万全の対策と家が壊れても、再建できる十分な補償が必要だ。そうでなくては、怖くて家が建てられない。あと壮瞥の人口を増やすための対策としては、消費生活（買物）なんと言っても、壮瞥のまちの店は品ぞろえが少ない。伊達まで行かなくても壮瞥でこと足りるような店がほしい。農協と道の駅が合併して観光客と地元民の両方が買物を楽しめるようなショッピングセンターがひとつあればいい。 移住促進対策としては、窓口になる役場の担当職員のきめ細やかな誠意ある対応と土地紹介の際、畑作り（家庭菜園）もできるような畑付き土地の分譲も積極的にしたらいいのではないかなと思う。それと改善した方がよいと思うことは、壮瞥梅公園の道路の問題である。すごく狭くて急で、いつ事故があってもおかしくないほどだ。駐車場も狭くて多くの車が止められない。壮瞥公園は壮瞥を代表する観光の目玉でもあると思うので、道路整備を万全にし、もっと宣伝して人を呼び込むべきである。最後にひとこと…私は壮瞥に来て25年になるが、今ひとつ人とのつながりが希薄である。どちらかというと地元民は、閉鎖的な人が多いように思う。身内でかたまってしまいうというか…。もっと新しいものを取り入れるのに積極的になりオープンに何でも受け入れる幅広いものの見方と広い心で、移住者も受け入れて欲しい。	女	50代	農林業
73	・若い人の働く場所がたくさんあれば良いと思う。 ・コミタクがもっと使いやすくなるといい。伊達への移動等も含め町内の移動も。	女	50代	団体職員

74	・地方創生に成功したモデルケースについて、国内外問わず、研究し、壮瞥の特色を活用した「ほかの町にはない何か」を考えることが大切だと思います。	女	40代	主婦
75	・皆さんがとても感じていることとは思いますが、町の人口減少がすごく心配と不安です。なんとか他町村から人が寄ってきてくれて、住んでもらえることを願っています。雪合戦にしても、関わる人達の利益になるだけではなく、せめて、滝之町商店街にも、昭和新山に近いことから潤いを与えていただき、活性化につなげていただきたいと願っています。（ボランティアには協力しているつもりですが。）	女	60代	自営業
76	・項目毎に意見を述べました。参考にさせていただければと思い、古稀を迎えた者からの提言少々、近い将来、壮瞥町が日本中いや世界中から注目される地域となることを願い、楽しみにしております。行政に携わる諸氏の検討を見守ります。	男	70代～	無職or年金
77	・水道料金が上がったのだから、検計は2か月に1回で良いと思います。関東地方は2か月に1回検計が多いと思います。調べてください。	女	70代～	主婦
78	・ガンバレ壮瞥	男	40代	農林業
79	・高齢化、人口減少は避けられないことだとは思いますが、人口増加のための雇用創出の手立てとして企業誘致などは壮瞥町の豊かな自然環境を失わせてしまう気がするので、全く望みません。豊かな自然とうまく共生していく発展の仕方を望みます。 ・また空家が有効活用されることを期待しています。（古本屋を開業したいです。）ミニシアター系の映画の上映会やギャラリー、小さな講演会など、より文化の発展の素地ができることを望んでいます。どこを車で走っても、緑あふれ、四季や動物の息吹を感じられる壮瞥町が大好きです。	女	10・20代	農林業
80	・カ岩観察広場の湖岸はとても美しくぜひ観光資源として、また町民の憩いの場として再び公開し、町の財産として生かしてほしいです。 ・売りたい空家はあっても、賃貸の空家が少なく、移住できない方がいました。また、世帯向けの特公賃住宅も少なく、気軽に移住できる場所が少なく困っている方もいました。このようなニーズに応えることも、人口減少の対策になるかもしれません。壮瞥は伊達への通勤圏ですし、なかなか家を買ったり建てたりするのは難しい人が多いので、気軽に移住できる所があれば、まだまだ人口は増える可能性はあると思います。	女	40代	主婦
81	・商店通りが暗いこと、町に働くところがなく若者がここを離れてしまうこと。かたよった人材育成、火山との共有化、今後、こういう問題を踏まえ、明るい壮瞥町をつくってほしい。	女	60代	その他

82	・役場の方や保健センターの職員さんは神対応！と思えるほど親切にいただいています。保育所の対応については、不安に思うことがとても多いです。働きに出ている親に対して、負担が多いと感じるきまり事や要望（夏場のプール等の着替えを必ず毎日洗濯して持たせてください。仕事の都合でも送迎の時間変更は必ず電話ください。など）些細なことですが、朝から晩まで、仕事や家事でいっぱいなので、もう少し気軽に預けられて、私たち母親に寄り添うような姿勢であってほしいなといつも思います。（何時にお迎えですか。休みですか。できるだけお子さんとすごしてあげてください。と言われると追い詰められて辛いです。わかっているのに、たまには一人でシーンとしてすごせれば、もっと気持ちが楽になります。そんな理由で預けたら、怒られるな…そんな雰囲気なのです。）また、一時保育などのサービスが無いため、仕事以外の事情であずかってもらうことができないのも辛いです。2人目を出産したあと、産後2か月までしか、昼以降の保育をしてもらえないので、その後は9～13時のみの預かりで、家事、下の子の世話で時間が終わってしまい、本当に体を休められず、精神的にも追い詰められることもありました。保育士さんの確保はなかなか難しいと思いますが、ファミリーサポートセンターなど、時間のある方に保育の研修などを受けてもらい、保育所以外でも一時保育の制度を作る…などできないかなと思ったりします。	女	10・20代	主婦
83	・毎年、札医大の協力で長期にわたり、町民の健康管理、経過をみてくれるのはありがたい。そこで、今後65歳以上の割合が増加する中、予防含め、体力運動機能維持（増進）のための壮瞥町独自でリズム良い体操を考案してみたいだろうか。 ・全町民（＋移住者）がどこかで必ずつながる関係性が重要だと感じる。町民の持つ力を発掘。サークル活動の後押し、年代交流イベントで横のつながり、人をつなげていくことで、今後起こりうる火山災害へ連携し、対応できるのではないかな。 ・火山災害時、要介護者（在宅）の町内外での受入れ対応、整備が必要。 ・シルバーセンターの復活をしてほしい。 ・壮瞥町で将来的に合同墓の検討。	女	60代	無職or年金
84	・温泉の利用・活用方法などは考えてはどうでしょうか。単なる風呂ではなく、足湯やリハビリ湯など。 ・移住計画をもっと積極的に進めては。以前は少しありましたが。 ・小、中にいじめは全くないのでしょうか。担任の先生のあり方を教育委員会はどうかとらえているのでしょうか。なければ幸いです。 ・壮瞥高校の卒業生をどう町内に止めるか、学校側と話し合いを。 ・文章全体の中に心をどう育てるかの文言は一字もないのはどうしてでしょう。「金で食えても、心では食えない」ので、優しさ、心のあり方をどう為政者側はとらえているのでしょうか。このアンケート全体がとにかく、人の心についての設問がないのが寂しいです。本当は心の温かい壮瞥町なのにね。 ・とにかく全てのことに危機感をもっていただきたい。他市との合併は有りえません。	男	70代～	無職or年金

85	・食品ロスに関心があります。何らかの方法で解消していただきたいと思います。 ・子どもにやさしい町 ・高齢者にやさしい町 ・福祉の充実した町 ・住宅の確保	男	50代	その他
86	・問9でも記載したが、人口減少の歯止め、定住、移住対策として多々質問があったが、移住・定住を進めると同時に住宅地を確保しながら、進められないか、高齢化社会になり、農地の耕作放棄地が目立っているのに、農業委員会は、振興地域だからって農地を保護するのはわかるが、見苦しい。町は、住宅地を用意し、移住・定住を進めないとお先真っ暗です。	男	60代	団体職員

■ まちづくり懇談会の開催結果

会場	開催日時	時間	参加人数
仲洞爺公民館	8月5日（月）	午後6時30分～7時55分	11名
幸内会館	8月6日（火）	午後6時30分～8時00分	8名
蟠溪ふれあいセンター	8月7日（水）	午後2時30分～4時00分	10名
壮瞥町役場大会議室	8月7日（水）	午後6時30分～8時25分	4名
壮瞥温泉団地集会所	8月8日（木）	午後6時30分～8時00分	7名
久保内改善センター	8月19日（月）	午後6時30分～8時35分	13名
ゆーあいの家	8月20日（火）	午後6時30分～8時00分	7名
そうべつ情報館	8月21日（水）	午後6時30分～7時50分	5名
壮瞥町研修センター	8月23日（金）	午後6時30分～8時35分	13名
			78名

■ まちづくり懇談会の主な意見（まちづくり、計画策定に関する意見）

- ・人口減対策には魅力ある職場（就職先）が必要。
- ・人口減に危機感を持っている。定住促進には来てもらえる住環境整備を図ることが必要。
- ・移住（定住）希望者へ空き家や空き地の活用と情報提供が必要。
- ・農業の振興、担い手対策の充実が必要。
- ・道の駅の販売額（売り場）の拡充、情報発信等有効活用が必要。
- ・昭和新山地区の街並みの再整備を強力に推進すべき。
- ・温泉施設やスキー場などの資源は廃止だけではなく有効活用すべき。
- ・自然環境等、移住先として選ばれる資源があるので、より活用が必要。
- ・フィンランドとの交流は町の財産なので、中学生フィンランド派遣事業は継続すべき。
- ・子育て世代や高齢者の負担軽減につながる施策も検討すべき。
- ・地域振興の観点からスポーツを核とした合宿誘致などに取り組むべき。
- ・スポーツをキーワードとした地域振興が必要。
- ・財源確保に町有林資源の活用が有効と考えられるので検討すべき。
- ・総合計画は、総花的ではなく、ポイントを絞り分かりやすい内容とすべき。
- ・計画策定にあたっては分野別の意見聴取も必要と考える。
- ・アンケートで町政に参画したい市民が多いのは財産。この力をまちづくりに活かすべき。